



Cintiq[®] 24HD

interactive pen display



ユーザーズガイド

Cintiq (DTK-2400)

本機のセットアップ

スタンドを使う

電子ペンを使う

電子ペンをカスタマイズする

液晶ペンタブレットを使う

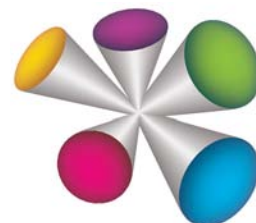
液晶ペンタブレットをカスタマイズする

ラジアルメニューを使う

特定のソフトウェアに対する設定

FAQ (よくある質問)

トラブルシューティング





製品の保証について

保証規定をよくお読みになり、お買い上げから1年間は保証書を保管してください。保証書に販売店による記入がない場合は、直ちに販売店にお申し出になるか、ご購入時の領収書（またはその写し）を保証書に添付して保管してください。保証書に、販売店による記入も領収書の添付もない場合は、保証書が無効になります。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受像器に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

商標について

Wacom、Cintiq は、株式会社ワコムの登録商標です。

その他の会社名、および製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。なお、本文中では「TM」「®」マークを表記しておりません。

著作権について

付属のタブレットドライバの著作権は、株式会社ワコムにあります。

タブレットドライバ、および本書の内容の一部または全部を、無断で複製、転載することは禁止されています。

タブレットドライバを含む本製品の仕様、および本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。

DTK-2400 ユーザーズガイド

Version 1.0, Rev F1711

©2011 Wacom Co., Ltd. All rights reserved.

上記の年は、このマニュアルが作成された年を示しています。

しかしながら、マニュアルがユーザに公開される日は、該当するワコム製品が市場に導入される時と同時です。





目次

本書について	5	液晶ペンタブレットの操作機能	37
梱包箱から取り出す	6	ワンタッチ表示ボタンを使う	38
本機の梱包を解く	6	ファンクションキーを使う	39
付属品を確認する	8	タッチホイールを使う	40
本機のセットアップ	10	マルチディスプレイ環境で使う	41
システム要件	10	画面を調整する	42
ステップ 1：ハードウェアのセットアップ	11	画面を調整する	42
ステップ 2：タブレットドライバのインストール	14	画面の調整	43
本機の機能と設置	15	省電力機能	45
本機の機能	15	本機をカスタマイズする	46
正面	16	コントロールパネルを開く	46
裏面	17	コントロールパネルの概要	47
電子ペンの機能	18	ペン先の位置調整	49
スタンドを使う	19	ペンをカスタマイズする	50
スタンドの機能	20	ペン先の感触とダブルクリックの調整	51
スタンドの設置場所	21	消しゴムの感触の調整	52
液晶ペンタブレット本体の高さと角度を調整する	24	ペン先と消しゴムの筆圧の詳細設定	52
本機でキーボードを使う	26	サイドスイッチのカスタマイズ	53
ケーブルの交換	27	傾き感度のカスタマイズ	54
本機を使用する	30	ファンクションキーとタッチホイールを カスタマイズする	54
姿勢と作業環境を整える	30	ファンクションキーをカスタマイズする	55
利き手の設定をする	32	タッチホイールをカスタマイズする	56
電子ペンを使う	33	ボタン機能	57
電子ペンの持ち方	33	ラジアルメニューの使い方と設定	64
ポインタの移動	34	マッピング画面切り替えを使う	65
クリック	34	特定のソフトウェアに対する設定	66
ダブルクリック	34	特定のソフトウェアに対する設定を作成する	67
ドラッグ	35	特定のソフトウェアに対する設定を変更する	67
サイドスイッチを使う	35	特定のソフトウェアに対する設定を削除する	67
筆圧を使って描画する	35	複数デバイスでの作業	68
傾きを使って描画する	36	タブレットの登録名を変更する	69
消しゴムを使う	36		





トラブルシューティング	70	ペン先を交換する	90
本機のテスト	71	その他のお役立ち情報	91
操作機能および入力デバイスのテスト	72	液晶ペンタブレット本体をスタンドから取り外す	92
ワンタッチ表示ボタンのテスト	72	液晶ペンタブレット本体をスタンドに取り付ける	95
ファンクションキーのテスト	73	マウントアームに取り付けて使う	98
タッチホイールのテスト	73	タブレットドライバのアンインストール	99
電子ペンのテスト	74	タブレット設定ファイルの管理	100
ディスプレイのトラブルシューティング情報	75	複数タブレットの設置	101
ディスプレイの一般的な問題	75	タブレットコントロールができる処理が 組み込まれたソフトウェアを使う	102
アナログ RGB 接続の問題	77	上級者向け設定を組み込む	103
タブレットのトラブルシューティング情報	78	Windows でのペンおよびデジタルインク機能	104
一般的な問題	78	製品情報	105
Windows での問題	82	オプション品の注文	106
Mac での問題	83	利用可能なオプション品	106
テクニカルサポート	85	オプション品のご案内	106
ドライバのダウンロード	86	用語	107
FAQ (よくある質問)	87	索引	109
お手入れのしかた	89	Wacom International Offices	112
本機のお手入れ	89		





本書について

本書は、Cintiq の使い方や機能について説明しています。本書に記載される情報は、Windows と Macintosh コンピュータに共通するもので、特に記載のない限り、Windows の画面を使用しています。

- [目次](#)または[索引](#)で項目をクリックすると、その項目に移動することができます。



表紙へ移動します。

目次

目次のはじめへ移動します。

索引

索引のはじめへ移動します。



1 つ前に表示したページに戻ります。



ページ番号順に戻ったり、進んだりします。

[トピック](#)

トピックへ移動します。



トピックの続きへ移動します。

- ご使用のディスプレイ上でユーザズガイドのサイズは、PDF ビューアのズームインツールを使用して拡大することができます。ユーザズガイドの使用や印刷に関して、ほとんどの PDF ビューアの機能で行うことができます。詳しくはビューアソフトウェアのヘルプをご覧ください。
- 「」で囲まれた文字は、キーボードのキー、ダイアログボックス、コントロールパネルのオプションの名前を特定するのに使用しています。
- タブレットドライバ CD-ROM には、「製品に関する重要なお知らせ」が同梱されていますので、必ずお読みください。「製品に関する重要なお知らせ」には、製品安全上のご注意、仕様、およびお客様のライセンス契約書が含まれています。
- お客様のコンピュータのハードウェアおよびオペレーティングシステムに関する情報、またはソフトウェアに関する情報は、本製品には含まれておりません。これらの情報については、ハードウェア、オペレーティングシステム、ソフトウェアに付属するマニュアルおよび CD-ROM または DVD-ROM を参照してください。

タブレットドライバ、本製品の仕様、および本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。



梱包箱から取り出す

本機は、スタンドに液晶ペンタブレット本体が取り付けられた状態で梱包されています。梱包箱を開けて、各部品が完全に揃っていることを確認してください。本機の部品および付属品は、アクセサリボックスにまとめて梱包されています。

[本機の梱包を解く](#)

[付属品を確認する](#)

本機の梱包を解く

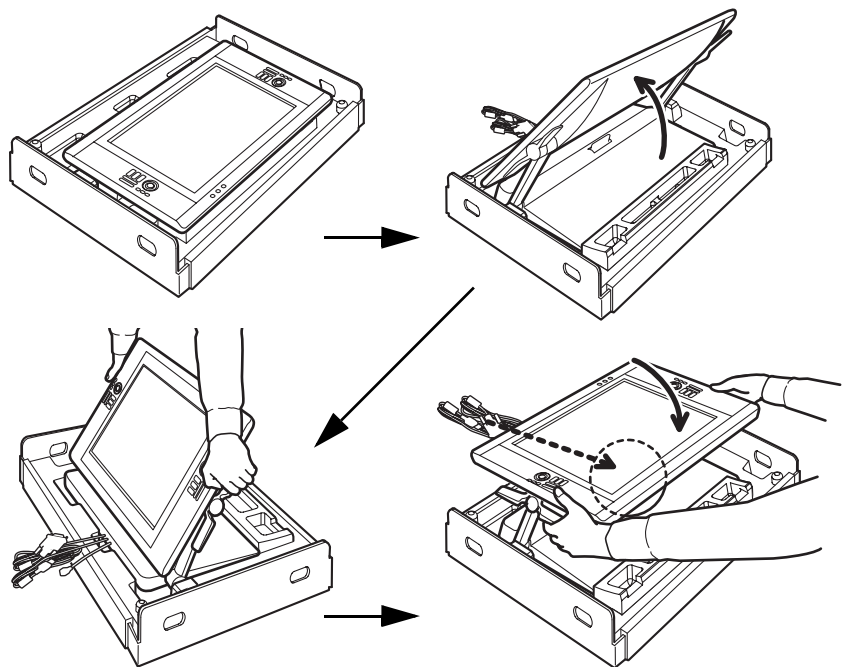
ていねいに梱包を解き、すべての部品を安定した水平な場所に置いてください。

1. 箱の上部に記載している手順に従い箱を開け、付属品の箱を取り出し、上部のクッション材を取り外します。液晶ペンタブレット本体およびスタンドを覆うすべての梱包材を取り外してください。

本機を取り出しやすくするために、箱の側面にあるプラスチックの取っ手を取り外してください。次に箱のふたを取り外します。

2. 液晶ペンタブレット本体を所定の位置にロックします。

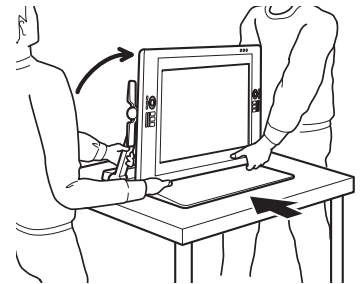
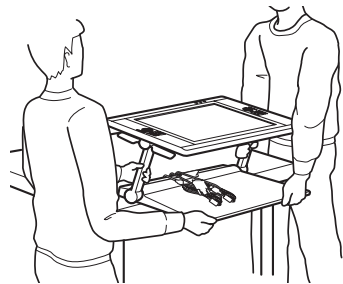
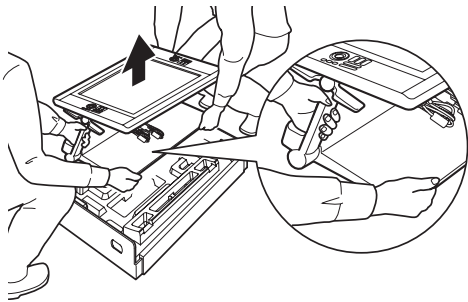
- 液晶ペンタブレット本体の両側にある角度調整レバーを確認し、液晶ペンタブレット本体の両端をレバーと一緒に持ちます。
- 握ったまま弧を描くように液晶ペンタブレット本体を引き上げゆっくりと垂直方向にカチッと音がするまで起こします。液晶ペンタブレット本体が垂直に近い状態でスタンドアームがロックされたら、角度調整レバーを離します。
- 次に角度調整レバーを使用して液晶ペンタブレット本体を水平位置にセットします。





3. 本機を箱から取り出します。ケーブルをスタンドベース（台座）の上に置き、ケーブルが垂れ下がらないようにします。片方の手でスタンドアーム下部のスタンドベース近くを持ち、もう一方の手でスタンドベースを支えて本機を持ち上げ、移動させます。

重要： 本機を持ち上げるときは必ず2人以上で行い、左右から両手で確実に本機を持ってください。本機は約29kgあります。作業者は動きを合わせて、慎重に作業を行ってください。



⚠ 警告

本機を持ち上げ移動する場合は、必ず2人以上で行ってください。1人で持ち上げると、落下してけがをしたり本機を破損したりすることがあります。

本機が後ろ向きに倒れないように注意してください。けがや破損の原因になります。必ず2人以上で作業を行ってください。

スタンドの可動部の隙間に指を挟まないように注意してください。

ケーブルをスタンドベース（台座）の上に置き、本機から垂れ下がらないようにしてください。垂れ下がったケーブルが足に絡むと、破損やけがなどの原因になります。

角度調整レバーやスタンドアームの上部を持って、本機を持ち上げないでください。誤った操作はけがやスタンドの破損の原因となる可能性があります。また、スタンドの可動部の隙間に指が挟まれないように注意してください。

本機は水平な安定した机や作業台の上などに設置してください。作業台からスタンドベースがはみ出ないように注意してください。スタンドベースが作業台の上に完全に載っていない状態で使用すると、倒れたり落下したりして、けがや故障の原因になります。

4. 倒れたり落下したりしないよう、本機を机の上や作業台など安定した場所に設置します。[スタンドの設置場所](#)を参照してください。
5. 設置が完了したら、角度調整レバーを使用して液晶ペンタブレット本体を垂直位置に回転させます。
6. [付属品を確認する](#)を参照し、付属品が揃っているか確認します。

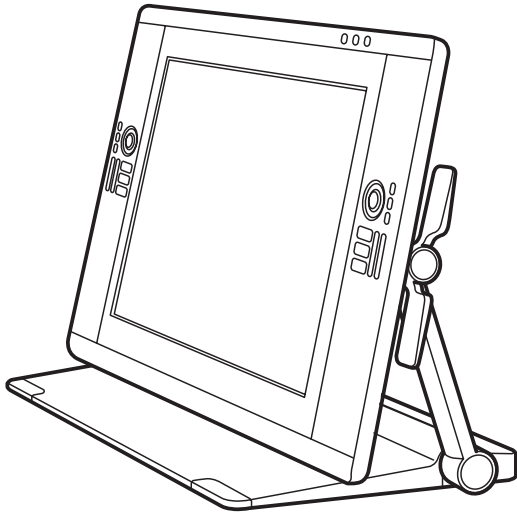
補足：お買い上げ時の箱と梱包材は、本機の搬送や保管をする際に使用しますので、必ず保管してください。



付属品を確認する

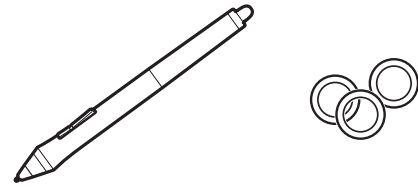
[梱包箱を開けて](#)、本機および付属品がすべて揃っていることを確認してください。

本機の付属品は、アクセサリボックスにまとめて梱包されています。

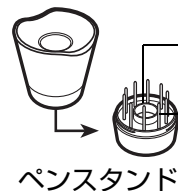


液晶ペンタブレットおよびスタンド
* あらかじめ組み立てられています。

(DVI-DVI ケーブル、DisplayPort ケーブル、および USB 接続ケーブルはあらかじめ本機に装着されています。工場出荷時、DisplayPort ケーブルは本機のスタンドに格納されています)



電子ペンとカラーペンリング

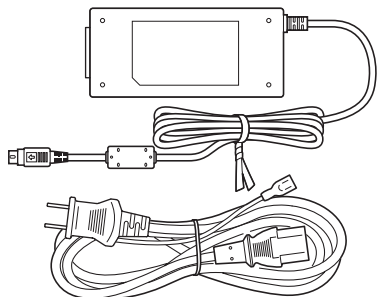


ペンスタンド

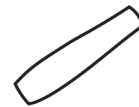
芯抜き

交換用の芯

- 標準芯 (6 本、黒色)
- ハードフェルト芯 (3 本、グレー)
- ストローク芯 (1 本、白色、バネ付き)

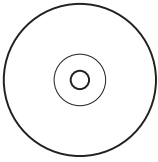


AC アダプタおよび
電源ケーブル

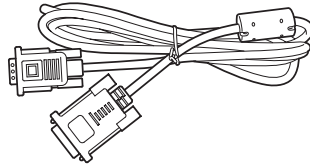


太径ラバーグリップ





タブレットドライバ CD-ROM
「製品に関する重要なお知らせ」が
収録されています。



DVI-RGB ケーブル



マウントアーム用スペーサー
(3 コ)



マウントアーム用ネジ (6 コ)



クイックスタート
ガイド

保証書

保証書

補足：製品の構成によっては、付属品が異なる場合があります。ソフトウェアを含んだ追加の CD-ROM または DVD-ROM が付属している場合は、インストールについてはその CD-ROM または DVD-ROM の説明をお読みください。

搬送のために本機を梱包するときは、必ずお買い上げ時の箱と梱包材を使って梱包してください。そのため、箱と梱包材は捨てずに保管してください。

本機のセットアップをする前に、[本機の機能とスタンドを使う](#)の説明を必ずお読みください。



本機のセットアップ

本機は、ディスプレイとペンタブレットの2つの機能を持っています。以下の手順に従って、ハードウェアのセットアップとタブレットドライバのインストールを行ってください。

[システム要件](#)

[ステップ1：ハードウェアのセットアップ](#)

[ステップ2：タブレットドライバのインストール](#)

システム要件

ご使用中のコンピュータが次のシステム要件を満たしていることをご確認ください。

- Windows の場合：Windows 7、Vista (SP2 以上)、XP (SP3 以上) (64 ビット版を含む)。DVI、DisplayPort もしくは RGB コネクタ、および USB ポート。
- Mac の場合：Mac OS X v10.5.8 以降。PowerPC G4 以上もしくは Intel プロセッサ。DVI、DisplayPort もしくは VGA 出力、および USB ポート。

補足：本機は、マルチディスプレイ環境で使用することができます。マルチディスプレイの接続・設定については、本書では説明していません。ご使用のコンピュータまたはオペレーティングシステムの取扱説明書をご覧ください。

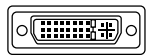
[マッピング画面切り替え](#)機能は、マルチディスプレイ環境で利用することができます。これにより、電子ペンによる操作を本機と他のディスプレイ間で切り換えることができます。

ステップ 1：ハードウェアのセットアップ

ここではディスプレイケーブル、USB 接続ケーブル、および電源ケーブルの接続について説明します。

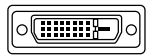
重要： コンピュータまたは本機の電源が入った状態で、ディスプレイケーブルや電源ケーブルを抜き差ししないでください。本機またはコンピュータが故障する場合があります。

1. 本機、およびコンピュータの電源を切ります。
2. ご使用のコンピュータのディスプレイコネクタがデジタル (DVI または DisplayPort) かアナログ RGB かを確認してください。ディスプレイコネクタが 1 つしかない場合は、接続中のディスプレイを外すかまたはビデオカードを増設してください。最適な画質を得るために本機を DVI コネクタまたは DisplayPort コネクタに接続することをお勧めします。ディスプレイコネクタに関しては以下を参照してください。
3. すべてのコネクタのネジを確実に締めてください。[接続図](#)の -A- を参照してください。



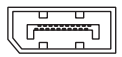
DVI-I

DVI 接続の場合：スタンドベースの DVI-DVI ケーブルのコネクタを、コンピュータの DVI コネクタに接続します。



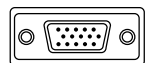
DVI-D

本機は DVI-D または DVI-I のいずれのコネクタにも接続できます。



DisplayPort

DisplayPort 接続の場合：スタンドベース内に収納されている DisplayPort ケーブルをコンピュータの DisplayPort コネクタに接続します。スタンドからバックカバーを外し DisplayPort ケーブルを取り出してください。詳しくは[ケーブルの交換](#)を参照してください。



アナログ RGB

アナログ RGB 接続の場合：DVI-DVI ケーブルを本機から完全に取り外し、代わりに付属の DVI-RGB ケーブルを取り付けます。詳しくは[ケーブルの交換](#)を参照してください。

Mac Mini DisplayPort に接続する場合：適合するアダプタが必要になります。Apple Mini DisplayPort - DVI 変換アダプタを推奨します。お近くの販売店でご購入ください。変換アダプタで本機の DVI-DVI ケーブルのコネクタとお使いの Mac を接続してください。

4. スタンドベースの USB 接続ケーブルを、コンピュータの USB ポートに接続します。[接続図](#) -B- を参照してください。
5. AC アダプタをスタンドの電源ケーブルに接続します。[接続図](#) -C- を参照してください。
6. 電源ケーブルを AC アダプタに接続し、電源プラグを 100V 電源コンセントに差し込みます。[接続図](#)の -D- を参照してください。
7. 本機裏面の右側にある電源スイッチをオンにします。パワーランプが青→オレンジの順に点灯します。[裏面](#)を参照してください。

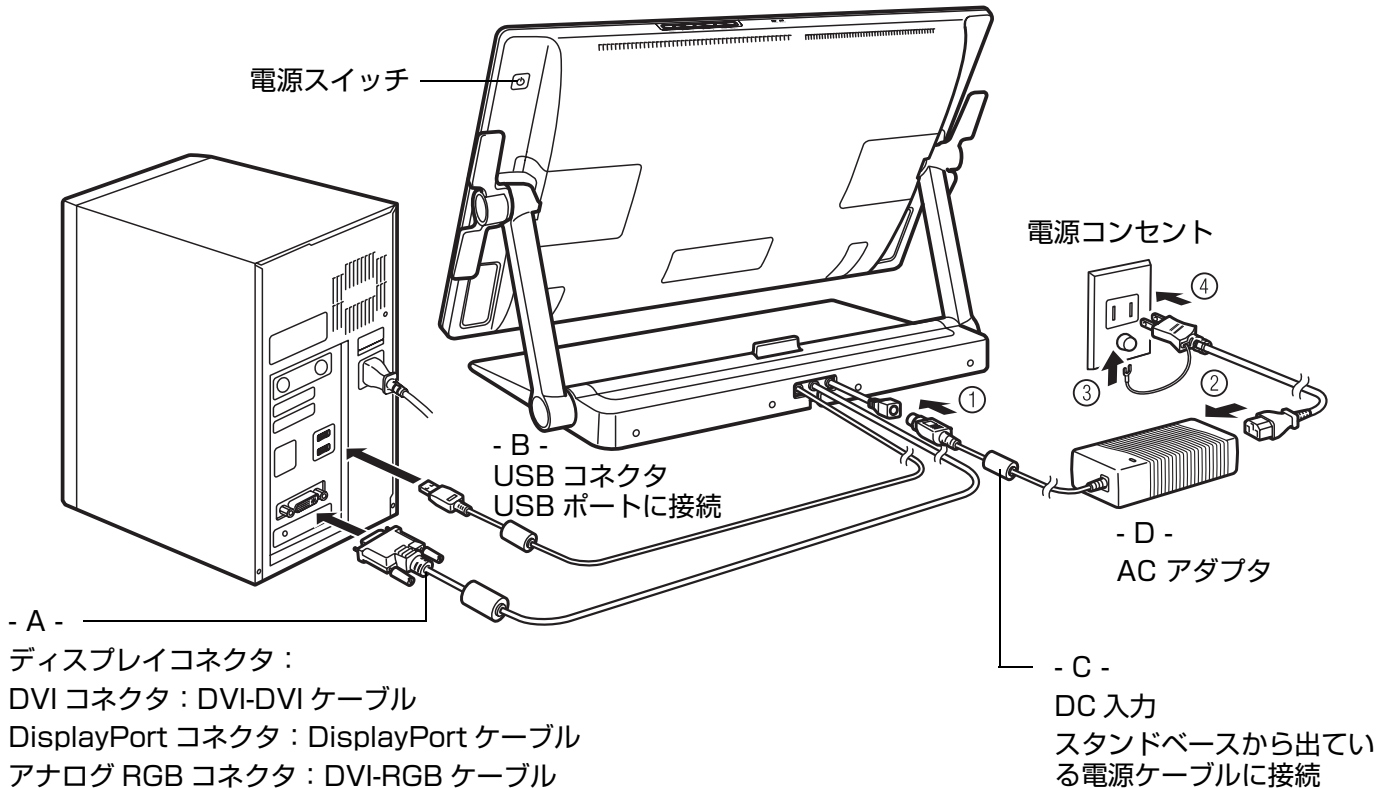




本機の接続図

接続ケーブル類はあらかじめ本機に装着されています。

- **DVI-D** : DVI-DVI ケーブルはスタンドベースから出ています。
- **DisplayPort** : DisplayPort ケーブルはスタンドベース内に収納されています。
[ケーブルの交換](#)を参照してください。
- **アナログ RGB** : DVI-DVI ケーブルを取り外し、代わりに付属の DVI-RGB ケーブルを取り付けます。
[ケーブルの交換](#)を参照してください。
- **USB** : USB 接続ケーブルはスタンドベースから出ています。



⚠ 注意

本機またはコンピュータの電源がオンになっているときに、ディスプレイケーブルや電源ケーブルを抜き差ししないでください。本機またはコンピュータのグラフィックボードが故障する場合があります。

本機に付属の AC アダプタをご使用ください。付属品以外の AC アダプタを使用すると、本機が故障するおそれがあります。

最適な表示のためには、ディスプレイのリフレッシュレートを垂直周波数 60Hz にする必要があります。本機がサポートする最大周波数 85 Hz を超えるリフレッシュレートは使用できません。仕様については「製品に関する重要なお知らせ」をご覧ください。





8. コンピュータの電源をオンにします。
9. コントロールパネルの「画面の設定」から適切な解像度と色数の設定を行ってください。
最適な画質を得るには、本機の最大解像度の 1920x1200 に設定してください。本機で使用できる解像度の詳細は、タブレットドライバ CD-ROM にある「製品に関する重要なお知らせ」を参照してください。解像度と色数は、ご使用のコンピュータやグラフィックボードの性能によって制限されることがあります。微調整については [画面を調整する](#) を参照してください。

補足：DVI-RGB ケーブルで接続した場合は、画面調整ボタンの中の「MENU」ボタンを押して本機の OSD メニュー画面を開き、「画像設定」－「オートアジャスト」を選択します。画面を微調整するには、本書 42 ページを参照してください。

Windows の場合：本機をセカンドディスプレイとして使用する場合は、コントロールパネルから本機の接続を有効にする設定が必要な場合があります。

画面設定が完了しましたら、[ステップ 2：タブレットドライバのインストール](#)に進みます。

補足：液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠点や常時点灯の画素がある場合があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。詳細については、「製品に関する重要なお知らせ」をご覧ください。

画像に微細ストライプ（画面の縞模様など）が現れると、ちらつきまたはモアレのように見える場合があります。

ディスプレイの表面に過剰な圧力を加えないでください。モアレまたは波紋のような模様が現れる原因になる場合があります。

同じ画面を長時間表示したあと残像が生じることがありますが、時間がたつと徐々にもとにもどります。スクリーンセーバーを使用することで、残像の発生を軽減させることができます。

本機のバックライトをより長くご使用いただくには、長時間画面を使用しないときは電源を切るようにコンピュータの電源オプションを設定してください。

長時間本機をお使いになる場合、目の健康のために画面の輝度を下げてください。輝度を下げるとはバックライトの寿命を延ばし、ディスプレイの表面温度を下げることにもつながります。

タブレットドライバ CD-ROM にカラープロファイルが同梱されています。本機でカラープロファイルを使用するときは、コントロールパネルの「デスクトップのカスタマイズ」の「画面の解像度の調整」を選び、本機の画面のプロパティを開き、「色の管理」を選び、本機のプロファイルを選択してください。詳細については、ご使用のオペレーティングシステムおよびソフトウェアの取扱説明書で、カラーマネジメントシステムを参照してください。

トラブルシューティングについては [トラブルシューティング](#) をご覧ください。





ステップ 2：タブレットドライバのインストール

コンピュータでの作業を保存し、開いているソフトウェアをすべて閉じます。

1. タブレットドライバ CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。
Windows OS の場合は、自動でインストール画面が表示されます。インストール画面が表示されない場合は、CD-ROM アイコンをダブルクリック、または CD を開き「Install.exe」をダブルクリックしてください。
Mac OS の場合は、デスクトップ上に「Tablet CD」の CD-ROM アイコンが表示されます。「Tablet CD」をダブルクリックで開いて「インストール」をダブルクリックしてください。

補足：Windows Vista をお使いの場合

- ・「自動再生」が表示される場合があります。「プログラムのインストール / 実行」をクリックしてください。
- ・「ユーザーアカウント制御」が表示される場合があります。「続行」または「許可」をクリックしてください。

補足：ワコムホームページから最新のタブレットドライバをダウンロードできます。

2. 「タブレットのインストール」をクリックし、画面の指示に従ってタブレットドライバをインストールします。
3. タブレットドライバの使用許諾契約が表示されます。内容に同意したら「同意する」をクリックします。

ヒント：タブレットドライバのインストールが正常に行えない場合、ネットワークを切断し、ウィルス監視プログラムを一時的に OFF にして試してください。ドライバのインストールが完了しましたら、必ずウィルス監視プログラムを ON にしてください。

4. タブレットドライバのインストール完了後、画面上で電子ペンを使用してポインタが動くことを確認してください。

ペン先を画面上に置くと、ポインタは直ちにペン先のほぼ下の位置に移動します。ペン先を持ち上げ、画面上の異なる位置に置くと、ポインタは再び新しい位置に移動します。

5. 更新情報については、Read Me ファイルを確認してください。注意と警告についてはタブレットドライバ CD-ROM 中の「製品に関する重要なお知らせ」を参照してください。タブレットドライバのインストール中に不具合が起こったら[トラブルシューティング](#)を参照してください。
6. 次に、画面のポインタとペン先の位置を合わせてください。[ペン先の位置調整](#)を参照してください。

補足：ユーザ設定がサポートされています。ユーザはログオンした後、コントロールパネルで自分の個人設定をカスタマイズすることができます。ユーザが切り替わると、自動的に新しいユーザの個人設定をロードします。

本機が正常に動作しない場合、またはポインタをコントロールできない場合は、本機の実環境設定に異常が生じた可能性があります。現在の環境設定を削除して、本機をお買い上げ時の設定状態に戻すことができます。環境設定管理の詳細については、[タブレット設定ファイルの管理](#)を参照してください。

Microsoft Windows 7、Vista、および Office 2007 以上 (Windows 7 Starter および Windows Vista Home Basic を除く) においては、タブレットドライバをインストールすると自動的にペン入力機能が利用できるようになります。[Windows のペンおよびペン入力機能](#)を参照してください。

ワコムホームページから最新のタブレットドライバをダウンロードするには[ドライバのダウンロード](#)を参照してください。

タブレットドライバをアンインストールするには[タブレットドライバのアンインストール](#)をご覧ください。



本機の機能と設置

本機は高機能な液晶ディスプレイと最高の書き味の電子ペンを組み合わせた高い生産性と創造性を兼ね備えた製品です。この製品により自然で快適な作業環境を提供いたします。

本機の基本構成は、高画質 IPS 液晶ディスプレイを搭載した液晶ペンタブレット、グリップペン、および[スタンド](#)です。

本書は本機の[セットアップ](#)の手順と[使用方法](#)について説明しています。コントロールパネルで、本機と電子ペンの設定をカスタマイズできます。詳しくは、[本機をカスタマイズする](#)をご参照ください。

[本機の機能](#)

[電子ペンの機能](#)

本機の機能

本機をお使いになる前に、本機の機能や各部の使い方をご確認ください。本機はオペレーティングシステムとは独立したデバイスのように見えますが、ディスプレイとペンタブレットセンサーは 1 つに統合された出入力デバイスとして機能します。ペンタブレットセンサーはペンの座標、筆圧、傾き、スイッチ、消しゴムなどの情報を伝えます。

- 多くのソフトウェアは本機の機能（筆圧機能、傾きおよび回転）に対応しています。ワコムホームページで、本機の機能に対応したソフトウェアを確認することができます。（[製品情報](#)をご覧ください。）
- 特定のソフトウェアでの最適な液晶ペンタブレットの使い方については、ソフトウェアに付属のマニュアルをご覧ください。

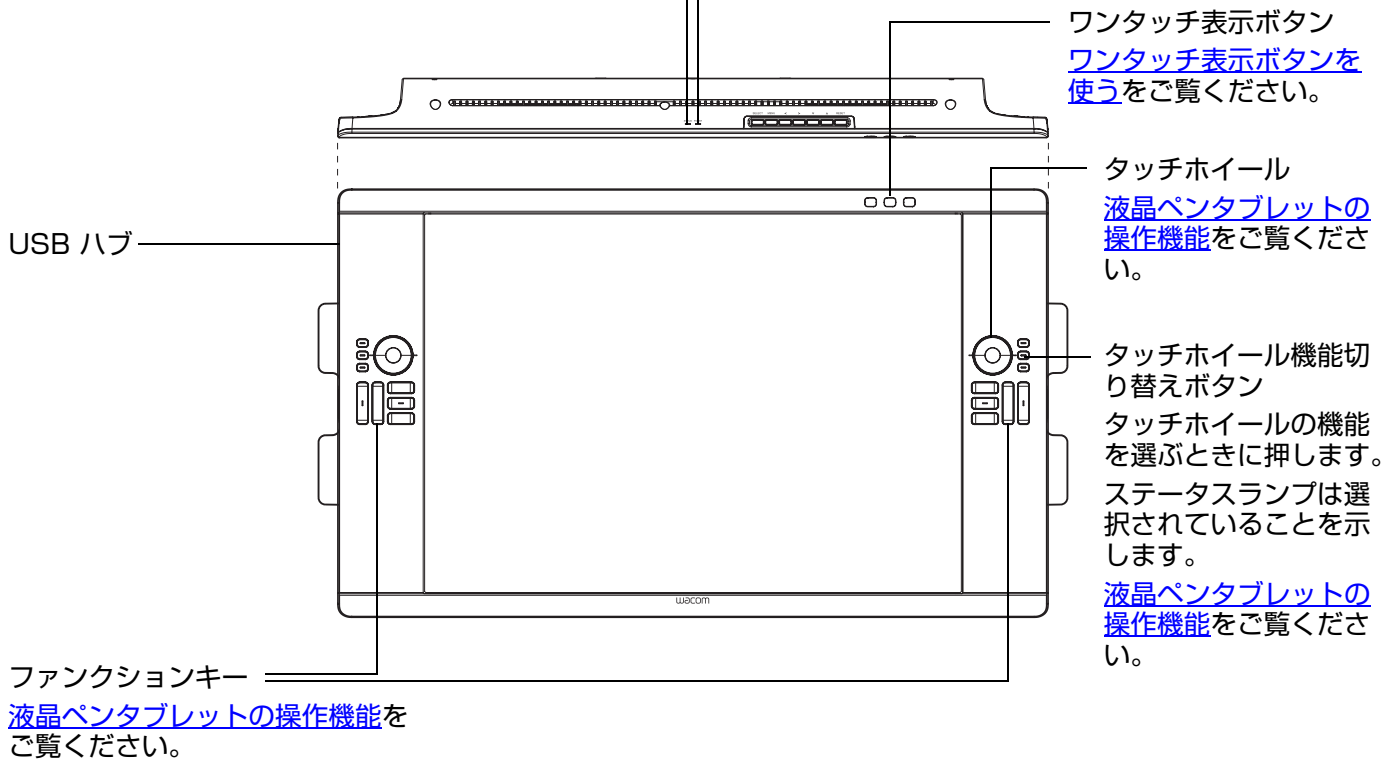
正面

ステータスランプ

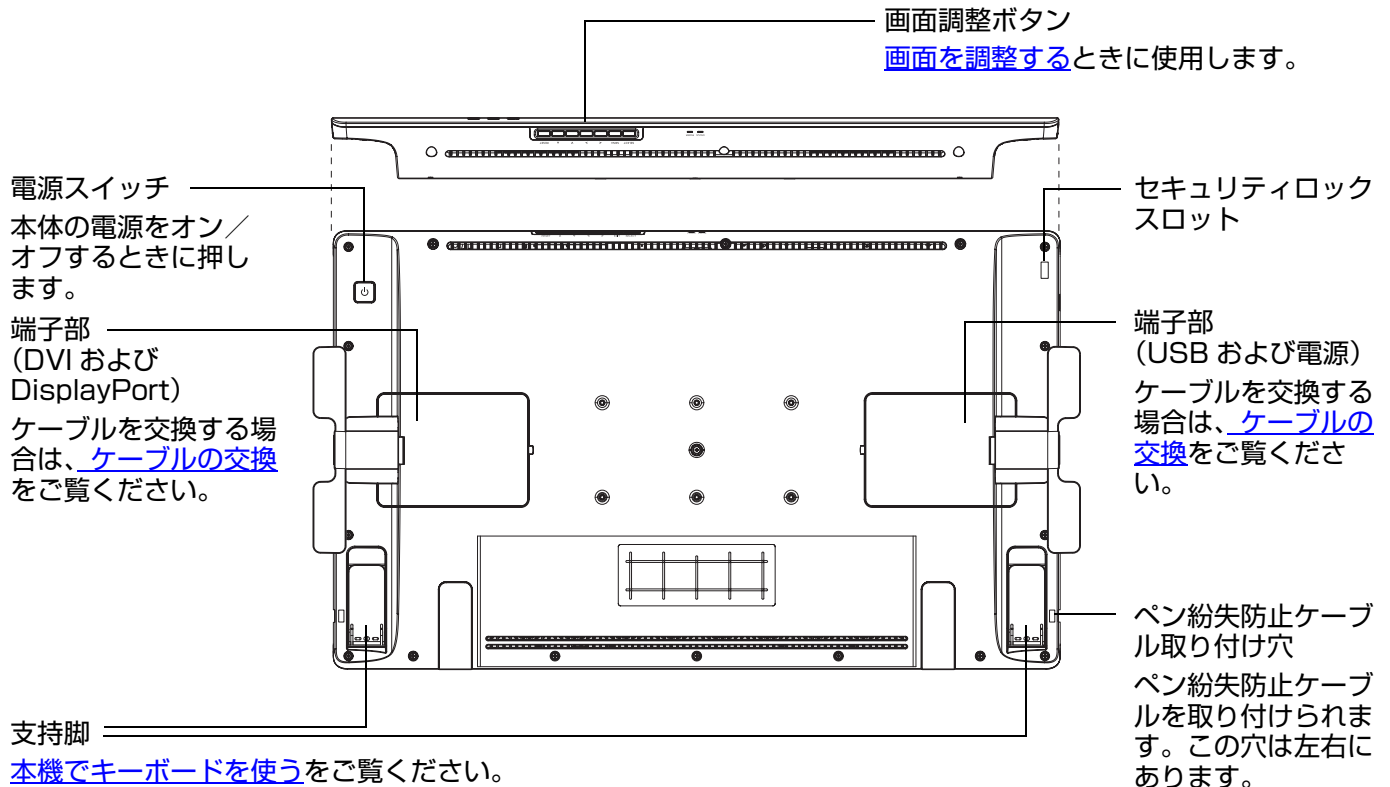
- 操作エリアで電子ペンを使用しているとき、ペン先、消しゴム、またはサイドスイッチを押すと青く点灯します。
- このランプは、USB 接続ケーブルのコネクタが USB ポートに接続され、ビデオ信号が入力されている場合にのみ点灯します。

パワーランプ

- 本機の電源がオンのとき、ビデオ信号が入力されると、青色に点灯します。
- ビデオ信号が入力されない場合、オレンジ色に点灯します。（例：コンピュータの電源を切っている、起動中またはビデオ信号が送られない省電力状態になっているとき。）



裏面



続いて、[電子ペンの機能](#)および[スタンド](#)について説明します。まだ完了していなければ[本機のセットアップ](#)に移ります。

電子ペンの機能

消しゴム：電子ペンを逆に持ち、画面から 5mm 以内にテールスイッチ（消しゴム）を近づけると、操作エリアはテールスイッチの位置を認識します。

テールスイッチが画面に触れると、筆圧が感知されます。標準設定では、テールスイッチは「消しゴム」に設定されています。

消しゴム機能は、対応しているソフトウェアでのみお使いになれます。

サイドスイッチ：標準の電子ペンにはサイドスイッチが装備されています。サイドスイッチは上下2つあり、押すことによりあらかじめ設定されている機能が働きます。

ペン先が画面に触れていなくてもサイドスイッチは使用できます。標準設定では、上側は「ダブルクリック」下側は「右ボタンクリック」に設定されています。

お知らせ 誤ってサイドスイッチを押さないように持ってください。

ペン先（交換可能）：画面から 5mm 以内にペン先を近づけると、操作エリアはペン先を認識します。これにより、ペン先で画面に触れずにポインタの位置決めができます。

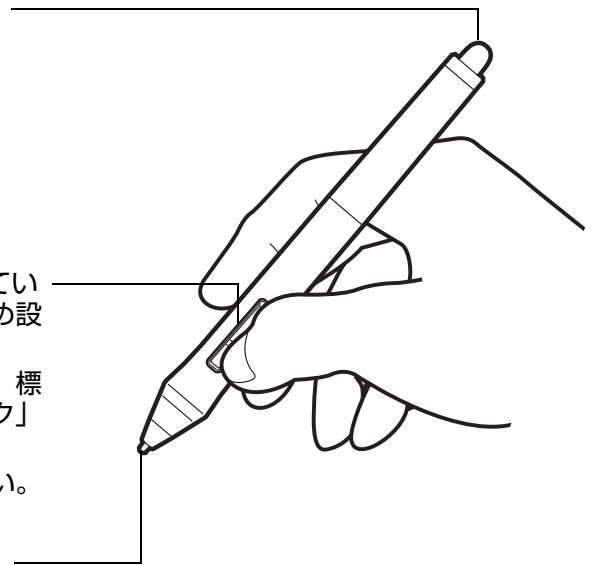
画面に触れると、電子ペンはマウスの左ボタンクリックと同じ働きをします。ペン先のクリック圧は、コントロールパネルで調整できます。

ヒント：電子ペンは、ペン先または消しゴムが画面から 5mm 以内に近づく検出されます。

本機が自動スリープモードに入った後に再び操作を再開するには、ペン先を検出範囲に近づけるか、またはペン先で画面に触れます。

重要：本機に付属の電子ペン、または対応する電子ペンのみを使用してください。その他の電子ペンでは正常に機能しない場合があります。[オプション品のご案内](#)をご覧ください。また適合する電子ペンの芯は、本機の画面専用に設計されています。他の芯では、本機の画面を損傷させる可能性があります。

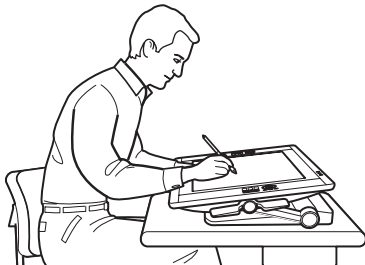
電子ペンを使用しないときには、ペンスタンドに収納するか、机の上に横にして置いてください。ペン先や消しゴムが押された状態になる入れ物に電子ペンを収納しないでください。誤った方法で保管すると、電子ペンが故障する場合があります。



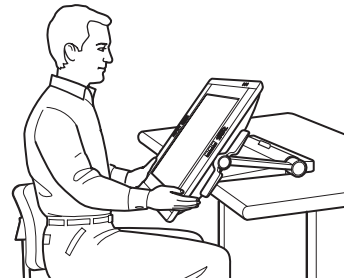
スタンドを使う

スタンドは液晶ペンタブレット本体の重量を支えられるように設計されています。

- 本機は様々な用途と作業スタイルに対応しています。本機が最適なポジションになるよう、スタンドを調節してご使用ください。
- 本機は作業台上で位置を移動させて使うことができます。移動後に液晶ペンタブレット本体の高さや角度の再調節が必要になる場合があります。



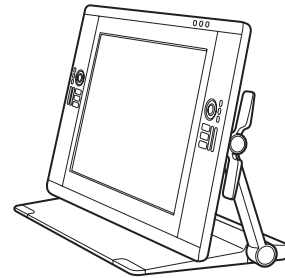
液晶ペンタブレット本体の位置は、用途に合わせて調節してください。



低い位置で作業をするには、液晶ペンタブレット本体を机上から張り出す位置に調節します。



キーボードでたくさんの文字を入力する場合は、液晶ペンタブレット本体を斜めに調節します。作業内容を他の人に見せる際にもこの角度が便利です。支持脚を引き出して、キーボードを液晶ペンタブレット本体の下に置くこともできます。



また液晶ペンタブレット本体を垂直に近い角度に立て、ディスプレイとして使うこともできます。

[スタンドの機能](#)

[スタンドの設置場所](#)

[液晶ペンタブレット本体の高さと角度を調整する](#)

[本機でキーボードを使う](#)

[ケーブルの交換](#)

スタンドの機能

机の上やその他の作業台上に、本機の設置場所を決めます。[スタンドの設置場所](#)は、本機が落ちたり倒れたりしないような水平な場所にしてください。また、スタンドの構成部品についてもご確認ください。

角度調整レバー

本体の左右両側に付いています。[液晶ペンタブレット本体の角度を調整する](#)ときに使います。

スタンドアーム

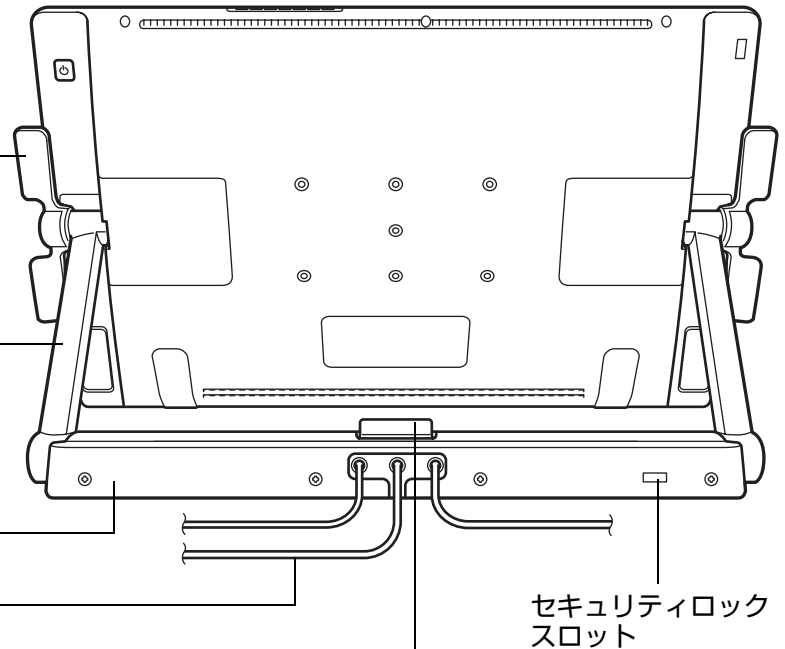
本体の左右両側に付いています。垂直位置でロックされ、スタンドアームラッチを手前に引いてロックを解除すると、角度を変えることができます。

スタンドベース

接続ケーブル

DVI-DVI ケーブル、DisplayPort ケーブル、USB 接続ケーブル、および電源ケーブル。[ステップ1: ハードウェアのセットアップ](#)をご覧ください。

補足：DisplayPort コネクタにつなぐときはスタンドベースのバックカバーを外してDisplayPort ケーブルを取り出してください。[ケーブルの交換](#)をご覧ください。



スタンドアームラッチ

スタンドアームのロックを外すことができます。片手で本機を少し持ち上げるように支えながら、もう一方の手でラッチを手前（上図では向こう側）に引きます。[液晶ペンタブレット本体の高さと角度を調整する](#)を参照してください。

⚠ 警告

角度調整レバーやスタンドアームの上部を持って本機を持ち上げないでください。けがをしたりスタンドが破損するおそれがあります。スタンドの可動部のすき間に指をはさまないようにご注意ください。

本機は水平な安定した机や作業台の上などに設置してください。作業台からスタンドベースがはみ出ないように注意してください。スタンドベースが作業台の上に完全に載っていない状態で使用すると、倒れたり落下したりして、けがや故障の原因になります。

不安定な台の上などに本機を置かないでください。ぐらついたり傾いたりした場所、また振動の激しい場所に本機を置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因になります。

スタンドの設置場所

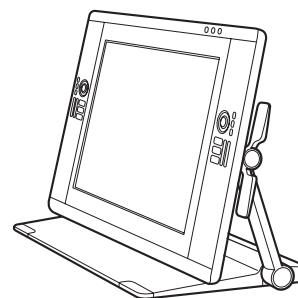
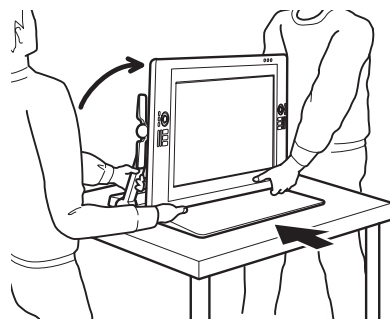
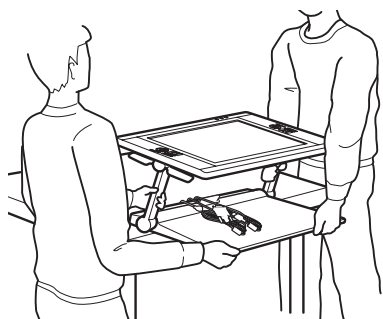
水平で安定した机や作業台などに本機を設置してください。本機は約 29kg あります。本機の重量に耐えられない、十分な幅・奥行きがない机の上もしくは作業台には置かないでください。

- 本機を動かす場合、あらかじめ液晶ペンタブレット本体をカチッと音がするまで起こしてスタンドアームをロックし、液晶ペンタブレット本体を水平位置にセットしてください。移動するときはずべてのケーブル類を束ねてスタンドベースの上に置き、本機から垂れ下がらないようにしてください。垂れ下がったケーブルが足に絡むと、破損やけがなどの原因になります。
- 必ず2人以上で作業を行ってください。スタンドベースを持ちながら、もう一方の手でスタンドアーム下部のスタンドベース付近を持ち、本機を持ち上げ慎重に移動させます。

重要： 本機は約 29kg あります。持ち上げるときは、必ず2人以上で行ってください。左右から両手で確実に本機を持つようにしてください。

液晶ペンタブレット本体を持って本機を持ち上げないでください。移動中に液晶画面がたわむと損傷する可能性があります。また液晶ペンタブレット本体からスタンドがぶら下がった状態にすると、破損する可能性があります。2人の動きを合わせて慎重に持ち上げてください。

- 本機は水平で水や油のこぼれていない清潔な机や作業台に設置してください。指を挟まないように気をつけながら、まずスタンドベースの後ろ半分を台の上に載せ、傾いたり落下しないように気をつけながらスライドさせ設置場所まで移動させます。
- 設置が完了したら、角度調整レバーを使って本体を垂直位置に戻してください。



⚠ 警告

角度調整レバーやスタンドアームの上部を持って、本機を持ち上げないでください。また誤った操作はけがやスタンドの破損の原因となる可能性があります。また、スタンドの可動部の隙間に指を挟まないように注意してください。

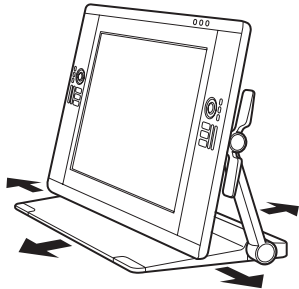
本機は水平な安定した机や作業台の上などに設置してください。作業台からスタンドベースがはみ出ないように注意してください。スタンドベースが作業台の上に完全に載っていない状態で使用すると、倒れたり落下したりして、けがや故障の原因になります。

不安定な台の上などに本機を置かないでください。ぐらついたり傾いたりした場所、また振動の激しい場所に本機を置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因になります。

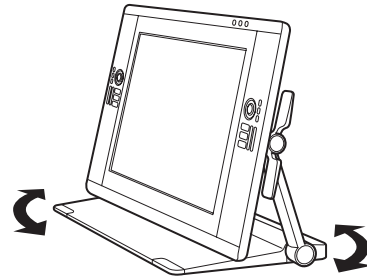
濡れた台の上などに本機を置かないでください。底面のゴムが滑って落下する恐れがあります。



本機を作業台の上でスライドさせて移動することができます。



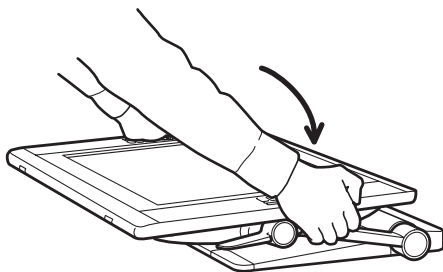
作業台の上でスタンドベース（台座）をスライドさせます。



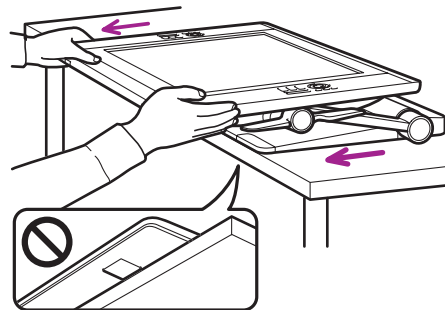
回転させて向きを変えます。

低い位置で作業をしたい方のために、液晶ペンタブレット本体が作業台から張り出した状態で作業をすることができます。

1. **高さ**と**角度**を調整し、液晶ペンタブレット本体を低く水平な状態にします。
2. 本機を手前に引きます。この時、スタンドベースが作業台からはみ出ないようにしてください。



液晶ペンタブレット本体をより低く水平な位置に調節します。



本機をゆっくり手前に引きます。強いひっかかりを感じたら引くのを止めます。スタンドベースが作業台からはみ出していないことを確認して下さい。

⚠ 警告

本機の設置場所を調整するときは注意してください。本機を手前に引くときは、ゆっくりと水平に動かします。スタンドを作業台から持ち上げないでください。スタンドベースは作業台の端まで動かすことができます。スタンドが作業台からはみ出ないようにご注意ください。

スタンドを引きすぎたときやスタンドベースが作業台からはみ出た場合には、スタンドベース底面のパッドのひっかかりが強くなりスタンドはその場に「ロック」されます。この場合は、それ以上スタンドを引っ張らないでください。

作業台の端に合わせて、スタンドを押し戻します。

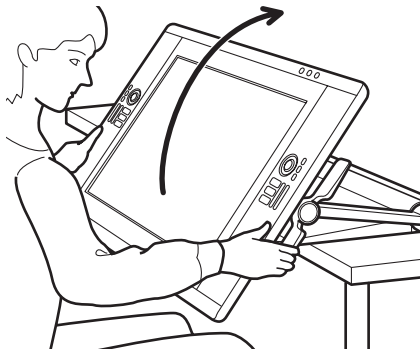
スタンドを誤った動かし方をしたり「ロック」された位置からさらに引っ張ったりした場合には、本機の転倒や落下によりけがや破損につながる可能性があります。本機は約 29kg あります。移動には十分注意をしてください。



3. 液晶ペンタブレット本体の高さと角度を必要に応じて再調整します。



4. 作業が終わったら、角度調整レバーで画面を立て、液晶ペンタブレット本体を完全に作業台の上に戻します。本機を使用していないときは、完全に作業台の上にあることを確認して下さい。



重要：作業の終了時には、液晶ペンタブレット本体を完全に作業台の上に戻してください。

⚠ 警告

液晶ペンタブレット本体が作業台からはみ出した状態で使用する際は、絶対に本体の下部を押したり寄りかかったりしないでください。スタンドが作業台から落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因になります。作業の終了時には、液晶ペンタブレット本体を完全に作業台の上に戻してください。

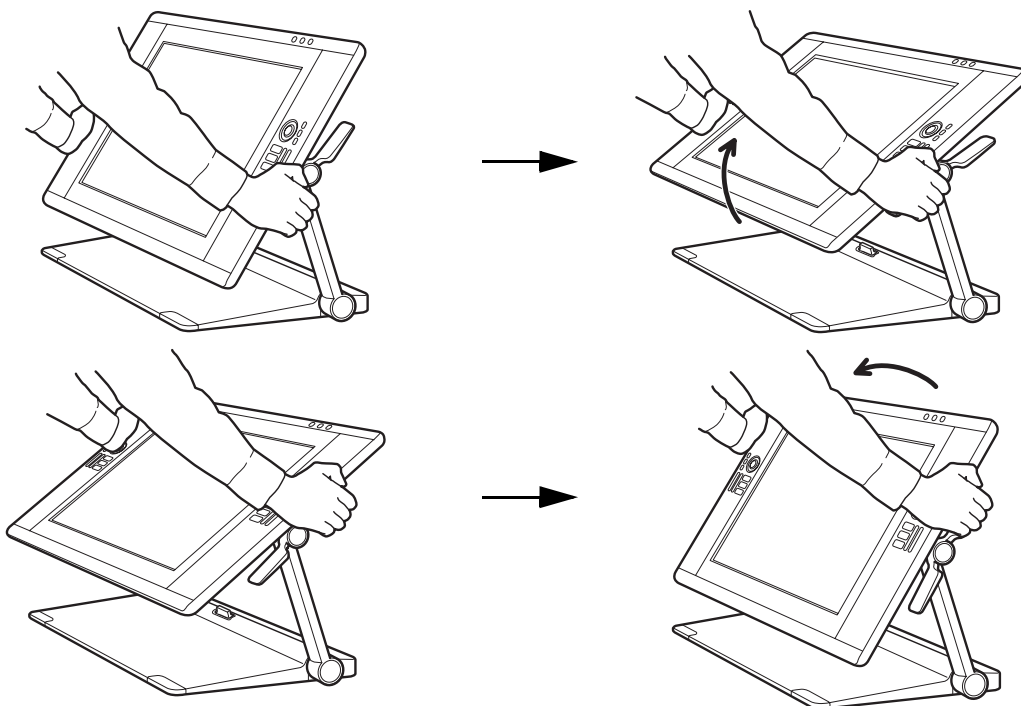


液晶ペンタブレット本体の高さと角度を調整する

液晶ペンタブレット本体の高さと角度を、最適な位置で使えるよう調整することができます。

液晶ペンタブレット本体の角度を変えるには、液晶ペンタブレット本体の正面から角度調整レバーごと左右両端を持ちます。指で角度調整レバーを本体側に軽く引きます。これによりクラッチ機構のロックが外れ、液晶ペンタブレット本体を傾けて角度を調整することができます。

- 本機左右両側の角度調整レバーを同時に引きます。例：両側とも下側のレバーを引く、あるいは両側とも上側のレバーを引きます。
- より水平にするには、下側のレバーを引き、液晶ペンタブレット本体を目的の位置までゆっくり上向きに回転させます。
- より垂直にするには、上側のレバーを引き、液晶ペンタブレット本体を目的の位置までゆっくり下向きに回転させます。
- 液晶ペンタブレット本体が目的の位置にきたら、角度調整レバーを離してロックします。
- 液晶ペンタブレット本体の傾き角度は、上記を参考にやりやすい方法で調整してください。



補足：角度調整レバーには、クラッチが噛み合うまでに一定の遊びがあります。

液晶ペンタブレット本体をより垂直になるよう角度調整するとき、スタンドが前方に動きそうになる場合があります。この場合は、上側のレバーで液晶ペンタブレット本体を少し手前に引きます。

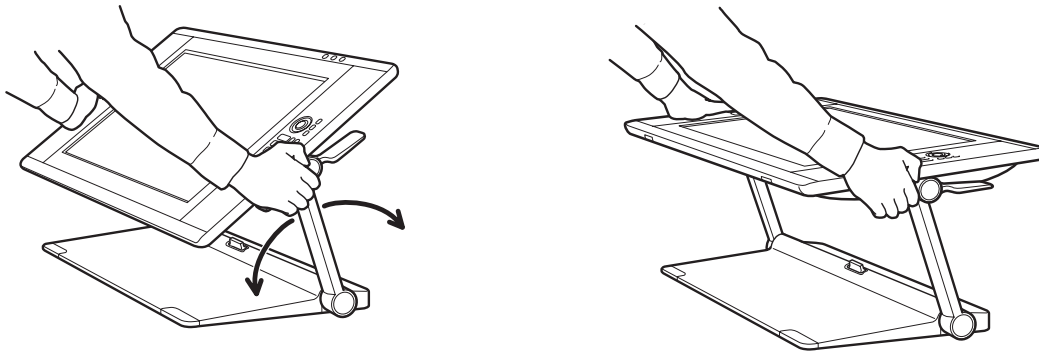




液晶ペンタブレット本体の高さや角度や位置を元に戻すときは、正面から液晶ペンタブレット本体の両側をつかみます。

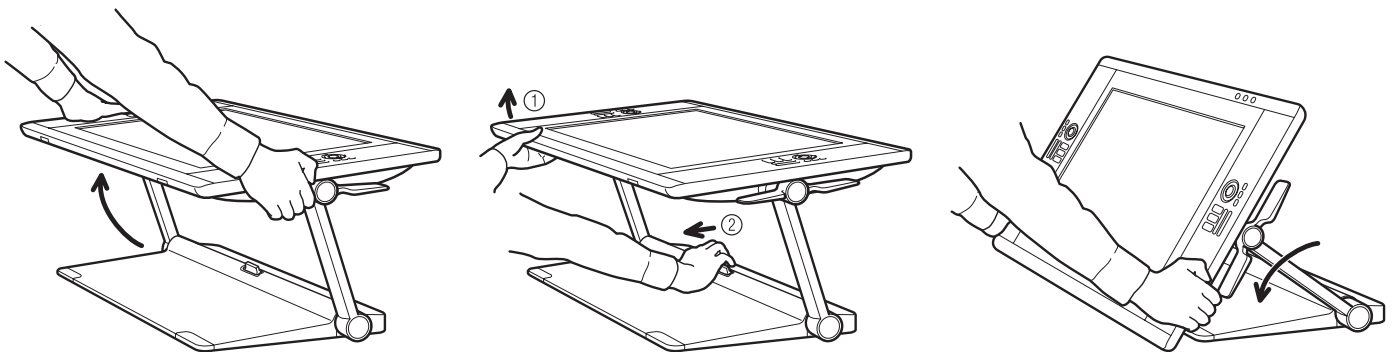
- [角度調整レバー](#)で角度を調整します。

重要：液晶ペンタブレット本体を垂直位置にして使用する場合、スタンドアームは起こした位置でロックします。



スタンドアームのロックを外す方法：

1. 角度調整レバーを使用して液晶ペンタブレット本体を水平方向に角度調整すると、スタンドアームラッチを操作することができます。
2. ①片手で液晶ペンタブレット本体を少し持ち上げます。
②もう一方の手でスタンドアームラッチを手前に引きます。これでロックが解除され、スタンドアームを動かすことができます。



⚠ 警告

スタンドアームのロックを外すときは、必ず先に液晶ペンタブレット本体を一方の手で支えてください。また、ロックを外すときはスタンドアームを持たないでください。準備をせずにスタンドアームのロックを外すと、液晶ペンタブレット本体が落下しけがや破損につながる可能性があります。

3. 液晶ペンタブレット本体をスタンドベースの上または作業台の上まで、ゆっくりと下げます。

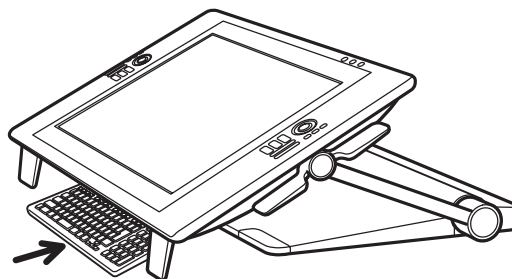
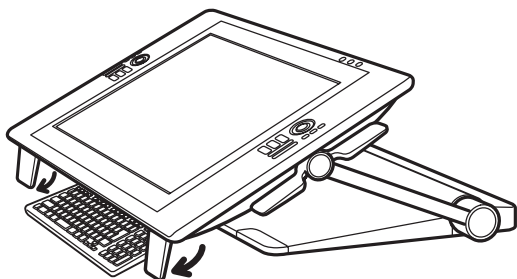
ヒント：液晶ペンタブレット本体下部の支持脚を下ろして画面を少し持ち上げると、液晶ペンタブレット本体の下側にキーボードなどを置くことができます。[本機でキーボードを使う](#)をご覧ください。



本機でキーボードを使う

液晶ペンタブレット本体下部の支持脚を下ろすと、液晶ペンタブレット本体の下側にキーボードなどを置くことができます。

- 支持脚は液晶ペンタブレット本体裏面の両端下部にそれぞれ1つずつ付いています。支持脚を起こし、それぞれを上に向けて軽くカチッと音がするまで押し上げます。
- 必要に応じて高さや角度を調整します。支持脚は作業台上で左右均等に安定させてください。
- こうしてできた液晶ペンタブレット本体下のスペースに、キーボードなどの入力デバイスを置くことができます。



ケーブルの交換

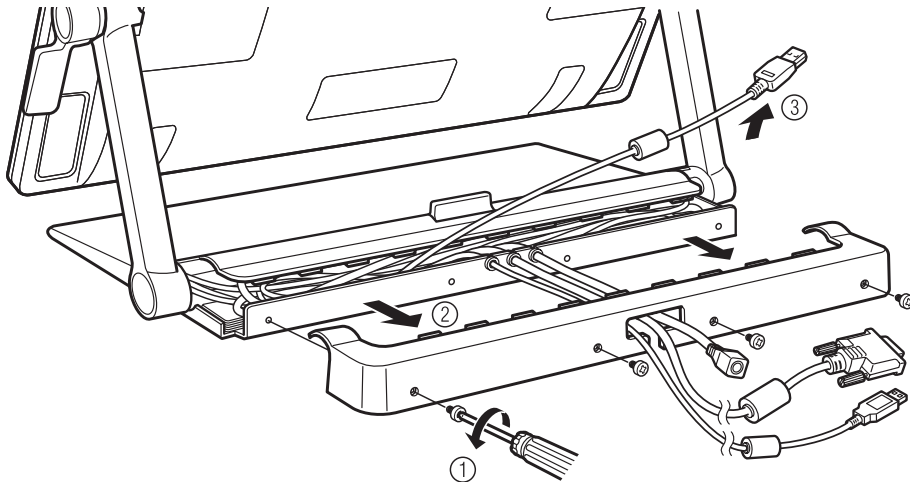
接続ケーブル (DVI-DVI、DisplayPort、USB、および電源) はあらかじめ本機に装着されています。

DisplayPort 接続をする場合は、スタンドベースのバックカバーを外して DisplayPort ケーブルを取り出します。

1. バックカバーのネジ (+ネジ、4 本) を外してバックカバーを取り外します。

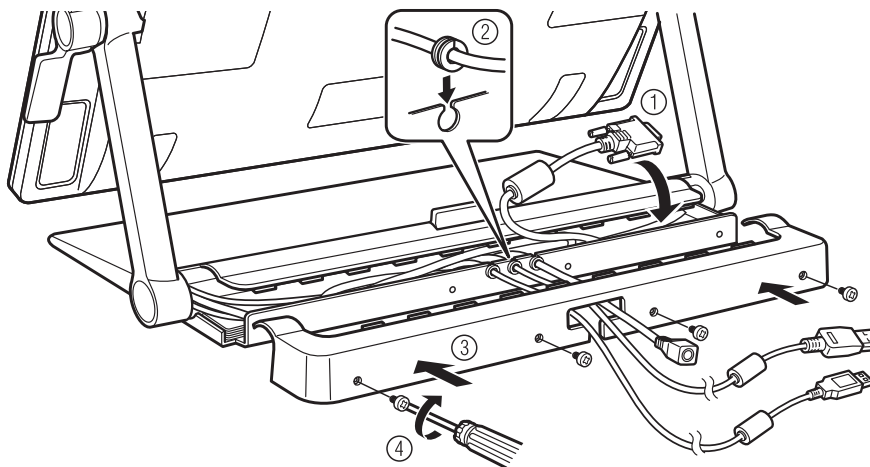
重要： 取り外したネジを紛失しないようにしてください。

2. DisplayPort ケーブルを引き出し、スタンドベース中央のケーブル通し穴を通して外に出します。DVI-DVI ケーブルは束ねてスタンドベース内部に収納します。



ネジ：平頭ネジ、M3-6

3. バックカバーを元のように取り付け、手順 1 のネジで再び固定します。

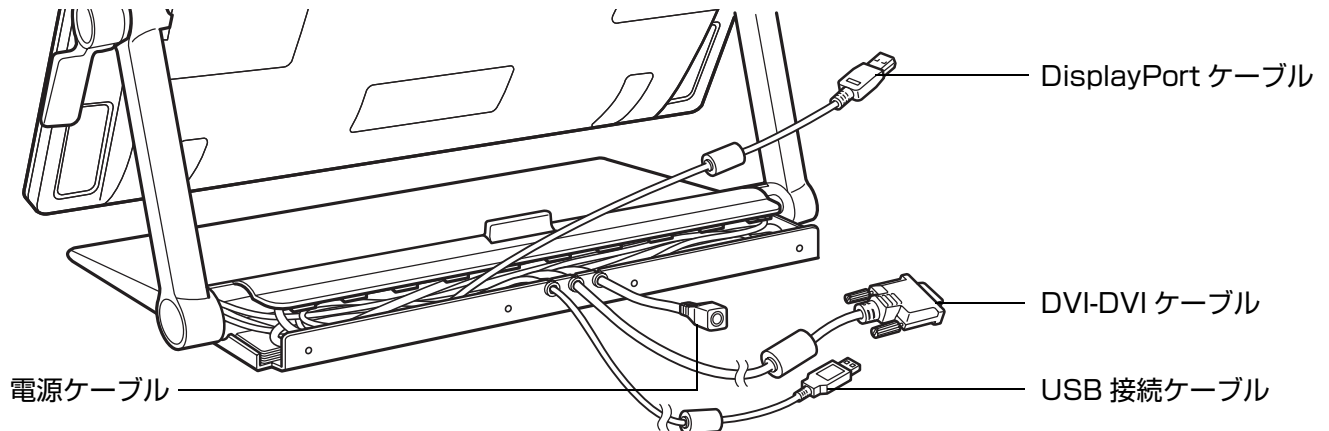


以下のような場合には、装着している接続ケーブルを取り外す、あるいは交換する必要があります。

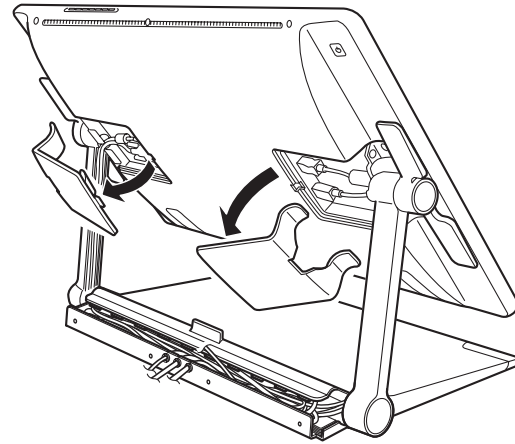
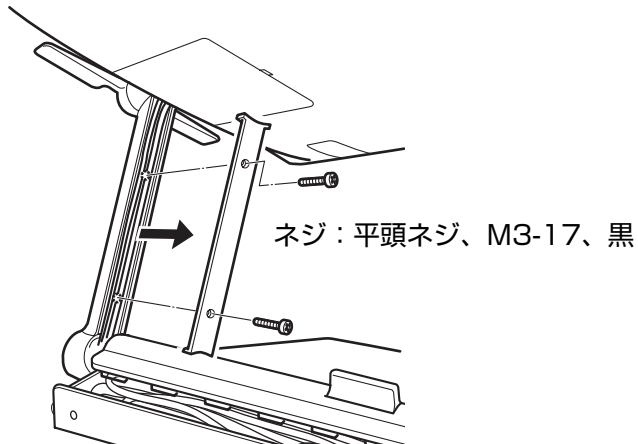
- アナログ RGB 接続を使用する場合は、DVI-DVI ケーブルを取り外し、付属の DVI-RGB ケーブルに交換します。
- 液晶ペンタブレット本体を VESA マウントアームに取り付けて、さらに付属のケーブルを使う場合。
- 動作不良のケーブルを交換する場合。

ケーブルを取り外すには：

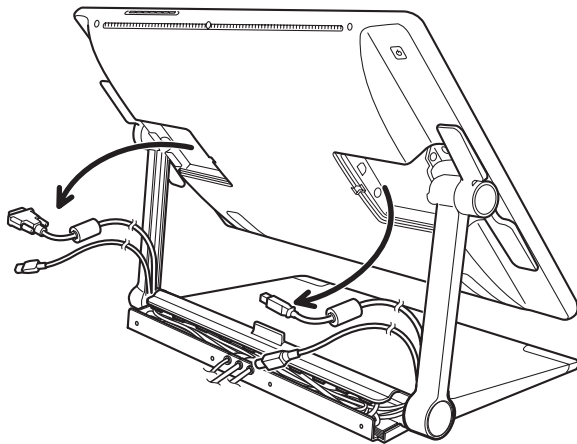
1. スタンドベースのバックカバーを前ページのようにして取り外します。
2. 取り外すケーブルを確認します。下図を参考にしてください。



3. スタンドアームを立てて垂直位置でロックし、裏面の作業ができるように液晶ペンタブレット本体の角度を調整します。続いて、取り外したいケーブルを収納しているスタンドアームのカバーから、ネジ（+ネジ、2本）を取り外します。
4. 液晶ペンタブレット本体裏面の端子部のカバーを取り外します。



5. ケーブルのコネクタを取り外し、スタンドアームからケーブルを引き出します。



重要：ケーブルを取り付けるまたは交換するとき、スタンドアームの回転軸（液晶ペンタブレット本体とスタンドベースのつなぎ目）には、特にていねいに正しくケーブルを通してください。ケーブルが正しく通っていないと、回転機構にケーブルが引っかかる可能性があります。

6. 手順1～5と逆の手順で新しいケーブルを取り付けます。

本機を使用する

液晶ペンタブレット本体およびスタンドは、幅広い柔軟性を追求し人間工学に基づいて設計されています。お使いになる方は、必要に応じて液晶ペンタブレット本体を様々な高さや角度に調整することができます。それぞれの使い方と用途に合わせ、[液晶ペンタブレット本体の高さと角度を調整する](#)方法を試してみてください。

本機を使用するときには、画板や紙に書くときと同じように手を軽く画面上に載せます。

液晶ペンタブレット本体の位置は机よりも少し高くなるため、快適に作業するには机または椅子の高さを調整してください。

[姿勢と作業環境を整える](#)

[利き手の設定をする](#)

[電子ペンを使う](#)

[液晶ペンタブレットの操作機能](#)

[マルチディスプレイ環境で使う](#)

[画面を調整する](#)

姿勢と作業環境を整える

疲労を軽減させるために、作業環境を整え、楽に作業ができるようにしてください。本機、電子ペン、キーボードを手の届きやすい場所に配置してください。目を疲れさせずに、楽に見ることができるような場所に本機やその他のディスプレイを置いてください。

- これから作業環境を整える場合は、使用する人の利き手に合わせて[本機を設定](#)してください。
- 本機をディスプレイとして使用する場合、液晶ペンタブレット本体の上端がユーザの目線と一致するように調整してください。



最適なポジションに[本機を調整](#)します。

- 常に正しい姿勢でご使用ください。





- 作業の合間に休憩を取り、コンピュータ画面から目を離して室内の他のものを眺め、両目を休ませるようにしてください。
- 電子ペンは軽く握ってください。作業の合間に短い休憩をはさみ、ストレッチをして筋肉をほぐすようにしてください。
- 1日のうちで性質の異なる作業を入れ替えて行ってください。不快感を伴う不自然な姿勢や、反復動作を控えてください。
- 作業姿勢に不快感を感じたら、姿勢を変えてください。
- この章をよく読み、本機を使った作業についてさらに学習してください。
- 最適な作業のしかたについては、本機の[カスタマイズ](#)の基本事項をご覧ください。

ヒント：本機をコンピュータに接続した状態で移動させると、ケーブルが引っ張られて抜ける場合がありますので注意してください。

また本機は、市販の VESA (Video Electronics Standard Association) 規格のマウントアームやモニタースタンドに取り付けることも可能です。詳しくは[マウントアームに取り付けて使う](#)をご覧ください。



利き手の設定をする

タブレットドライバのインストール中に、初期設定の利き手を選択する画面が表示されます。このとき選んだ設定が、ファンクションキーとタッチホイールの初期設定に使用されています。

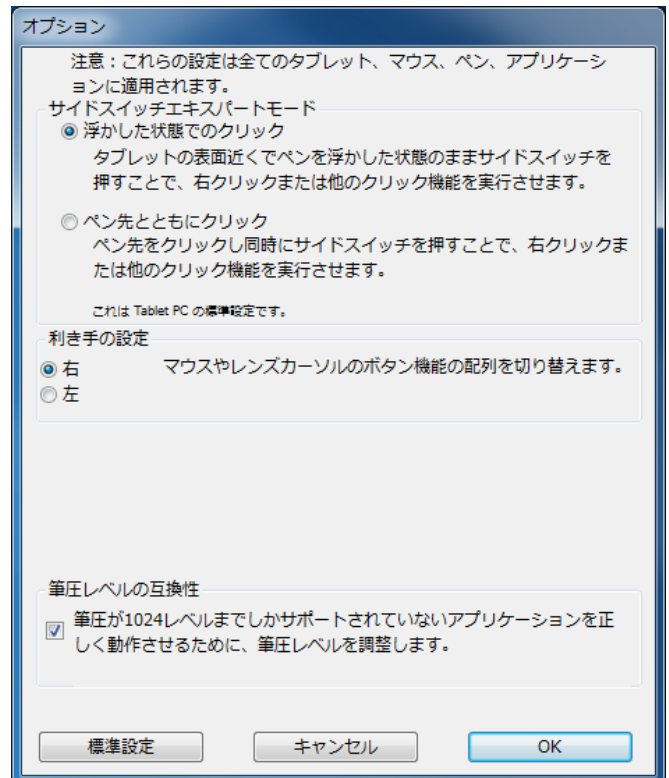
ただし、コントロールパネルで、いつでも右利きまたは左利きの利用者に合わせて本機の設定を変更することができます。利き手の設定を変更すると、自動的にファンクションキーおよびタッチホイールの設定が変更されます。

利き手の設定を変更するには：

1. コントロールパネルを開き、「オプション」をクリックします。
2. 利き手の設定を変更します。
3. 「OK」をクリックします。ファンクションキーおよびタッチホイールのモード設定は変更になりません。

補足：ワンタッチ表示ボタンは、利き手設定を変更しても変わりません。

上の設定変更は、初期設定には影響しません。ログオン画面およびユーザ切り替え画面の時は、タブレットドライバインストール中に選択した初期設定の向きが使われます。初期設定を変更するには、タブレットドライバを再度インストールしてください。



電子ペンを使う

コードレスおよび電池レスの電子ペンは、ペン先にかかる筆圧と傾きを感知します。

[電子ペンの持ち方](#)

[ポインタの移動](#)

[クリック](#)

[ドラッグ](#)

[サイドスイッチを使う](#)

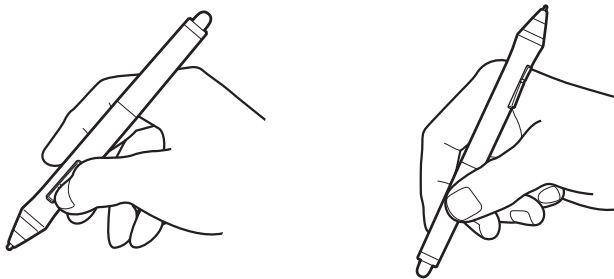
[筆圧を使って描画する](#)

[傾きを使って描画する](#)

[消しゴムを使う](#)

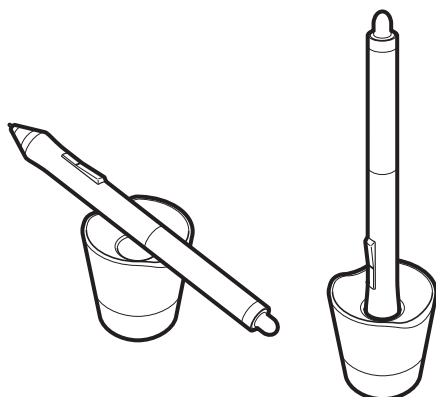
電子ペンの持ち方

鉛筆やボールペンと同じようにお持ちください。サイドスイッチが、親指、または人差し指で押せるような位置にあることを確認してください。電子ペンで線を引いたり位置を決めたりするときに誤ってサイドスイッチを押さないようにしてください。本機を使用するときは、軽く手を画面上に載せます。最も描きやすい角度に電子ペンを傾けてご使用ください。

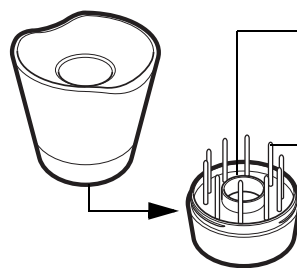


複数の電子ペンを使用していて、それぞれの電子ペンの識別をしたい場合には、ペンの先端を緩めて外し、別の色のカラーペンリング（付属品）に交換します。電子ペンの設定はいつでも[カスタマイズ](#)可能です。

ペンスタンドは手の届きやすいところに置きます。電子ペンを使用しないときはペンスタンドに収納するか、水平な机の上に横にして置いてください。ペンスタンドには、電子ペンを垂直または水平に置くことができます。ペン先の感度を維持するため、ペン先やテールスイッチが押された状態になる入れ物には保管しないでください。



ペンスタンドの底部分を回して外し、芯抜きと替え芯を取り出すことができます。



芯抜き

替え芯

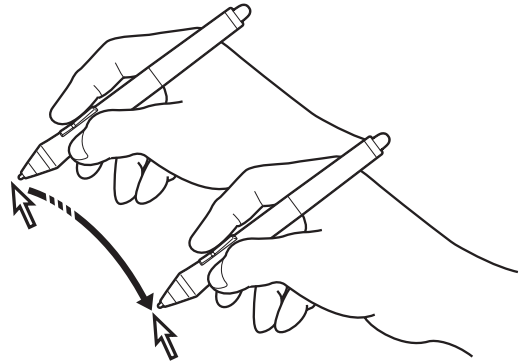
- 標準芯 6本
- ハードフェルト芯 3本
- ストローク芯 1本

重要：電子ペンの感度を維持するため、ペン先やテールスイッチが押された状態になる置き方は避けてください。誤った方法で保管すると、電子ペンが故障する場合があります。

ポインタの移動

画面に電子ペンを近づけるとポインタがペン先の下に移動します。画面に触れずに電子ペンを画面の少し上で動かしますとペン先に合わせてポインタが移動します。続いてペン先で画面にタッチして選択します。

補足：[ペン先の位置調整](#)をすると、ポインタの位置を正確にペン先と合わせることができます。ペン先を画面に置いていてもポインタがペン先の近くに移動しない場合は、タブレットドライバがインストールされていないか、起動していない可能性があります。必要に応じて、タブレットドライバをインストールしてください。または、[トラブルシューティング](#)を参照してください。



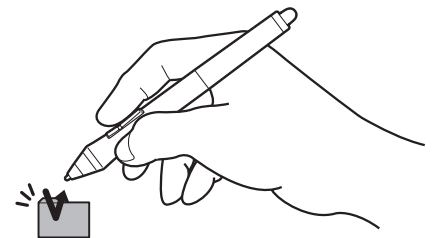
クリック

画面をペン先で 1 回軽くたたか、クリックと認識されるぐらいの筆圧でペン先を画面に押し当てます。

ヒント：電子ペンをアイコンに近付けると選択され、ワンクリックでアイコンが起動するように Windows を設定することができます。この機能を使うときは、まずフォルダを開き、続いて以下の設定を行ってください。

Windows 7 の場合：「整理」プルダウンメニューから、「フォルダと検索のオプション」を選択します。「一般」タブで「ポイントして選択し、シングルクリックで開く」を選択します。

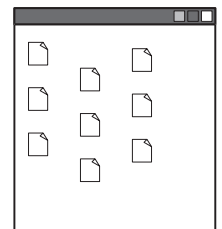
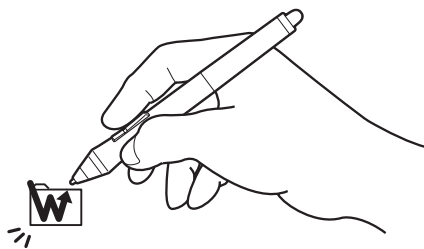
Windows Vista と XP の場合：「ツール」プルダウンメニューから、「フォルダオプション」を選択します。「全般」タブで「ポイントして選択し、シングルクリックで開く」を選択します。



ダブルクリック

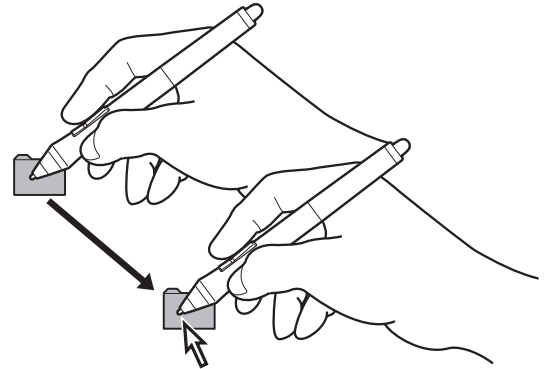
上側のサイドスイッチを押すか（「ダブルクリック」に設定されている場合）、または同じ場所でディスプレイ画面をペン先で素早く 2 回、軽くたたきます。

画面に垂直に近い角度で電子ペンを使用すると、ダブルクリックはしやすくなります。



ドラッグ

オブジェクトを選択し、次にペン先を画面上でスライドさせてオブジェクトを移動します。



サイドスイッチを使う

電子ペンにはサイドスイッチが付いています。サイドスイッチは上下2つあり、押すことによりあらかじめ設定されている機能が働きます。ペン先が画面の近く（5 mm 以内）にあるときは、いつでもサイドスイッチを使用することができます。ペン先で画面に触れる必要はありません。標準設定では、上側のスイッチは「ダブルクリック」、下側のスイッチは「右ボタンクリック」に設定されています。スイッチの機能はコントロールパネルで変更または無効に[カスタマイズ](#)することができます。

筆圧を使って描画する

電子ペンは手の動きに反応し、自然な感じのペンやブラシのストロークを描きます。筆圧対応のソフトウェアは、ペンに加えられた筆圧に反応します。

筆圧を使用して、線を引いたり、色を塗ったり、文字を書いたりするには、ペン先に加える力を変えながら、ペン先で液晶画面をなぞるようにしてペンを移動させます。線を太く、または色を濃くするには、強く押します。線を細く、または色を薄くするには、軽く押します。なお、ソフトウェアによっては最初にツールパレットから筆圧ツールを選択する必要があります。

ペン先の書き味を調整するには[ペン先の感触とダブルクリックの調整](#)をご覧ください。

筆圧に対応するグラフィックソフトについては、ワコムのホームページ、および[製品情報](#)をご覧ください。

傾きを使って描画する

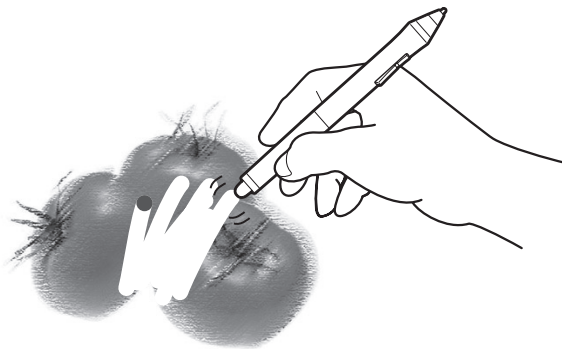
電子ペンを垂直位置から傾けると、本機がこれを認識します。ソフトウェアが対応している場合、電子ペンの傾きで線の形と太さのコントロールすることができます。

傾きに対応しているソフトウェアについては、ワコムのホームページおよび[製品情報](#)をご覧ください。

消しゴムを使う

消しゴム機能に対応するソフトウェアでは、電子ペンのテールスイッチは鉛筆の消しゴムのように機能します。文章作成ソフトウェアでは、テールスイッチで文字を選択して画面からペンを持ち上げると、その文字が消去されます。

消しゴム機能に対応するグラフィックソフトについては、ワコムのホームページ、および本書の[製品情報](#)を参照してください。ソフトウェアが消しゴム機能に対応していない場合でも、ポインタの移動や、線引き、アノテーション（書き込み）には、消しゴムを使うことができます。



液晶ペンタブレットの操作機能

ソフトウェアでの操作性を向上させるために、本機にはファンクションキーおよびタッチホイールが付いています。利き手で電子ペンを使用しながら、もう一方の手でファンクションキーまたはタッチホイールを操作できます。

ワンタッチ表示ボタン

専用のボタンを押して機能を開始します。

[ワンタッチ表示ボタンを使う](#)をご覧ください。

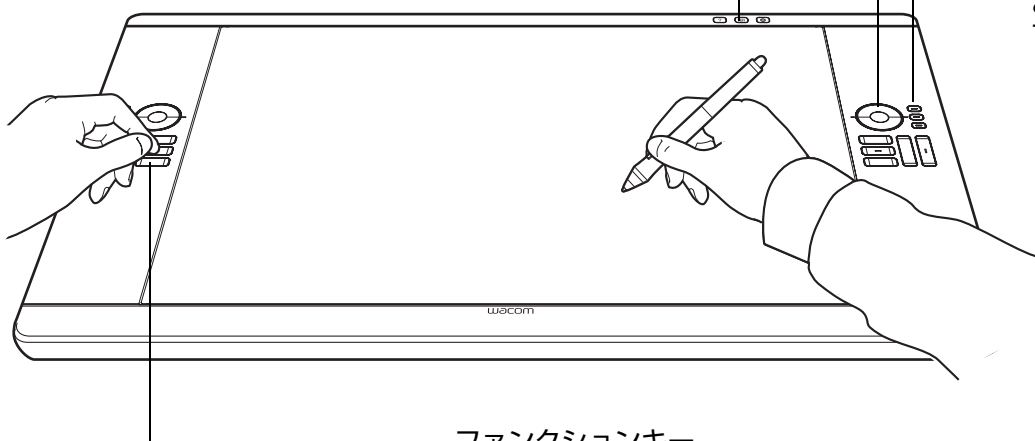
タッチホイール

タッチホイール上で指を滑らせてズーム、スクロール、あるいはキーストロークの機能を実行できます。[タッチホイールを使う](#)をご覧ください。

タッチホイール機能切り替えボタン

押すことにより、タッチホイールの機能を選択できます。

ステータスランプは選択されていることを示します。それぞれのボタンを押すと、ボタンの設定がディスプレイ上に表示されます。



ファンクションキー

ファンクションキーを押すことによって、よく使われる機能、キーストローク、ボタンのクリック、修飾キーなどを実行できます。ファンクションキーはカスタマイズが可能です。[ファンクションキーを使う](#)をご覧ください。

[マッピング画面切り替え](#)機能はマルチディスプレイで構成されている場合に利用できます。この機能を使うと、本機と他のディスプレイとの間でポイントが対応する画面を切り替えることができます。例えば、液晶ペンタブレットとしての使い方（ポイントの位置はペン先）、あるいは標準のワコムタブレットとしての使い方（ポイントはデスクトップ全体または他のディスプレイ上を移動できる）に切り替えることができます。

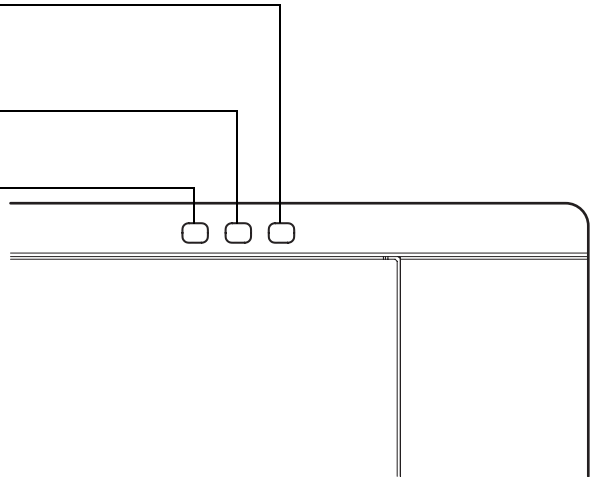
ワンタッチ表示ボタンを使う

素早くコントロールパネルやオンスクリーンキーボードを起動したいとき、あるいは本機の現在の設定を表示したいときにタッチします。

このボタンを押すと、コントロールパネルが開きます。閉じるときは再度タッチします。

このボタンをタッチすると、オンスクリーンキーボードが起動します。閉じるときは再度タッチします。

このボタンをタッチすると、(ディスプレイに) 液晶ペンタブレットのファンクションキー、タッチホイール、および電子ペンの設定内容が表示されます。それぞれの設定項目について現在の機能が表示されます。表示を消すときは再度タッチします。



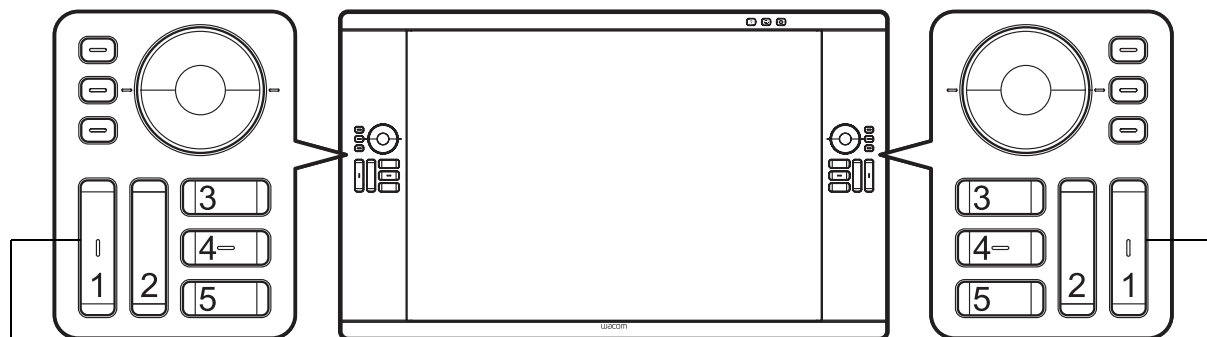
補足：ワンタッチ表示ボタンはカスタマイズできません。

お使いのコンピュータによっては、動作が遅い場合があります。

ファンクションキーを使う

よく使われる機能やキーストロークは、機能を割り当てられたキーを押すことにより実行できます。作業時に、ファンクションキーを使って、電子ペンまたはその他の入力デバイスのプロパティを変更することもできます。

ファンクションキーの標準設定は以下のとおりです。



1. [Shift] キー
2. [Alt/Opt] キー
3. ラジアルメニュー
4. [Ctrl/Cmd] キー
5. スクロール / 移動 (スペース)

1. 元に戻す ([Ctrl/Command]+[Z])
2. やり直し ([Ctrl/Command]+[Y])
3. ブラシパネル ([F5])
4. プレジジョンモード
5. マッピング画面切り替え

ここでは右利きの設定を例にしています。左利きの場合では、「ファンクションキー」の設定が左右逆になります。

補足：2つのファンクションキーを組み合わせる操作をすることができます。たとえば、1つのボタンに [Ctrl] キーを、別のボタンに [Alt] キーを割り当てた場合、両方のボタンを同時に押すと、[Ctrl] + [Alt] が実行されます。

ヒント：[ラジアルメニュー](#)で本機の機能を拡張することができます。

次のようなファンクションキーの使い方もお試しください：

- よく使うキーボードのショートカットをキーに設定します。
- よく使うファイルあるいはソフトウェアを起動するようにキーを設定します。
- 電子ペンのサイドスイッチを使用したくない（または使用できない）場合は、ファンクションキーの1つを右クリックまたはダブルクリックに設定します。
- その他の割り当てられる機能から選択し、キーを設定します。詳しくは[ファンクションキーをカスタマイズする](#)を参照してください。

重要：ソフトウェアによっては、ファンクションキーの設定を無効にして、ソフトウェアがキーの機能を制御する場合があります。詳しくは、[タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う](#)を参照してください。

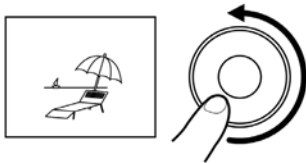
タッチホイールを使う

ホイール上で指を回転するように滑らせることで、表示中の文書や画像をスクロールしたり、拡大縮小したりすることができます。割り当てられたキーストローク機能を実行することもできます。タッチホイールの標準設定は多くのグラフィックソフトウェアではズーム機能、他のソフトウェアではスクロール機能に設定されます。また、キーストローク機能を設定することもできます。たとえば、Adobe Photoshop でタッチホイールの機能の 1 つを「レイヤーの切り替え」に設定することができます。



拡大の例

指でホイールを時計回りになぞると、多くのソフトウェアでは拡大、または下方向へスクロールが行えます。またホイールの上側をタップすると、1段階ずつ拡大、または下方向へスクロールされます。



縮小の例

指でホイールを反時計回りになぞると、多くのソフトウェアでは縮小、または上方向へスクロールが行えます。またホイールの下側をタップすると、1段階ずつ縮小、または上方向へスクロールされます。

タッチホイール機能切り替えボタンを押すと、タッチホイールの3つの機能が切り替わります。

ステータスランプは選択されていることを示します。

それぞれのボタンを押すと、ボタンの設定がディスプレイ上に表示されます。

標準設定：ここでは右利きの設定を例にしています。

ホイールの上側または下側をタップすると、1段階ずつ拡大／縮小、または下方向／上方向へスクロールされます。

上ボタン：「オートスクロール／ズーム」。多くのグラフィックソフトウェアでズーム機能に、他のソフトウェアではスクロール機能に設定されます。

ページ単位のスクロールには、対応していません。

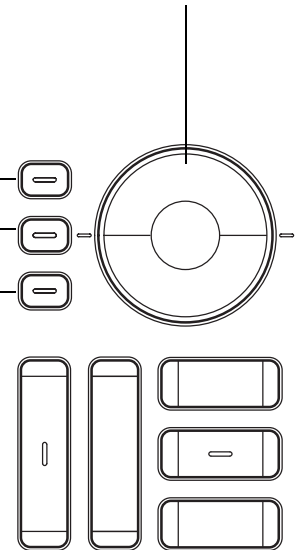
ソフトウェアのなかには、ズーム機能がスクロール機能とみなされスクロール機能が働いたり、あるいは全く働かない場合があります。同様に、スクロール機能がズーム機能とみなされたり、全く働かない場合もあります。

中ボタン：「ブラシサイズ」。Adobe Photoshop で、ブラシのサイズを大きくしたり小さくしたりできます。

下ボタン：「キャンバスの回転」。Adobe Photoshop で、画像全体を回転させたり反転させることができます (Adobe Photoshop CS4 またはそれ以降対応)。

左利きの場合では、「タッチホイール」の設定が左右逆になります。

タッチホイールの設定を変更するには、[タッチホイールをカスタマイズする](#)をご覧ください。



重要：ソフトウェアによっては、タッチホイールの設定を無効にして、ソフトウェアがタッチホイールの機能を制御する場合があります。詳しくは、[タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う](#)を参照してください。



マルチディスプレイ環境で使う

本機および他のディスプレイを同一のコンピュータに接続して、マルチディスプレイ環境で使用することができます。

マルチディスプレイ環境で使用する場合には、他のディスプレイを操作するオプションがいくつかあります。

- ファンクションキーまたは電子ペンのサイドスイッチを「マッピング画面切り替え」機能に設定します。続いて設定したファンクションキーまたはサイドスイッチを押すと、本機と他のディスプレイとの間でポインタが対応する画面を切り替えることができます。

例：[マッピング画面切り替え](#)によって、液晶ペンタブレットとしての使い方（ポインタの位置はペン先）、あるいは標準のワコムタブレットとしての使い方（ポインタはデスクトップ全体または他のディスプレイ上を移動できる）に切り替えることができます。

- ファンクションキーまたは電子ペンのサイドスイッチの1つを「ペン⇄マウスモード」に設定します。これによって本機の上で作業するペンモードと他のディスプレイ上で作業するマウスモードをすばやく切り替えることができます。

Intuos4をお持ちの場合は、他のディスプレイと接続しペンモードで使うことができます。電子ペンは本機とIntuos4で共通です。

補足：マルチディスプレイ環境の接続方法については、ご使用のコンピュータの取扱説明書をご覧ください。



画面を調整する

様々な表示設定を、本機の操作で最適化できます。

[画面の調整](#)

[省電力機能](#)

画面を調整する

標準設定（お買い上げ時の設定）：画面を最適品質にする場合には、コンピュータを本機で利用可能な最大解像度 1920x1200 に設定します。詳しくは「製品に関する重要なお知らせ」をご覧ください。

オートアジャスト機能：本機は、自動的に入力信号に同期します。オートアジャスト機能によって、水平および垂直位置、ピッチおよびフェーズが設定されます。オートアジャスト機能は、サポートする水平および垂直周波数レンジ間で機能します。詳しくは「製品に関する重要なお知らせ」をご覧ください。

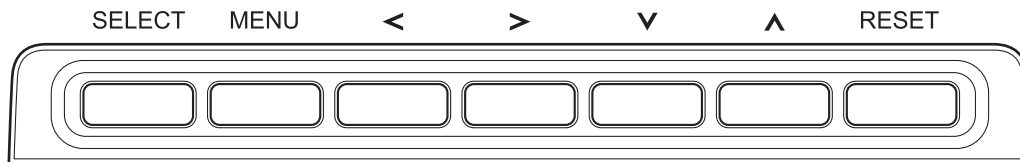
アナログ RGB 接続をしていて、本機が自動的に入力信号と同期しない場合は、OSD メニューのオートアジャスト機能を使用して調整することができます。さらに OSD メニューを使用して、手動で画面表示を調整できます。（デジタル接続の場合は調整できません。）

色補正：カラー、色温度、コントラスト、明るさ、またはバックライト輝度を標準設定値から変更すると、本機で使われているカラープロファイルは無効になります。

画面の調整

様々な表示設定を、ボタン操作で最適化できます。
本体の上端にある画面調整ボタンを使用して調整を行います。

- OSD メニューを開くときは「MENU」ボタンを押します。
- メニュー内の項目を移動したいときは、「<> (left/right)」ボタンまたは「▼▲ (up/down)」ボタンを押します。
- 選択した項目を確定するときは「SELECT」ボタンを押します。



ボタン	機能
SELECT	選択した OSD メニューの項目を確定します。
MENU	OSD メニューを開いたり閉じたりします。
<> (left/right)	OSD メニュー内で左右の項目に移動します。
▼▲ (up/down)	OSD メニュー内で上下の項目に移動します。選択された項目の値を増減します。
RESET	OSD をお買い上げ時の標準設定に戻します。

補足：しばらくすると OSD メニューは自動的に閉じます。「MENU」ボタンを押しても閉じることができます。
OSD メニューが閉じると設定はすべて自動的に保存されます。

画面表示を変更した結果、元の設定に戻れなくなった場合は、「RESET」ボタンを押し、「YES」を選択すると本機をお買い上げ時の初期設定に戻すことができます。





OSD メニューは次の項目を調整および設定することができます。

「OSD メニュー言語設定 (LANGUAGE)」 オプションを使用して、OSD メニューの表示言語を選択できます。

補足：お買い上げ時は「ENGLISH」(英語表示) に設定されています。

「OSD メニュー表示設定 (OSD POSITION)」 オプションは以下の通りです。

- ・ 「垂直位置」 OSD メニュー画面の垂直位置を微調整できます。
- ・ 「水平位置」 OSD メニュー画面の水平位置を微調整できます。
- ・ 「透明度」 OSD メニュー画面の透明度を微調整します。

「表示設定 (DISPLAY)」 オプションは次の通りです。

- ・ 「コントラスト」 画面のコントラストを調節します。
- ・ 「明るさ」 画面の明るさを調節します。
- ・ 「バックライト輝度」 バックライトの明るさを調節します。

「カラー設定 (COLOR)」 オプションは以下の通りです。

- ・ 「5000K、6500K、9300K」 画面の色温度を設定できます。
- ・ 「ダイレクト」 無調整で、コンピュータからの映像信号を直接表示します。このオプションを選択すると、コントラストおよび明るさは調整できません。
- ・ 「ユーザー設定」 「R (赤)」、 「G (緑)」、 および 「B (青)」 の表示色を個別に調整できます。
色設定を手動で変更すると、ICC カラープロファイルの設定が無効になります。

「表示サイズ設定 (SCALING)」 オプションは以下の通りです。

- ・ 「全画面」 画面全体に表示します。
- ・ 「縦横比」 正確な縦横比を維持しながら最大限度の画面表示を行います。
- ・ 「1:1」 実際の解像度で表示します。

「画像設定 (OTHER)」 オプションは以下の通りです。

- ・ 「フェーズ」 (アナログ RGB のみ) 画像が揺れたりちらついたり横縞などが発生した場合に使用します。ピッチを先に調整してください。
- ・ 「ピッチ」 (アナログ RGB のみ) 画像が揺れたりちらついたり縦縞などが発生した場合に使用します。
- ・ 「垂直位置」 (アナログ RGB のみ) 画像の垂直位置を変更します。
自動調整する場合は、オートアジャスト機能を使用します。
- ・ 「水平位置」 (アナログ RGB のみ) 画像の水平位置を変更します。
自動調整する場合は、オートアジャスト機能を使用します。
- ・ 「オートアジャスト」 (アナログ RGB のみ) フェーズ、ピッチ、水平・垂直位置の全ての自動調整が可能です。

「リセット (RESET)」 を使用すると、すべての設定が工場出荷時の標準設定に戻ります。

「EXIT」 を使用すると、設定を終了し、OSD メニューを閉じます。





省電力機能

本機は、VESA のパワーセービングガイドラインに準拠しています。

DPMS (Display Power Management Signaling) に対応したコンピュータまたはビデオカードに接続すると、操作していないときには自動的に以下のような省電力状態になります。

コンピュータの 動作状態	水平同期 信号	垂直同期 信号	画像信号	消費電力	パワーランプ
電源オン	あり	あり	あり	71W 以下	青色
スタンバイモード	なし	あり	なし	2W 以下 (USB 未接続時)	オレンジ色
サスペンドモード	あり	なし	なし	2W 以下 (USB 未接続時)	オレンジ色
オフモード	なし	なし	なし	1W 以下 (USB 未接続時)	消灯



本機をカスタマイズする

本機の基本的な使い方を習得した後に、本機や電子ペンの機能をカスタマイズします。この章では、コントロールパネルを使い本機や入力デバイスをカスタマイズする方法について説明します。

操作に慣れたユーザは、[特定のソフトウェアに対する設定](#)を作成することにより、本機を最適な状態でお使いいただくことができます。

[コントロールパネルを開く](#)

[コントロールパネルの概要](#)

[ペン先の位置調整](#)

[ペンをカスタマイズする](#)

[ファンクションキーとタッチホイールをカスタマイズする](#)

[ボタン機能](#)

[ラジアルメニューの使い方と設定](#)

[マッピング画面切り替えを使う](#)

[特定のソフトウェアに対する設定](#)

[複数デバイスでの作業](#)

[タブレットの登録名を変更する](#)

コントロールパネルを開く

[ワンタッチ表示ボタン](#)を押して、本機のコントロールパネルを起動します。

また本機の画面上で電子ペンを使って開くこともできます。

- **Windows の場合**：Windows の「スタート」ボタンをクリックして「すべてのプログラム」を選択します。次に、「ワコムタブレット」を選択し、「ワコムタブレットのプロパティ」オプションを選択します。
- **Mac の場合**：アップルメニューの「Dock」または「アプリケーション」フォルダから「システム環境設定」を開きます。次に、「ワコムタブレット」アイコンをクリックします。

コントロールパネルを開き、本機のカスタマイズを始めます。[コントロールパネルの概要](#)を参照してください。

補足：ユーザ固有の環境設定を保存することができます。ログイン後に各ユーザは、コントロールパネルで個人設定をカスタマイズできます。ユーザを切り替えると、自動的に新しいユーザの設定に切り替わります。

コントロールパネルの概要

コントロールパネルを使って本機や入力デバイスをカスタマイズできます。コントロールパネルを開くと、電子ペンやその他の入力デバイスのアイコンが「入力デバイス」に表示され、その内容に応じてタブが表示されます。

カスタマイズする場合は、タブの設定を変更します。いろいろな設定を試して、最適な設定を見つけてください。設定の変更は直ちに有効となります。「標準設定」をクリックすると、いつでもお買い上げ時の標準設定に戻ります。

補足：[特定のソフトウェアに対する設定](#)は、操作に慣れたユーザ向けです。

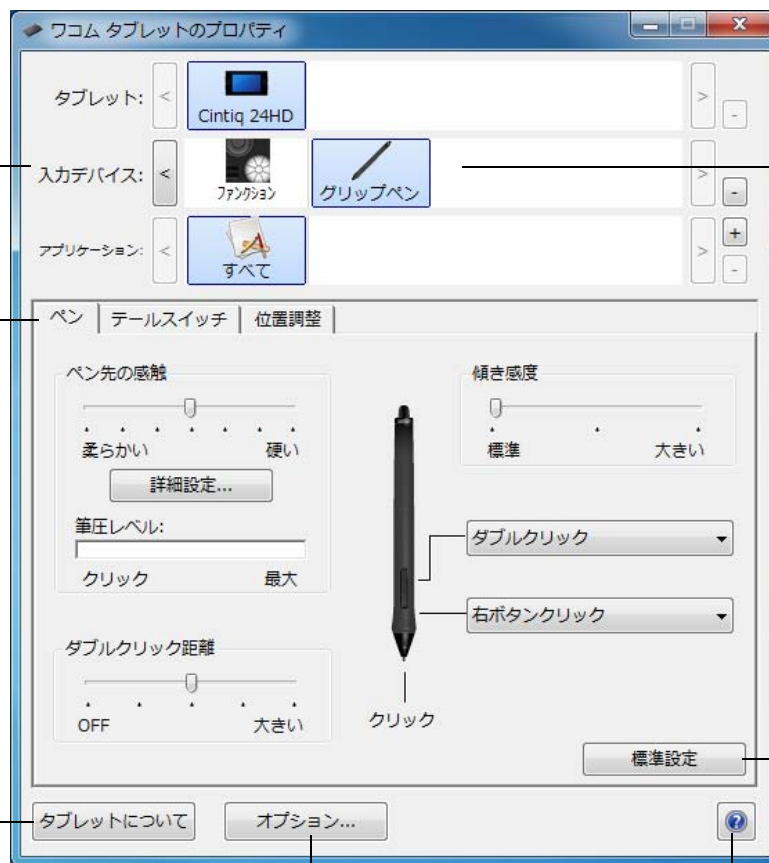
ご使用のタブレット、入力デバイスおよびソフトウェアの設定を表すアイコンを表示します。

「ファンクション」を選択して、「ファンクションキー」、「タッチホイール」の各設定をカスタマイズします。電子ペンの設定をするときは「グリップペン」などの入力デバイスを選びます。本機の画面上で電子ペンを使用すると、このアイコンは自動的に「入力デバイス」リストに追加され、標準設定で機能します。

各タブには、選択した「入力デバイス」に対応するカスタマイズ可能な設定が表示されます。

タブレットとタブレットドライバに関する情報を記載したダイアログを表示します。必要に応じて「診断」ダイアログボックスを開くこともできます。

「[オプション設定](#)」ダイアログを表示します。



各タブの設定を標準設定の状態に戻します。

ユーザズガイド（本書）を表示、またはダウンロードできます。

ヒントはほとんどのコントロールパネルの項目の上に表示されます。項目の上にポインタを置いて静止させると、すぐにヒントがポップアップします。

キーボードのタブと矢印キーを使って、コントロールパネルを操作することもできます。



コントロールパネルリストとタブ：コントロールパネルの「タブレット」、「入力デバイス」および「アプリケーション」リストから、設定変更するタブレット、入力デバイス、およびソフトウェアを選択できます。

「タブレット」リストには、コンピュータに接続しているタブレットのアイコンが表示されます。リストの下のタブに表示される設定はすべて、選択したタブレットに適用されます。

- タブレットがコンピュータに接続されていないときは表示されません。
- 接続しているタブレットの設定を閲覧または変更することができます。
- コンピュータに接続されていないタブレットの設定は、コントロールパネルリストから削除できません。

[複数タブレットの設置とタブレットの登録名を変更する](#)もご覧ください。

「入力デバイス」リストには、「ファンクション」と本機で使用された入力デバイスのアイコンが表示されます。[ファンクションキーとタッチホイールをカスタマイズするとペンをカスタマイズする](#)をご覧ください。

補足：新しいデバイスが、初めて本機で使用されると、自動的に「入力デバイス」リストに標準設定の状態を追加されます。

[複数デバイスでの作業](#)もご覧ください。

「アプリケーション」リストを使って、特定のソフトウェアごとに適用する「入力デバイス」設定を定義できます。[特定のソフトウェアに対する設定](#)をご覧ください。

補足：「アプリケーション」リストは操作に慣れたユーザ用です。お使いの入力デバイスをカスタマイズするために、ソフトウェアを選択または追加する必要はありません。



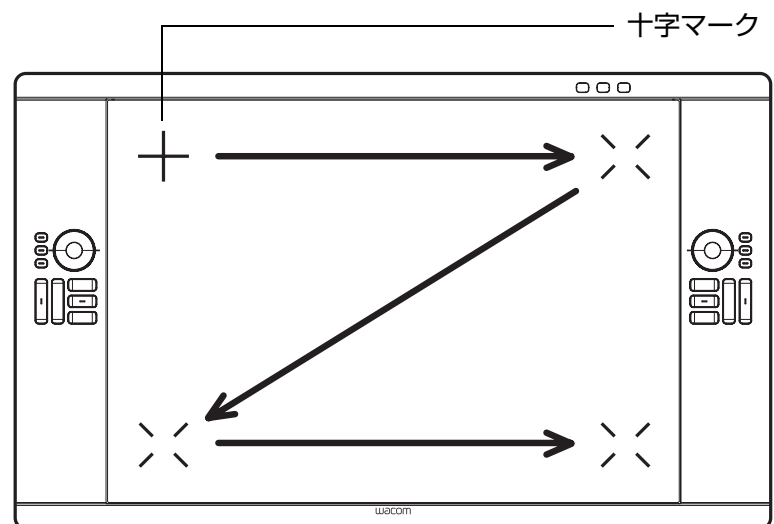
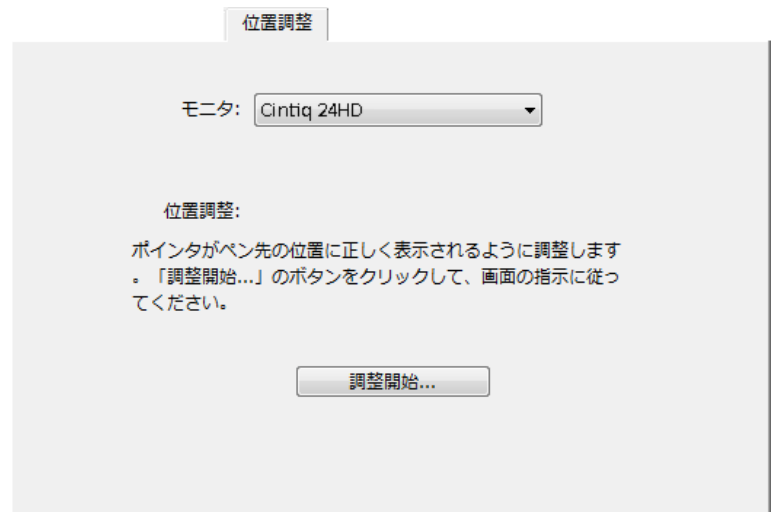
現在の選択がハイライトされます。

ペン先の位置調整

本機を最適な状態でお使いいただくために、ペン先の位置調整を行い、ポインタとペン先の位置を合わせる必要があります。これは、保護ガラスによる**視差**の調整のために必要です。本機を通常使用するときの姿勢と目の位置（高さ）で、次の手順を行ってください。

重要：アナログ RGB で接続している場合は、位置調整をする前に「オートアジャスト」を行ってください。[画面の調整](#)をご覧ください。

1. コントロールパネルを開きます。
コンピュータに複数のタブレットを接続している場合は、本機を「タブレット」リストから選択します。
2. 「入力デバイス」リストから「グリップペン」を選択します。
次に「位置調整」タブを選択します。
3. 複数のディスプレイを使用している場合は、「モニター」欄で本機を選んでください。コンピュータが認識しているディスプレイがリストに表示されます。
4. 「調整開始...」をクリックして位置調整画面を開きます。
5. 電子ペンを持ち、通常本機を使うときの姿勢と目の位置（高さ）を保ちます。続いて左上角の十字マークの中心をペン先でクリックします。
6. 続いて右上角→左下角→右下角の順に十字マークの中心をクリックします。
7. 画面上のいくつかの異なる点にペン先を置いて、位置合わせのテストを行います。位置調整が正しければ「OK」をクリックします。再度位置調整をする場合は「再試行」をクリックします。



ヒント：ポインタを実際のペン先の位置から少しずらすには、十字マークからずれた位置を示す点をクリックして位置調整します。たとえば、ポインタの位置をペン先の左上方 2.5 mm に表示させるには、十字マークの右下方 2.5 mm の点をクリックして位置調整します。

ペンをカスタマイズする

最初に電子ペンでコントロールパネルを開くと、「入力デバイス」リストから自動的に「グリップペン」が選ばれ、その内容に応じてタブが表示されます。自動で選ばれない場合は、手動で「グリップペン」を選んでください。タブを選択し、使用可能なオプションを設定します。



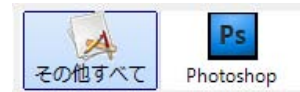
[消しゴムの感触の調整](#)

[傾き感度のカスタマイズ](#)

[サイドスイッチのカスタマイズ](#)

[ペン先の感触とダブルクリックの調整](#)

[ペン先と消しゴムの筆圧の詳細設定](#)



[特定のソフトウェアに対する設定](#)

本機では、オプション品のアートペンやエアブラシをお使いになることができます。

- アートペンは筆圧に対応したペン先とテールスイッチ（消しゴム）を搭載し、さらに傾き、回転にも対応しています。回転の検出をサポートするソフトウェアで使用すると、ペン軸を回転させるだけで、線の幅を狭くしたり太くしたりできます。
- エアブラシは本物志向のデジタルエアブラシです。筆圧機能、消しゴム機能、傾き検出、およびホイール機能を搭載し、アナログのエアブラシの感覚をそのままに作業できます。

本機のタブレットドライバは、これらの入力デバイスをサポートしています。本機の画面上でこれらの入力デバイスを使用すると、自動的に「入力デバイス」リストに追加されます。コントロールパネルが自動で更新され、新しい入力デバイスとカスタマイズ可能なオプションが表示されます。

エアブラシのホイール、アートペンの回転をサポートしているソフトウェア内で、これらの機能を調節することができます。詳しくはソフトウェアに付属の取扱説明書を参照してください。

これらのオプションデバイスやその他オプション品を購入するには、ワコムストアのホームページをご覧ください。

<http://store.wacom.jp/>

ワコムのホームページで、エアブラシ、アートペンの機能をサポートしているソフトウェアを確認できます。

<http://wacom.jp/>

ペン先の感触とダブルクリックの調整

「ペン」タブを選択します。

クリックしたり線を描いたり色を塗る際に必要な筆圧を、カスタマイズします。

太い線で描きたい、または軽い力でクリックしたい場合は、より「柔らかい」に設定します。強い筆圧で細い線を描きたいときは、より「硬い」に設定します。

ペン先の感度をさらにカスタマイズしたいときクリックします。

ペン先で画面上の空き領域を押して「ペン先の感触」の設定をテストします。無理なく最大筆圧を得るために必要な筆圧をスライダで調整します。



ダブルクリックする領域の大きさを調整します。

[ダブルクリックアシスト](#)を作動しないようにするには、スライダを OFF の位置へドラッグします。

ヒント：「ペン先の感触」を「柔らかい」の方へ設定すると、筆圧の感度が高まります。筆圧対応のグラフィックソフトウェアでは、この設定をお勧めします。

ソフトウェアによっては、柔らかい筆圧の設定に過剰に反応する場合があります。電子ペンを少し押しただけでブラシサイズが画面上で拡大する場合は、「ペン先の感触」を「硬い」の方へ設定してみてください。

ダブルクリックを簡単にするには、ダブルクリックする範囲（ダブルクリック距離）を大きくします。

グラフィックソフトによっては、ダブルクリック距離を大きくすると筆のストロークに時間差が生じるため、ドラッグの動きやインクのストロークにも時間差が生じることがあります。このような場合はダブルクリック距離を小さく設定し、サイドスイッチまたは[ファンクションキーを使用してダブルクリック](#)をする設定もできます。

消しゴムの感触の調整

「テールスイッチ」タブを選択します。

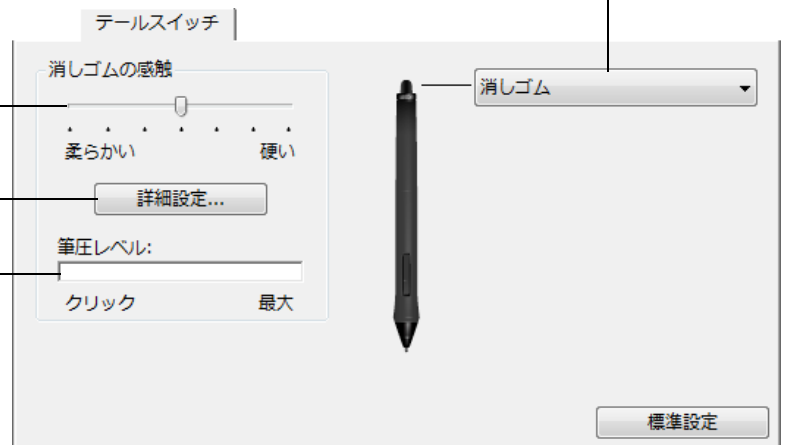
補足：製品によっては、消しゴム機能をサポートしていない場合があります。

消しゴムの筆圧をカスタマイズします。

消しゴムの感度をさらにカスタマイズしたいときクリックします。

テールスイッチで画面上の空き領域を押して「消しゴムの感触」の設定をテストします。無理なく最大筆圧を得るために必要な筆圧をスライダで調整します。

消しゴムを使用する場合に実行する機能を選択します。



ペン先と消しゴムの筆圧の詳細設定

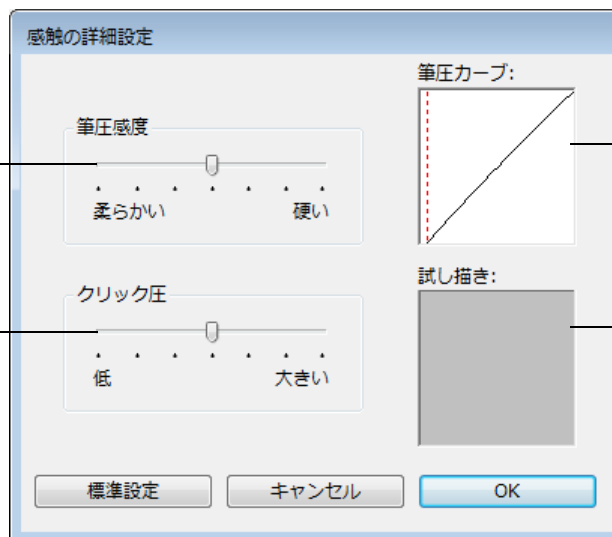
ペン先、あるいは消しゴムの筆圧を設定する場合、「ペン」、または「テールスイッチ」タブから「詳細設定」ボタンをクリックして、「感触の詳細設定」ダイアログボックスを表示します。このダイアログボックスのオプションで、ペン先または消しゴムの筆圧の感触とクリックのしきい値設定を変更できます。

スライダをドラッグして筆圧感度を選択します。

柔らかいタッチの場合、柔らかい設定を選択します。

スライダをドラッグしてクリックのしきい値を調整します。

この設定で、ペン先クリックに必要な荷重が設定されます。



選択した筆圧機能をグラフで表示し、しきい値設定をクリックします。

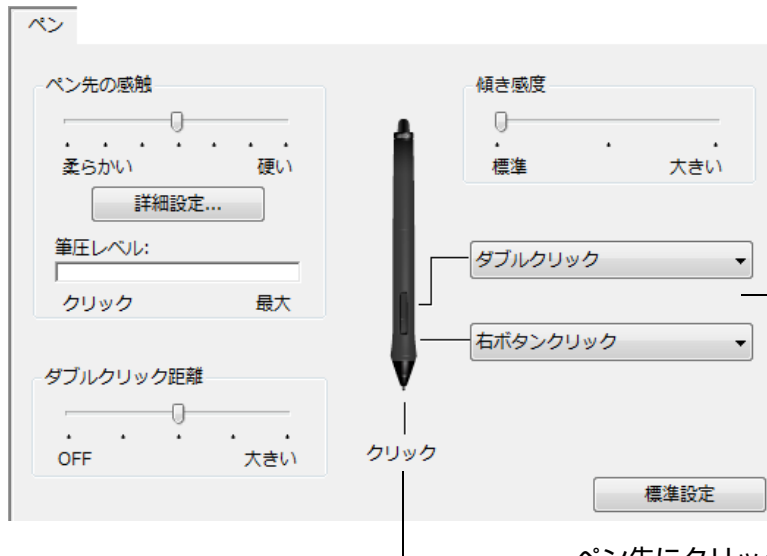
急激な増加を表す曲線は、電子ペンの感度が高いことを示します。

ペン先または消しゴムを使用し、ボックス内で数回試し書きをして、変更結果をテストしてください。

重要：「ペン先の感触」または「消しゴムの感触」スライダは「感触の詳細設定」より優先されます。「感触の詳細設定」をカスタマイズした後でこれらのスライダをドラッグすると、「感触の詳細設定」が削除されます。

サイドスイッチのカスタマイズ

「ペン」タブを選択します。



上側または下側のサイドスイッチを押した場合に働く機能を選択します。

画面に触れずにペン先を画面から 5 mm 以内に近づけて、上側または下側のサイドスイッチを押すと、設定した機能が実行されます。

ヒント：簡単にダブルクリックを行うには、サイドスイッチに「ダブルクリック」を設定します。

ペン先にクリック以外の機能を割り当てる場合には、文字の上をダブルクリックします。

- クリックが設定されていないと、電子ペンでウィンドウの操作ができなくなる場合があります。サイドスイッチのどちらかを、必ず「クリック」機能に設定してください。
- グラフィックソフトウェアで線を描くためには、ペン先が「クリック」に設定されている必要があります。

「サイドスイッチエキスパートモード」を変更して、右クリックなどのクリック機能を実行する場合の方法を変えることができます。コントロールパネルの「オプション」ボタンをクリックしてください。

以下を選択してください。

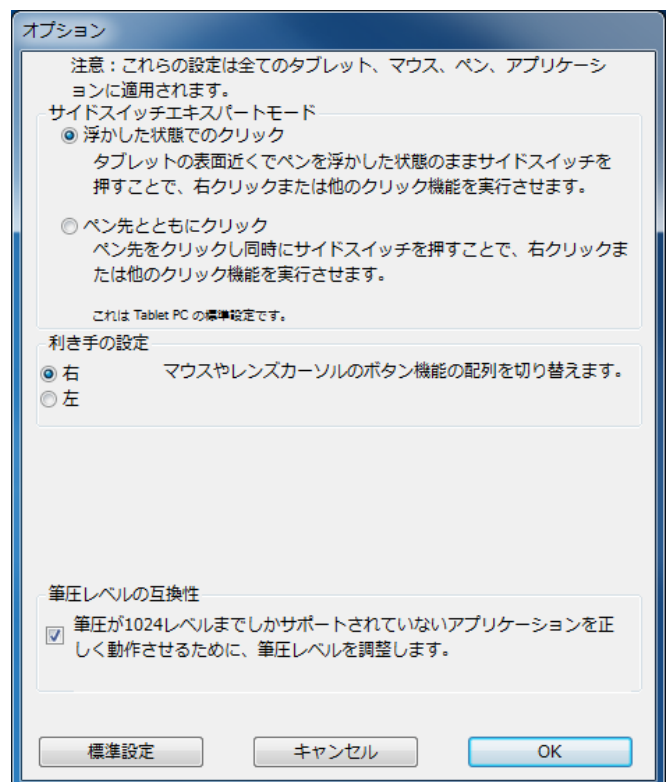
- 「浮かした状態でのクリック」を選択した場合、ペン先を液晶画面に接触させずにクリック機能を実行することができます。これは、タブレット PC を除くすべてのオプションの標準設定です。
- 「ペン先とともにクリック」を選択した場合、正確な位置でクリックすることができます。選択されている場合、この機能を実行するには、サイドスイッチを押しながらペン先を画面に接触させます。



浮かした状態でのクリック



ペン先とともにクリック



傾き感度のカスタマイズ

電子ペンの傾き感度を調整するには、「ペン」タブを選択します。傾きに対応するソフトウェアで、ペンをどれくらい傾げるかを決めて、ペンの傾き効果が最大限に発揮できるようにします。高い感度では、低い感度ほどペンを傾げる必要はありません。



スライダをドラッグして、「傾き感度」の高低を調整してください。次に、傾きをサポートするソフトウェアで新しい設定をテストします。

傾きの設定はペン先およびテールスイッチ（消しゴム）の両方に適用されます。

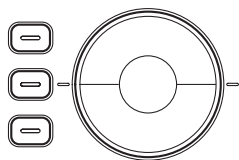
傾きはペンを動かす方向に反応します。ソフトウェアによっては、ブラシの方向やその他の特性をコントロールするために、傾きが使えます。

ワコムのホームページで、傾きをサポートしているソフトウェアを確認できます。

注意：動作を保証するペンの傾き角度は、垂直から 40 度までです。

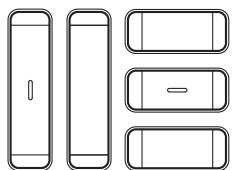
ファンクションキーとタッチホイールをカスタマイズする

ファンクションキーやタッチホイールをカスタマイズするには、コントロールパネルを開いて、「入力デバイス」リストから「ファンクション」アイコンを選択します。カスタマイズするタブを選択して、利用可能なオプションを使用して設定を変更します。



[タッチホイールをカスタマイズする](#)

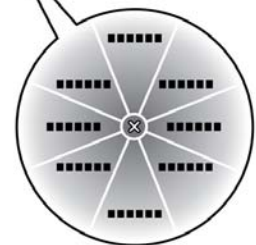
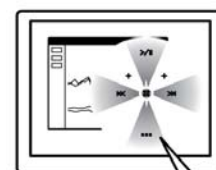
[ファンクションキーをカスタマイズする](#)



[マッピング画面切り替えを使う](#)



[特定のソフトウェアに対する設定](#)



[ラジアルメニューの使い方と設定](#)

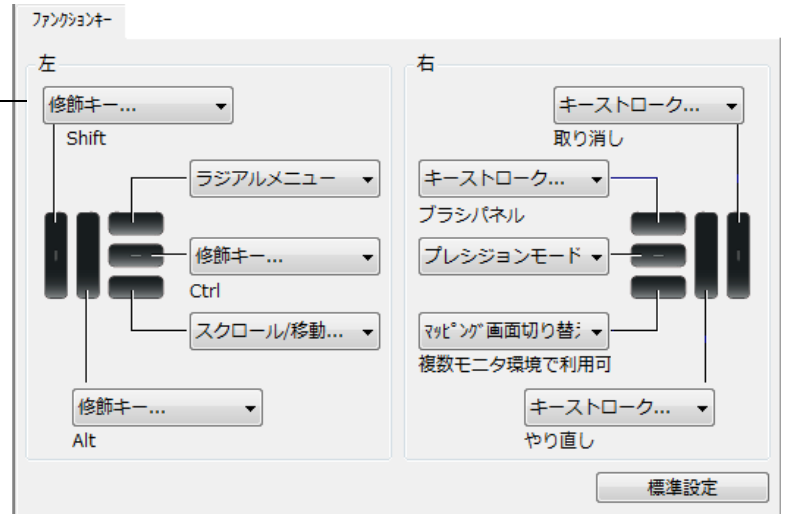
ファンクションキーをカスタマイズする

ファンクションキーをカスタマイズするときは、「ファンクションキー」タブを選びます。マッピング画面切り替え、修飾キー、キーストロック、その他の機能を各キーに割り当てることができます。

キーを押した場合に実行される機能をを選択します。

ファンクションキーは、特定のソフトウェアごとに設定することができます。

詳しくは[ファンクションキーを使う](#)をご覧ください。



重要: ソフトウェアによっては、ファンクションキーの設定を無効にして、ソフトウェアがキーの機能を制御する場合があります。詳しくは、[タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う](#)を参照してください。

タッチホイールをカスタマイズする

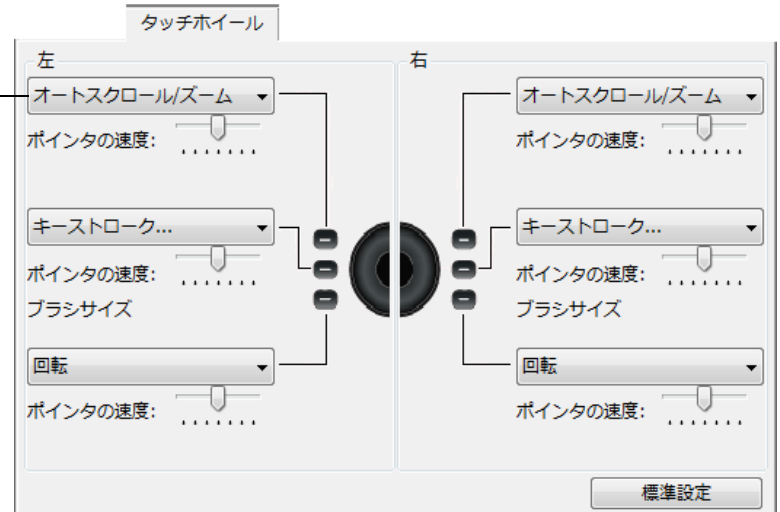
タッチホイールをカスタマイズするときは、「タッチホイール」タブを選びます。ズーム機能、スクロール機能あるいはキーストローク機能を実行するようにタッチホイールをカスタマイズすることができます。

タッチホイールを使って実行する機能を選びます。タッチホイールは異なる 3 種類のモードに合わせてカスタマイズできます。

ズーム速度やスクロール速度、キーストロークイベントをソフトウェアに送る速度を調整できます。

タッチホイール機能は、[ソフトウェアの設定](#)に合わせてソフトウェアごとに設定できます。

詳しくは[タッチホイールを使う](#)をご覧ください。



ヒント：タッチホイールに他の操作を設定するには、「キーストローク」オプションを選択し、[キーストローク機能](#)を定義します。ソフトウェアによるキーストロークショートカットのサポートについては、ソフトウェアに付属する取扱説明書をご覧ください。

「スキップ」を選択すると、機能の状態をスキップするようにタッチホイールの切り替えボタンを設定できます。

Adobe Photoshop CS3 以降での作業中、ポインタの位置周辺で画像を拡大するには、「Photoshop」メニュー→「環境設定」→「一般」を選択します。続いて「スクロールホイールでズーム」オプションをチェックして、「OK」をクリックします。

重要：ソフトウェアによっては、タッチホイールの設定を無効にして、ソフトウェアがタッチホイールの機能を制御する場合があります。詳しくは、[タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う](#)を参照してください。



ボタン機能

使い方に合わせて本機をカスタマイズしてください。サイドスイッチ、ファンクションキー、タッチホイール、ラジアルメニューの設定は、コントロールパネルから簡単に変更することができます。

機能名	内容
クリック	
• クリック	クリックを行います。ポインタの操作やクリックが行えるように、必ずボタンの1つに設定してください。
• 右ボタンクリック	右クリックを行います。クリックすると、コンテキストメニューが表示されます。
• 中ボタンクリック	中ボタンクリックを行います。
• ダブルクリック	ダブルクリックを行います。ペン先で2度たたく代わりにこの機能を使用すると、ダブルクリック操作が簡単になります。
• クリックロック	サイドスイッチを1回押すと、マウスの左ボタンを押してそのまま押し続けている状態になります。もう一度押すと、左ボタンから指を放す動作になります。クリックロックは、オブジェクトをドラッグする、またはテキストブロックを選択する場合に便利です。
• 第4ボタンクリック	マウスの第4ボタンを押すことに相当します。
• 第5ボタンクリック	マウスの第5ボタンを押すことに相当します。



機能名

内容

キーストローク

キーストロークをシミュレートできます。このオプションを選択すると、「キーストロークを登録」ダイアログボックスが表示されます。

1つのキーストロークか、またはキーストロークを組み合わせで「キー」ボックスに入力できます。キーストロークには、文字、数、F3のようなファンクションキー、修飾キー（Windowsでは[Shift]、[Alt]、[Ctrl]、Macでは[shift]、[option]、[command]、[control]キー）を組み合わせることができます。

「特殊キー」メニューから、特別なキーストローク、またはキーストロークの組み合わせを選択することもできます。

キーストロークを入力したら、「OK」をクリックします。

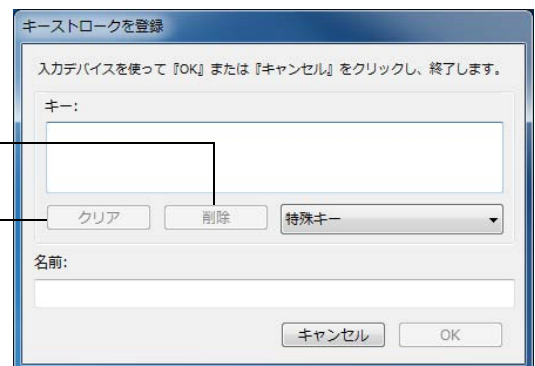
重要：[Enter] キー (Windows) と [Return] キー (Mac) は、キーストロークとして定義できるため、「キーストロークを登録」ダイアログボックスの「OK」を選択する場合に使用しないでください。必ず電子ペンを使用して「OK」ボタンをクリックしてください。

ダイアログが表示されたら、キーストローク定義に名前を入力します。名前は、それぞれコントロールまたはラジアルメニューに表示されます。

キーストローク機能は、ソフトウェアごとに設定できます。詳細については[特定のソフトウェアに対する設定](#)をご覧ください。

キーストローク入力ボックスに入力した最後の内容を削除します。

キーストローク入力ボックスをクリアにします。



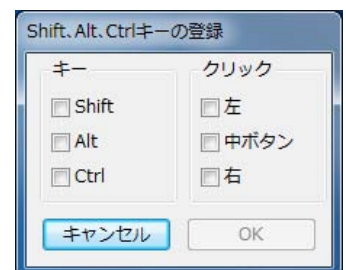
修飾キー

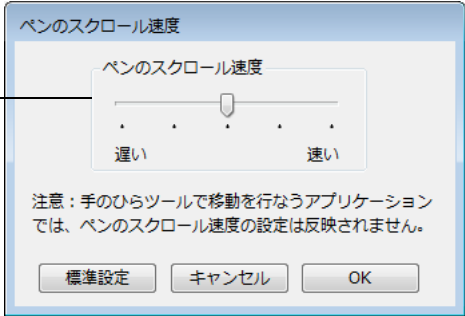
ソフトウェアでサポートされているキーストロークショートカットについては、ソフトウェアに付属の取扱説明書をご覧ください。

修飾キー（Windowsでは[Shift]、[Alt]、[Ctrl]キー、Macでは[shift]、[option]、[command]、[control]キー）をシミュレートできます。多くのソフトウェアでは、修飾キーを使用してメニューやツールを切り替えます。

1つ以上のキーオプションを選択します。

「クリック」オプションの1つをチェックすると、スイッチを押すと必ずマウスのクリックが実行されるようになります。



機能名	内容
ラジアルメニュー	画面上に ラジアルメニュー を表示します。ラジアルメニューの各階層メニューは、8つの項目から構成され、オプション機能を設定できます。
戻る	ブラウザで「戻る」機能を実行します。
進む	ブラウザで「進む」機能を実行します。
スクロール / 移動 (ペンのみ)	<p>「スクロール / 移動」に設定されたサイドスイッチを押して、本機の画面上でペン先を滑らせるように動かすと、文書または画像をウィンドウ内で自由に移動させることができます。</p> <p>「スクロール / 移動」を選択すると、ダイアログボックスが表示されます。</p> <p>補足：手のひらツール（ピクセルレベル）で移動を行うソフトウェアでは、スクロール速度の設定が反映されません。</p> <p>「スクロール / 移動」を選択すると、「ペンのスクロール速度」ダイアログボックスが画面に表示されます。</p>  <ul style="list-style-type: none"> 設定値を小さくすると、スクロールの速度が遅くなります。画像を正確にコントロールしなければならないような細かい作業に有効です。 電子ペンが動く方向に従って文書や画像がスクロール、または移動します。 目的位置までスクロールまたは移動させたら、サイドスイッチを指から離すか、ペン先をタブレットから離してください。 あるソフトウェアでは、文書はペン先の動きにつれて正確にポインタに追従しますが、別のソフトウェアでは文書はポインタと同じ方向に移動するのみです。
デスクトップを表示 タスク切り替え	<p>開いているウィンドウをすべて最小化して、デスクトップを表示します。</p> <p>起動中のソフトウェアの中で、前面に表示させたいソフトウェアをウィンドウ切り替えダイアログから選択できます。Aero を搭載した Windows 7 または Windows Vista では、3D フリップが起動して、前面に表示させたいソフトウェアを選択できます。</p>



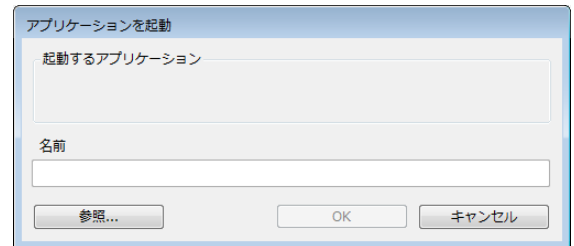
機能名

内容

開く / 起動 ...

ダイアログボックスを開いて、起動する特定のソフトウェア、ファイル、またはスクリプトを選択できます。

「参照」ボタンをクリックして、起動するソフトウェアを選択します。「名前」ボックスに、選択したソフトウェアが表示されます。「OK」をクリックします。



ダイアログボックスが閉じ、選択した「開く / 起動 ...」オプションがボタンオプションとして割り当てられます。サイドスイッチを押すだけで、割り当てたオプションが実行されます。

ラジアルメニューに選択した場合、ラジアルメニューリストに表示されるようになります。

Ink 文字認識 ON/OFF

(Mac) Ink の「手書き認識」機能をオンとオフに切り替えます。Ink は筆跡を認識して、テキストに変換し、ドキュメントに挿入します。この機能を使用するには、Ink をオンにする必要があります。Ink の使い方については Mac のヘルプをご覧ください。

オンスクリーンキーボード

ボタンまたはファンクションキーを押すと、画面上にキーボードが表示されます。再度押すと、キーボードは閉じます。

Expose

(Mac) : 画面に開いているウィンドウをタイル表示します。ダイアログボックスで「キーストロック ...」 → 「特殊キー」メニューと選択して、このオプションを表示します。

筆圧一定

ボタンを放すまで、筆圧を一定に保ちます。たとえば、ブラシが好みのサイズになるまで、筆圧を変えながら線を描きます。次にボタンを押すと、ボタンを放すまで同じブラシのサイズで描き続けることができます。



機能名

内容

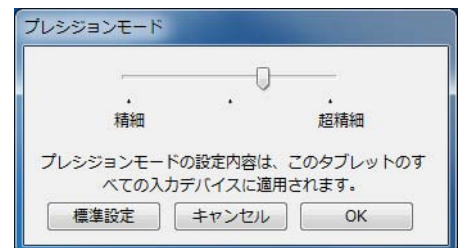
プレジジョンモード

ペン先位置周辺のマッピング比率を変更します。ポインタの移動距離に対し、電子ペンの移動距離をより長く設定します。電子ペンやブラシでぶれないきれいな図形を描くために役立ちます。

入力デバイスのスイッチやボタンにプレジジョンモードを割り当て、手元でオンオフすることもできます。

このモードを有効にするには、機能が割り当てられたスイッチやボタンを押します。プレジジョンモードは短時間で自動的にオフになりますが、スイッチやボタンを再度押しても元のマッピング比率に戻すことができます。

電子ペンが「マウスモード」の場合、ポインタの動作について、加速は「OFF」、速度は「遅い」で動作するように調整されます。



マッピング画面切り替え

本機がマルチディスプレイ環境にあるとき使用できます。マルチディスプレイ環境の場合、本機と他のディスプレイの間でポインタを切り替えることができます。たとえば本機を液晶ペンタブレットとして使用したり（ポインタの位置はペン先）、[マッピング切り替え機能](#)を使って標準のワコムタブレットとして使用する（ポインタはデスクトップ全体または他のディスプレイ上を移動できる）ことができます。



機能名

内容

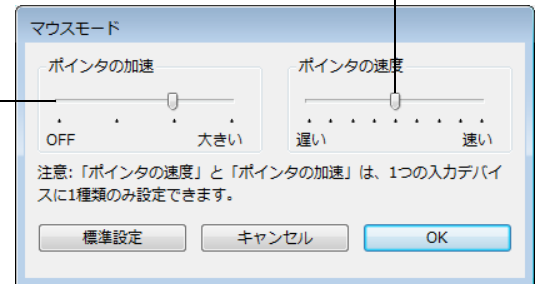
ペン⇄マウスモード

[ペンモード](#)と[マウスモード](#)を切り替えます。本機をマルチディスプレイ環境で使う場合、これによって電子ペンをマウスと同じように使用することができるようになります。

スイッチやボタンを「ペン⇄マウスモード」に設定すると、「マウスモード」ダイアログボックスが表示され、マウスの加速度とスピードを調整できます。

マウスモードではポインタの速度を設定します。

マウスモードではポインタの加速を設定します。



「マウスモード」はコントロールパネル内の別のダイアログからでもアクセスし設定できます。「ポインタの加速」と「ポインタの速度」の設定は、カスタマイズ中の電子ペンとソフトウェアにつき、1つしか設定できません。

マウスモードの設定は、システム設定からは独立しています。コントロールパネルで設定を変更しても、システム側の同内容の項目の設定には影響しません。しかし、システム側で同内容の項目の設定を変更すると、本機の設定に影響する場合があります。

消しゴム

ペン入力のためのオプションです。「消しゴム」機能に対応しているソフトウェアでは、このボタンを押したときにペン先が消しゴムの役割をします。消しゴムの標準設定については[消しゴムを使う](#)を参照してください。

設定内容の表示

本機のファンクションキー、タッチホイール、および電子ペンの設定をダイアログボックスに表示します。各コントロールに現在割り当てられている機能が表示されます。

ダイアログボックス下の「設定変更 ...」をクリックし、コントロールパネルを開いて設定を行います。

この機能が割り当てられているファンクションキーを再度押すか、ダイアログボックス以外の画面上をクリックすると、ダイアログボックスは閉じます。





機能名	内容
タブレット PC	
• Tablet PC 入力パネル	Starter を除く Windows 7 あるいは Home Basic を除く Windows Vista で、この機能に設定したボタンを押すと、Tablet PC 入力パネルが開きます。
• Windows Journal	Starter を除く Windows 7 あるいは Home Basic を除く Windows Vista で、Microsoft Journal を開きます。
• Tablet PC の設定に従う	Starter を除く Windows 7 あるいは Home Basic を除く Windows Vista で、以下に示す設定に従ってボタン機能を設定します。 <ul style="list-style-type: none">• Windows 7 および Vista の「Tablet PC 設定」および「ペンと入力デバイス」コントロールパネル
無効	すべてのボタン機能を無効にします。
アプリケーションの設定に従う	ソフトウェアにボタンの数の情報を送ります。この機能は、タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェア用です。
標準設定	ボタンを標準設定に戻します。



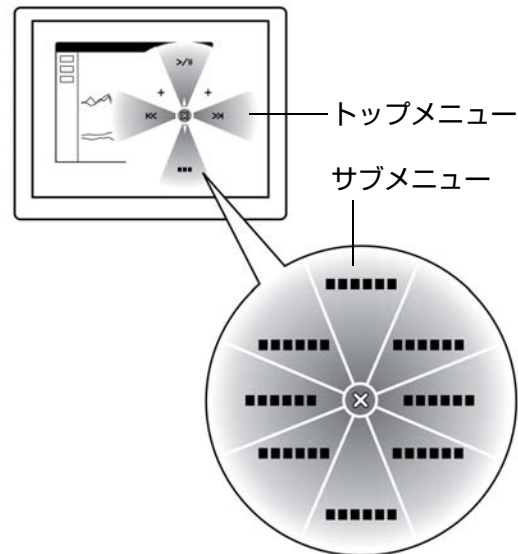
ラジアルメニューの使い方と設定

ラジアルメニューは円形のポップアップメニューです。編集、ナビゲーション、メディア操作などが簡単にできるようになります。

- サイドスイッチ、マウスのボタン、またはファンクションキーに「ラジアルメニュー」機能を設定します。ボタンを押すと、ポインタの位置を中心にラジアルメニューが表示されます。
- ラジアルメニューは円形で表示され、機能はデスクトップ全体に広がります。ラジアルメニューは階層で構成されています。メニューの各レベルは、8つの項目で構成され、各項目にはさまざまな機能と選択可能なオプションが設定できます。
- メニューをクリックして機能を選択します。項目によってはサブメニューが表示され、さらにオプションを選ぶことができます。
- メニューは終了します。

機能を選択せずにメニューを終了する場合、メニュー中央の「X」ボタンをクリックするか、またはオプション機能が割り当てられていない空の項目をクリックしてください。「ラジアルメニュー」が割り当てられたボタンを押して、再びメニューを表示することができます。

- ラジアルメニューを開くボタンを押し続けると、ラジアルメニューを表示したままメニュー項目をクリックできます。

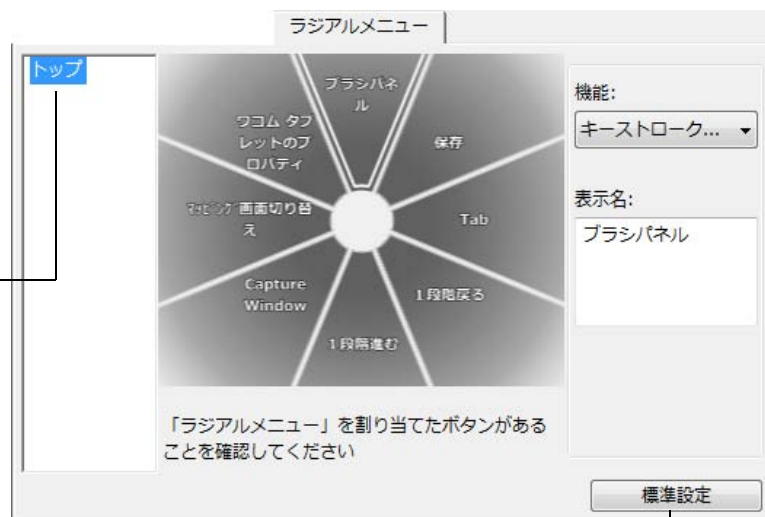


「ラジアルメニュー」タブで、ラジアルメニューに割り当てるオプション機能を設定します。

1. メニュー項目を選択します。
2. 「機能」でメニュー項目に機能を割り当てます。「表示名」でメニュー名を変更することもできます。
3. さらにカスタマイズする場合は、メニューまたはサブメニューを選んで同様の操作を行います。

ヒント：サブメニューをカスタマイズするときは、「機能」メニューで「サブメニュー」を選択します。

「表示名」が複数行になるときは「ENTER (RETURN)」キーを押して改行してください。



表示中のメニューを標準設定に戻します。

マッピング画面切り替えを使う

「マッピング画面切り替え」はシステムがマルチディスプレイで構成されている場合に利用できます。ファンクションキーまたは電子ペンのサイドスイッチに「マッピング画面切り替え」を設定すると、ボタンを押すたびにポインタの位置を本機と他のディスプレイを切り替えることができます。液晶ペンタブレットとしての使い方（ポインタの位置はペン先）、あるいは標準のワコムタブレットとしての使い方（ポインタはデスクトップ全体または接続された他のディスプレイ上を移動できる）に切り替えることができます。

コントロールパネルを開き、本機が選択されていることを確認します。本機がマルチディスプレイ環境に接続されている場合、「マッピング画面切り替え」タブが表示されます。このタブで、各ディスプレイのマッピング方法を設定します。

- 「デスクトップ全体に切り替える」を選択し「マッピング画面切り替え」を割り当てたボタンやサイドスイッチを押すと、マルチディスプレイ領域全体を操作できるようになります。もう一度押すと、ポインタは本機へ戻ります。
- 「他のモニタに切り替える」に設定しボタンやサイドスイッチを押すと、ポインタは他のディスプレイに表示されます。他のディスプレイが複数あるときは、サイドスイッチを押すたびにポインタはディスプレイ間を移動し、最後に本機に戻ります。

重要:「マッピング画面切り替え」で特定のソフトウェアに対する設定を使用している場合、アプリケーションリスト（「その他すべて」も含む）上のカスタマイズ済みのアプリケーション（ソフトウェア）に「マッピング画面切り替え」が割り当てられたボタンがあるかを確認してください。特定のソフトウェアに対する設定を行う前に、「マッピング画面切り替え」をファンクションキーの1つに割り当てておくことをおすすめします。



「有効領域」オプションを使って、画面上の操作エリアのサイズを設定できます。

- 「縦横比を保持」は操作エリアのサイズを調整して、本機とデスクトップ全体または新規にマッピングされたディスプレイの間で正確な縦横比率を保持します。設定内容によっては、操作エリアの一部は、このオプションを選択した場合に使用できなくなる場合があります。選択をしないと、正確な縮尺比または比率は維持されません。たとえば、画面に円を描いてもマッピングされたディスプレイ画面上では楕円が描かれます。
- 「小さな領域を使う」は、タブレットの操作エリアを 15.2 × 20.3 cm のサイズに制限します。もし「縦横比を保持」も合わせて選択すると、操作エリアはさらに小さくなります。選択をしないと、タブレットの操作エリアの大部分が本機からディスプレイへのマッピングに使用されます。

操作エリアに中の赤枠が選択された範囲です。

特定のソフトウェアに対する設定

使用する入力デバイスは、特定のソフトウェア向けにカスタマイズできます。たとえば、あるソフトウェアでは、ペン先の筆圧を硬めに設定して、他のソフトウェアでは柔らかく設定できます。「アプリケーション」リストにアプリケーション（ソフトウェア）を追加し、次に追加したソフトウェアに対して入力デバイスの設定をカスタマイズします。

- ソフトウェアごとの設定を行わずに、入力デバイスを「入力デバイス」リストから選択した場合、「アプリケーション」リストには「すべて」アイコンが表示されます。「すべて」アイコンは、電子ペンの設定をソフトウェアすべてに適用します。以下の例では、「グリップペン」に特定のソフトウェアに対する設定が行われていません。そのため「すべて」アイコンが表示され、「グリップペン」の設定はすべてのソフトウェアに共通です。



- 特定のソフトウェアに対する設定が加わると、「すべて」アイコンは「その他すべて」に変わり、新しく追加されたソフトウェアのアイコンが追加されます。



上記の例では、特定のソフトウェアに対する設定が、「グリップペン」に追加されています。「その他すべて」アイコンを選択して設定を変更する場合、その変更は、「アプリケーション」リストに追加したソフトウェア以外のすべてのソフトウェアで適用されます。ソフトウェアのアイコンを選択してタブの設定を変更する場合は、そのソフトウェアを使用する間のみ設定が適用されます。

特定のソフトウェアに対する設定を作成すると、選択した入力デバイスとソフトウェアに対して個別のグループが作成されます。詳細については次のセクションをご覧ください。

[特定のソフトウェアに対する設定を作成する](#)

[特定のソフトウェアに対する設定を変更する](#)

[特定のソフトウェアに対する設定を削除する](#)

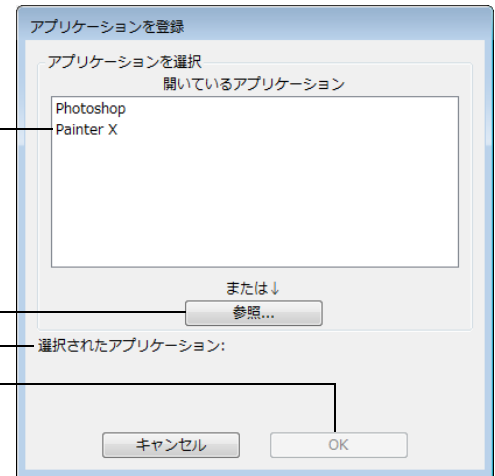
ヒント：起動中のアプリケーション内でのファンクションキー、タッチホイール、または電子ペンの機能設定を確認するには、ファンクションキーの1つに「設定内容の表示」を割り当ててください。

特定のソフトウェアに対する設定を作成する

初めに、特定のソフトウェア向けの設定を作成する液晶ペンタブレット（本機）と入力デバイスを選択します。次に「アプリケーション」リストの [+] ボタンをクリックします。

ソフトウェアを選択するには、次の2つの方法のうちいずれかを選択します。

- 設定を作成するソフトウェアを起動します。次に「開いているアプリケーション」ボックスからそのソフトウェアを選択します。
- 「参照」を選択して、コンピュータにインストールされているソフトウェアの実行ファイルを選択します。



選択したソフトウェアの名称が表示されます。

「OK」をクリックして、終了します。

補足：2つのソフトウェアが同じ実行ファイル名をもつ場合、2つのソフトウェアはカスタマイズされた設定を共有します。

入力デバイスが「アプリケーション」リストに表示されます。追加したソフトウェアを選択して、次に入力デバイスと追加したソフトウェアに対してタブの設定をカスタマイズします。

特定のソフトウェアに対する設定を作成すると、この方法でカスタマイズされなかったソフトウェアには「その他すべて」の入力デバイスの設定が適用されます。

ヒント：任意のソフトウェアに対して設定を作成してみてください。それにより入力デバイスが使いやすくなったら、さらに、別のソフトウェア向けにも設定をしてみてください。

特定のソフトウェアに対する設定を変更する

入力デバイスの設定を特定のソフトウェア用に変更するには、入力デバイスとソフトウェアを選択し、表示されるタブの設定をカスタマイズします。

特定のソフトウェアに対する設定を削除する

特定のソフトウェアに対する設定を削除するには、

1. 「入力デバイス」リストから、削除したい設定を持つ入力デバイスを選択します。次に「アプリケーション」リストから削除するソフトウェアを選択します。
2. 「アプリケーション」リストで [-] ボタンをクリックします。表示されるダイアログボックスから「削除」をクリックして選択を確認します。選択したソフトウェアは、入力デバイスの設定とともにリストから削除されます。

ヒント：入力デバイスから特定のソフトウェアに対する設定をすべて削除するには、「入力デバイス」リストからその入力デバイスを削除します。続いて電子ペンを液晶ペンタブレットの上に戻すと、その入力デバイスは標準設定の状態で「入力デバイス」リストに追加されます。

複数デバイスでの作業

コントロールパネルは、入力デバイスの設定をカスタマイズし、現在の設定を確認することができます。コントロールパネルを開く際に使用したデバイスが自動的に選択され、そのデバイスに適したタブが表示されます。

デバイスを選択して設定を変更します。

「入力デバイス」リストには、本機の「ファンクション」および本機で使用されたデバイスが表示されます。

特定のソフトウェアに対する設定が追加されていない場合、「すべて」のアイコンが表示され、デバイスの設定はすべてのソフトウェアに適用されます。

タブの設定は、選択済みのデバイスとソフトウェアにのみ適用されます。



選択したデバイスを削除します。
リストに項目が1つしかない場合、ボタンは働きません。
「ファンクション」アイコンは削除できません。

コントロールパネルの「入力デバイス」リストにデバイスを追加するには、本機でそのデバイスを使用してください。

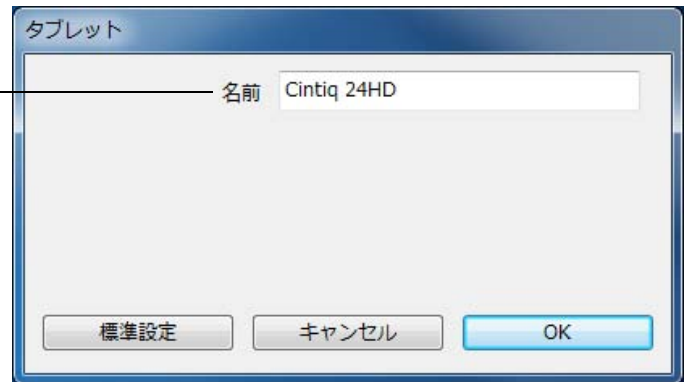
- 「入力デバイス」リストに追加されたデバイスを選択する場合、そのデバイスの適切な設定がタブに表示されます。変更された設定は、デバイスに適用され、直ちに実行されます。
同様のデバイスが過去に追加されていた場合、新しいデバイスは過去に追加されたデバイスの設定を引き継ぎます。新規に追加されたデバイスに合わせてカスタマイズすることもできます。
- 同一のデバイスには同一の設定が適用されます。

選択したデバイスを「入力デバイス」リストから削除するには、「入力デバイス」リストの[-]ボタンをクリックします。表示されるダイアログボックスから「削除」をクリックして選択を確定します。選択したデバイスは、そのデバイス向けに作成した設定とともにリストから削除されます。(削除されたデバイスは、再度本機で使うと「入力デバイス」リストに戻ります。)

タブレットの登録名を変更する

コントロールパネルの「タブレット」リストから、本機のアイコンをダブルクリックします。

本機の名前を変更することができます。



トラブルシューティング

トラブルが発生した場合、以下のことを行ってください。

1. タブレットドライバが正しく読み込まなかった場合、画面に表示されるエラーメッセージで推奨される処置をまず行ってください。それでも問題が解決されない場合は、本章のトラブルシューティング手順をご覧ください。
2. [本機のテスト](#)を試してください。
3. 本機が正常に作動しない場合は、[ディスプレイのトラブルシューティング情報](#)や[タブレットのトラブルシューティング情報](#)をご覧ください。問題が記載されている場合、その指示に従ってください。
4. 最新情報については、「Read Me」ファイルをご覧ください。
5. 製品 Q&A ([FAQ \(よくある質問\)](#)) をご確認ください。
6. 本機と新しいハードウェアまたはソフトウェアで互換性の問題が発生した場合は、[ドライバのダウンロード](#)をご覧ください。ワコムでは定期的にタブレットドライバの更新を行い、新製品との互換性を維持しています。
7. 本書で解決のポイントを読んでも、問題が解決しそうにない場合、ワコムのサポート窓口にお問い合わせください。サポート情報については、[テクニカルサポート](#)と「Read Me」ファイルをご覧ください。

[本機のテスト](#)

[操作機能および入力デバイスのテスト](#)

[ディスプレイのトラブルシューティング情報](#)

[タブレットのトラブルシューティング情報](#)

[テクニカルサポート](#)

[ドライバのダウンロード](#)



本機のテスト

1. 本機のパワーランプが点灯しない場合は、以下をご確認ください。
 - AC アダプタのランプが点灯していることをご確認ください。点灯していない場合は、電源ケーブルが AC アダプタとコンセントに正しく接続されているかご確認ください。
 - AC アダプタのケーブルが本機の電源ケーブルに正しく接続され、電源スイッチがオンになっていることをご確認ください。

重要：必ず本機に付属の AC アダプタをご使用ください。付属品以外をご使用になると、本機が破損する場合があります。
2. 画面に何も表示されない場合は、以下を確認してください。
 - コンピュータの電源が入っているかをご確認ください。正しいビデオ信号が入力されると、パワーランプは青色に点灯します。ビデオ信号の入力がない、またはコンピュータが省電力状態の場合には、パワーランプはオレンジ色に点灯します。
 - 本機が有効なデジタルコネクタ (DVI または DisplayPort) またはアナログ RGB コネクタに接続されていることをご確認ください。
 - お使いのグラフィックボードが正しくセットされ動作していることをご確認ください。お使いのグラフィックボードと互換性がある別のディスプレイをお持ちなら、そのディスプレイをグラフィックボードに接続して正しく動作することを確認できます。
3. 電子ペンと本機のタブレット部が正常に稼動することを確認してください。
 - ペン先を画面に押し当て、ステータスランプが青色に点灯することをご確認ください。
 - ステータスランプが点灯しない場合は、USB 接続ケーブルが有効な USB ポートに接続されているかご確認ください。
 - 接続中の USB ポートが有効であることをご確認ください。USB ポートが有効かどうかを確認するときはご使用のシステムの BIOS 設定の確認を行ってください。
 - 本機が USB デバイスとして登録されているときは、ペン先をディスプレイに押し当てるとランプは青色に点灯します。
4. 画面上で電子ペンを操作できないときは、以下のテストを行ってください。
 - ペン先またはテールスイッチを画面に押し当てて、ステータスランプが青色に点灯することを確認してください。
 - 筆圧を加えずに電子ペンを画面から 5 mm 以内に近づけサイドスイッチを押して、ステータスランプが青色に点灯することを確認してください。
 - 以上のテストでステータスランプが青色に点灯しない場合は、本機に対応していないペンを使っていないかご確認ください。
 - 詳細は、[操作機能および入力デバイスのテスト](#)と[電子ペンのテスト](#)を参照してください。



5. ワンタッチ表示ボタンを確認してください。[操作機能および入力デバイスのテスト](#)と[ワンタッチ表示ボタンのテスト](#)をご覧ください。
6. ファンクションキーを確認してください。[操作機能および入力デバイスのテスト](#)と[ファンクションキーのテスト](#)をご覧ください。
7. タッチホイールを確認してください。[操作機能および入力デバイスのテスト](#)と[タッチホイールのテスト](#)をご覧ください。

症状が回復しない場合、電子ペンまたは本機の故障が考えられます。

操作機能および入力デバイスのテスト

電子ペン、または本機の操作機能が正常に作動しない場合は、割り当てられている機能をチェックするか、標準設定の状態にリセットすることを推奨します。

電子ペンの設定を簡単にリセットするときは、「入力デバイス」リストの「[-]」ボタンをクリックして、リストから電子ペンを削除します。電子ペンを削除してから、画面の上に電子ペンを載せます。電子ペンが標準設定で「入力デバイス」リストに追加されます。

- コントロールパネルを開き、「タブレットについて」ボタンをクリックします。表示されたダイアログボックスで「診断」ボタンをクリックすると、「診断」ダイアログボックスが開きます。「診断」ダイアログボックスには、本機と電子ペンの現在の状態が表示されます。本機や入力デバイスをテストする際は、この情報をご利用ください。
- 複数のタブレットがシステムに接続されている場合、「タブレット情報」欄で本機を選択してください。
- 本機や電子ペンをテストする際は、「診断」ダイアログボックスに表示される情報をご利用ください。

補足：入力デバイスのボタンをテストする場合、ボタンが「ラジアルメニュー」または「開く／起動...」に設定されていると、ボタンを押すとその機能が実行されます。このような場合、テストの前にボタンの機能を変更してください。

[ワンタッチ表示ボタンのテスト](#)

[ファンクションキーのテスト](#)

[タッチホイールのテスト](#)

[電子ペンのテスト](#)

ワンタッチ表示ボタンのテスト

1. 本機の前面上部にある3つのワンタッチ表示ボタンをテストします。コントロールパネルを開き、「タブレットについて」ボタンをクリックします。ダイアログボックスが表示されたら、「診断」ボタンをクリックして「診断」ダイアログボックスを開きます。システムに複数のタブレットが接続されている場合は、必ず「タブレット情報」欄で本機を選択してください。
2. 1つずつボタンを押してテストします。押したボタンの番号が、「左側ボタン」または「右側ボタン」カテゴリのどちらかに続いて表示されます。
3. 終了したら、「閉じる」ボタンをクリックしてダイアログボックスを終了します。



ファンクションキーのテスト

1. 本機のファンクションキーをテストします。コントロールパネルを開き、「タブレットについて」ボタンをクリックします。ダイアログボックスが表示されたら、「診断」ボタンをクリックして「診断」ダイアログボックスを開きます。システムに複数のタブレットが接続されている場合は、必ず「タブレット情報」欄で本機を選択してください。
2. 一度にそれらを押してキーをテストします。それぞれのキーを押すと、どちらのキーグループをテストしているかに応じて、その番号が「左側ボタン」または「右側ボタン」カテゴリのいずれかの隣に表示されます。1つずつキーを押してテストします。押したキーのグループに応じて、キーの番号が「左側ボタン」または「右側ボタン」カテゴリのどちらかに続いて表示されます。
3. 終了したら、「閉じる」ボタンをクリックしてダイアログボックスを終了します。

重要：ソフトウェアによっては、ファンクションキーの設定が無効になったり、制限される場合があります。ファンクションキーのテストを行うときは、コントロールパネル以外のソフトウェアを終了させることをおすすめします。

詳しくは、[タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う](#)を参照してください。

タッチホイールのテスト

1. 本機のタッチホイールをテストします。コントロールパネルを開き、「タブレットについて」ボタンをクリックします。ダイアログボックスが表示されたら、「診断」ボタンをクリックして「診断」ダイアログボックスを開きます。システムに複数のタブレットが接続されている場合は、必ず「タブレット情報」欄で本機を選択してください。
2. タッチホイール上を一周するように指を滑らせます。どちらのタッチホイールをテストしているかに応じて、その番号が「左側タッチホイール」または「右側タッチホイール」カテゴリのいずれかの隣に表示されます。
3. タッチホイール機能切り替えボタンを押します。それぞれのボタンを押すと対応するステータスランプが点灯し、機能を表すオーバーレイ表示が画面に表れます。どのボタングループをテストしているかに応じて、「診断」ダイアログボックス内に、その番号が「左側ボタン」または「右側ボタン」カテゴリのいずれかの隣に表示されます。
4. 終了したら、「閉じる」ボタンをクリックしてダイアログボックスを終了します。

重要：ソフトウェアによっては、タッチホイール機能が無効になったり、制限される場合があります。タッチホイールのテストをするときは、コントロールパネル以外のすべてのアプリケーションを終了させてください。

詳しくは、[タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う](#)を参照してください。



電子ペンのテスト

1. 「診断」ダイアログボックスの「入力デバイス情報」欄を見ながら、ペン先を画面から 5mm 以内に近づけます。「読み取り高さ」、「入力デバイス名」、「入力デバイスのタイプ」、「シリアル No.」が表示されます。必ず「タブレット情報」欄で本機を選択してください。
2. 本機の操作エリアで電子ペンを移動させると、X 座標と Y 座標のデータの値が、ペン先の位置を反映して変化します。
3. 電子ペンの機能をテストします。ペン先でクリックしたり、サイドスイッチを押したり、あるいはテールスイッチ（消しゴム）をタブレットの上で押すと、本機のステータスランプが青色に点灯します。
 - 画面をペン先でクリックします。「スイッチ」の状態と「筆圧」の値が変化します。（筆圧は圧力が全くかかっていない状態から最大圧力をかけた状態まで、0% から 100% まで変化します。）
 - 次に、ペン先を画面に押し当てずに、サイドスイッチを押します。「スイッチ」の状態が変わります。（電子ペンの場合は、両方のサイドスイッチをテストします。）

ペン	ペン先 = 1 サイドスイッチ（下側） = 2 サイドスイッチ（上側） = 3 テールスイッチ（消しゴム） = 1
エアブラシ	ペン先 = 1 サイドスイッチ = 2 テールスイッチ（消しゴム） = 1

- 画面にテールスイッチを押し当てます。「スイッチ」の状態と「筆圧」の値が変わります。（「筆圧」の値は、筆圧を加えない 0% から、最大の筆圧を加えた状態の 100% まで変化します。）
 - オプションのエアブラシをテストする場合は、ホイールを手前に回します。ホイールを完全に奥まで回すと、値は 0 まで減少します。ホイールを手前に回していき、完全に手前まで回すと、ホイールの値はおよそ 1000 まで増大します。
4. X 軸方向の傾きをテストします。X の「傾き」の値は、電子ペンを垂直位置から右方向へ傾けると、およそ 0 から + 60 まで変わります。電子ペンを垂直位置から左方向へ傾けると、X の「傾き」の値は、およそ 0 から - 60 まで変わります。
 5. Y 軸方向の傾きをテストします。Y の「傾き」の値は、電子ペンを垂直位置からタブレットの手前に傾けると、およそ 0 から + 60 まで変わります。電子ペンを垂直位置からタブレットの向こう側へ傾けると、Y の「傾き」の値は、およそ 0 から - 60 まで変わります。
 6. オプションのアートペンをテストする場合は、ペン先を画面に押し当て、ペン軸を中心にゆっくりと回転させてペンの回転をテストします。ペンを回転させるにつれ、「回転」の値が変化します。
 7. 終了したら、「閉じる」ボタンをクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

ディスプレイのトラブルシューティング情報

本機の液晶表示部で問題が発生した場合は、以下の表を参考に解決を試みてください。カラーの問題については、ご使用のオペレーティングシステムまたはソフトウェアに付属の取扱説明書を参照してください。

[ディスプレイの一般的な問題](#)

[アナログ RGB 接続の問題](#)

ディスプレイの一般的な問題

画像が表示されない。パワーランプが点灯しない。	電源ケーブルが正しく接続されているか、本機の電源スイッチがオンになっているかをご確認ください。 電源スイッチの場所 をご覧ください。
画像が表示されない。パワーランプは青色で点灯する。	コンピュータ、および本機の電源を切り、ケーブルやアダプタが折れ曲がっていたり、コネクタピンが破損していないかをご確認ください。次にケーブルやアダプタを正しく接続して、本機とコンピュータの電源を入れてください。
パワーランプがオレンジ色に点灯し、「no input signal go to power saving mode」というメッセージが画面に表示される。	<ul style="list-style-type: none"> お使いのコンピュータが省電力状態になっている可能性があります。 マウスを動かしたり、キーボードのキーをどれか押してください。 コンピュータ、および本機の電源を切り、DVI-DVI（または DVI-RGB）ケーブルが折れ曲がっていたり、コネクタピンが破損していないかをご確認ください。次にディスプレイケーブルを正しく接続して、本機とコンピュータの電源を入れてください。 グラフィックボードが正しく装着されているかをご確認ください。
「out of range」というメッセージがディスプレイ画面に表示される。	<ul style="list-style-type: none"> 入力信号周波数の設定が正しくないか、本機と適合していません。本機のリフレッシュレートを 60 Hz に設定してください。シングルディスプレイ環境の場合、リフレッシュレートを変更するためには、別のディスプレイを接続する必要があります。 解像度あるいはリフレッシュレートの設定が本機の対応範囲を超えています。 「プラグアンドプレイモニタ」を検出するように、画面のプロパティを設定します。





画像が二重、三重に表示される。	OSD メニューを開き、「画像設定」から「オートアジャスト」オプションを選択します。必要に応じてピッチとフェーズを手動調整してください。ディスプレイケーブルを延長したり、入力切替器や映像分配器を使用しないでください。
同じ画像が長時間表示された後、残像が短時間続く。	残像は故障ではありません。時間がたつと徐々にもとにもどります。スクリーンセーバーまたはコンピュータの省電力機能を使用することをおすすめします。
色の具合がおかしい。	<ul style="list-style-type: none">• OSD メニューを開き、「カラー設定」から色温度を変更してみてください。• ディスプレイケーブルがしっかり接続されていることをご確認ください。• コンピュータおよび本機の電源を切り、ディスプレイケーブルが折れ曲がったり、コネクタピンが破損していないかご確認ください。• OSD メニューを開き、「リセット」から「初期設定に戻す」を選択します。• 本機で使っているカラープロファイルの設定を確認してください。• コントラストの設定変更は色の精度に影響するため、少しずつ行ってください。
白色がきれいに表示されない。	<ul style="list-style-type: none">• 本機で使っているカラープロファイルの設定を確認してください。• 画面の設定がお買い上げ時の状態か確認し、設定が不十分な場合は色の設定を調整してください。カラーマネジメントの詳細は、ご使用中のオペレーティングシステムとソフトウェアの取扱説明書を参照してください。• ディスプレイケーブルがしっかり接続されていることを確認してください。



アナログ RGB 接続の問題

- | | |
|------------------------------|---|
| 画面に波のような模様やちらつきが出る。 | <ul style="list-style-type: none"> OSD メニューを開き、「画像設定」から「オートアジャスト」オプションを選択します。必要に応じてピッチとフェーズを手動調整してください。 コンピュータのディスプレイアダプタまたはグラフィックボードが本機の仕様に合っているかを確認してください。 画面のプロパティのコントロールパネルでリフレッシュレートを調整してください。 |
| 表示が不鮮明。画面上のテキストや他の部分がぼやけている。 | <ul style="list-style-type: none"> コンピュータの解像度を本機で利用可能な解像度に設定します。詳細は、「製品に関する重要なお知らせ」をご覧ください。 本機のリフレッシュレートを 60Hz に設定してください。 いったん本機の電源をオフにし、再度オンにします。 OSD メニューを開き、「画像設定」から「オートアジャスト」オプションを選択します。必要に応じて明るさ、ピッチ、およびフェーズを手動調整します。 |
| 画面の表示位置がずれている。表示サイズが適正でない。 | <ul style="list-style-type: none"> OSD メニューを開き、「画像設定」から「オートアジャスト」オプションを選択します。 必要に応じて、ピッチとフェーズ、および水平位置と垂直位置を調整します。入力信号やグラフィックボードによっては、適正なサイズで表示されない場合がありますのでご注意ください。 |
| 画面に波、縦縞、色むらが出る。 | <ul style="list-style-type: none"> OSD メニューを開き、「画像設定」から「オートアジャスト」オプションを選択します。問題が解決しない場合は、「リセット」から「初期設定に戻す」オプションを選択し、画面の設定を工場出荷時の状態に戻します。 必要に応じて、ピッチとフェーズを調整します。 |
| 表示が二重、三重になる。 | <ul style="list-style-type: none"> ディスプレイケーブルが、確実にコネクタに接続されているか確認してください。 ディスプレイケーブルを延長したり、入力切替器や映像分配器を使用しないでください。 |
| 画面が暗い。 | <ul style="list-style-type: none"> OSD メニューを開き、明るさとバックライト輝度を調整します。 |

タブレットのトラブルシューティング情報

本機のタブレット部で問題が発生した場合は、以下の表を参照し解決を試みてください。必ず「Read Me」（お読みください）ファイルをご覧ください、最新情報をご確認ください。

より詳細な情報については、ワコムのホームページにアクセスしてください。

<http://wacom.jp/>

[一般的な問題](#)

[Windows での問題](#)

[Mac での問題](#)

一般的な問題

本機の USB ハブに接続した USB デバイスが機能しない。	<ul style="list-style-type: none"> 本機の USB 接続ケーブルがコンピュータの有効な USB ポートに正しく接続されているか確認してください。 本機の電源がオンで、パワーランプが青く点灯していることを確認してください。本機の USB ハブは、電源が切れていると機能しません。 コンピュータの USB ポートに USB デバイスを直接接続してみてください。 以上の操作を行っても USB デバイスが正常に機能しない場合は、各 USB デバイスのメーカーにお問い合わせください。
パワーランプが点灯しない。	<ul style="list-style-type: none"> 本機の電源がオンになっていることを確認してください。 AC アダプタが本機の電源ケーブルとコンセントの両方に正しく接続されていることを確認してください。 必ず本機に付属の AC アダプタをご使用ください。付属品以外の AC アダプタを使用すると本機が故障するおそれがあるので、使用しないでください。
電子ペンがマウスモードでのみ動作する。筆圧機能を使って線が描けない。	<ul style="list-style-type: none"> タブレットドライバがインストールされていないか、または適切に読み込まれていません。 タブレットドライバがインストールされていることを確認してください。タブレットドライバがインストールされていない場合は、ステップ 2: タブレットドライバのインストールを参考にタブレットドライバをインストールしてください。
筆圧機能が使えない。	<ul style="list-style-type: none"> ソフトウェアによっては、電子ペンを使う前に筆圧機能をオンにする必要があるものもあります。 お使いのソフトウェアが筆圧に対応しているか確認してください。
クリックが利かない。	<p>コントロールパネルを開き、「ペン」タブを選択します。「ペン先の感触」を柔らかくしてください。ペン先の感触とダブルクリックの調整をご覧ください。</p>





- 電子ペンがあらゆるものを選択して、止まらない。
- ・ コントロールパネルを開き、「ペン」タブを選択します。「ペン先の感触」スライダを「硬い」方へ移動させるか、「詳細設定」を選択し、「クリック圧」の設定を大きくします。
 - ・ 電子ペンの芯の抜き差しをしてください。正常に戻らない場合は、[操作機能および入力デバイスのテスト](#)を参照してください。
-
- ダブルクリックが利かない。
- ・ 画面の同じ場所をすばやく2度軽くたたいてみてください。ワコムではサイドスイッチを使ってダブルクリックすることをお勧めしています。
 - ・ コントロールパネルを開き、「ペン」タブを選択します。「ダブルクリック距離」を長くするか、「ペン先の感触」を柔らかく設定してください。[ペン先の感触とダブルクリックの調整](#)をご覧ください。
 - ・ ファンクションキーに「ダブルクリック」を設定し、ファンクションキーを使ってダブルクリックを行ってください。
 - ・ Windows の場合：1回のクリックでプログラムが起動するように設定することができます。[クリック](#)を参照してください。
-
- 消しゴムがあらゆるものを選択する。消し続ける。
- コントロールパネルを開き、「テールスイッチ」タブを選択します。「消しゴムの感触」スライダを「硬い」方へ移動させるか、「詳細設定」ボタンを選択し、「クリック圧」の設定を大きくします。[ペン先の感触とダブルクリックの調整](#)を参照してください。正常に戻らない場合は、[操作機能および入力デバイスのテスト](#)を参照してください。
-
- ペンのストロークまたはインクのストロークの開始が遅れる。
- コントロールパネルを開き、「ペン」タブを選択します。「ダブルクリック距離」を少なくしてください。正常に戻らない場合は、「ダブルクリック距離」スライダを「OFF」にドラッグして、ダブルクリックアシストをオフにします。[ペン先の感触とダブルクリックの調整](#)を参照してください。
-
- ペン先を強く押さなければ、クリック、描画、書き込みなどができない。
- コントロールパネルを開き、「ペン」タブを選択します。「ペン先の感触」スライダを「柔らかい」方へ移動させるか、「詳細設定」を選択して「筆圧感度」と「クリック圧」設定を少なくします。[ペン先の感触とダブルクリックの調整](#)を参照してください。





ペン先が利かない。

- 本機に付属の電子ペンまたは対応した電子ペンをお使いください。それ以外の電子ペンは本機で正しく機能しない場合がありますので、使用しないでください。
- コントロールパネルの「ペン」タブで、「クリック」機能がペン先に割り当てられていることを確認してください。
- ペン先を押したとき、ステータスランプが青色に点灯することを確認してください。青色に点灯しない場合、USB 接続ケーブルがコンピュータの有効な USB ポートに正しく接続されているか確認してください。

以上を行ってもランプが点灯しない場合は、電子ペンまたは本機の故障が考えられます。(トラブルシューティングを参照してください。)

ペン先とポインタがずれる。

コントロールパネルを開き、「調整開始 ...」を選択します。[ペン先の位置調整](#)を参照してください。

入力デバイスの機能設定を変更しても反映されない。

使用中の電子ペンとソフトウェアに対して設定変更を行っているか確認してください。[特定のソフトウェアに対する設定](#)と[複数デバイスでの作業](#)を参照してください。

電子ペンのサイドスイッチが利かない。

- 必ず本機に付属の電子ペンまたは対応した電子ペンをお使いください。それ以外の電子ペンは、本機では正常に動作しない場合がありますので、使用しないでください。
- ペン先が画面の操作エリアから5 mm以内にあるときにサイドスイッチを押してください。ペン先で画面を押さずに行います。
- コントロールパネルで、サイドスイッチが使用中のソフトウェアと電子ペンで実行する機能に設定されていることを確認してください。
- 「サイドスイッチエキスパートモード」も確認してください。「ペン先とともにクリック」が選択されている場合は、クリック操作を行うためには、サイドスイッチを押しながらペン先を画面にタッチさせる必要があります。
- サイドスイッチを押すと、ステータスランプが青色に点灯することを確認してください。点灯しない場合、USB 接続ケーブルがコンピュータの有効な USB ポートに正しく接続されているか確認してください。

以上を行ってもランプが点灯しない場合は、電子ペンまたは本機の故障が考えられます。(トラブルシューティングを参照してください。)





ポインタは動かせるが、ペン先を画面に置いてペン先の位置にジャンプせず、ペン先の動きに連動しない。

- ・ コントロールパネルを開きタブレットドライバが正しくインストールされているか確認します。インストールされていない場合は、エラーメッセージが表示されます。その場合は、コンピュータを再起動し[ステップ 2: タブレットドライバのインストール](#)を参考にタブレットドライバを再インストールしてください。(Mac の場合は、タブレットドライバをインストールした後、コンピュータを再起動してください。)
- ・ 電子ペンのサイドスイッチでペンモードとマウスモードの切り替えを行うよう設定している場合は、本機がペンモードで作動しているか確認してください。

マルチディスプレイ環境で本機を使用している場合に、電子ペンで他の複数のディスプレイを操作できない。

- ・ 「[マッピング画面切り替え](#)」を設定したファンクションキーまたはサイドスイッチを押して、操作できるディスプレイを切り替えてください。
- ・ マウスモードで電子ペンを使って、他のディスプレイを操作することもできます。マウスモードにするには、サイドスイッチにペンモードとマウスモードの切り替えを行うよう設定し、スイッチを押してペンモードとマウスモードを切り替えてください。

描いた線とポインタの位置が合わない。

- ・ タブレットドライバをインストールしているか確認してください。
- ・ 電子ペンがペンモードに設定されていないと正しく機能しません。電子ペンがマウスモードに設定されていないことを確認してください。
- ・ ペンモードに設定されても問題が解決しないときは、環境設定ファイルが壊れている可能性があります。[Windows での問題](#)または [Mac での問題](#)を参照し、新しい環境設定ファイルを作成してください。

コンピュータが省電力状態にならない。

電子ペンを使用していないときは、本機の画面上に電子ペンを置いたままにしないでください。置いたままにすると本機はデータを送り続け、コンピュータは作動状態であり続けます。

マウスまたはトラックボールの使用時、ポインタが急に引き戻される。

電子ペンを使用していないときは、専用のペンスタンドに立てるか、あるいは平な机の上に横に置いてください。本機の画面上に電子ペンを置いたままにしないでください。電子ペンを画面上に置いたままにすると、他の入力デバイスを使用するとき、ポインタの位置決めができなくなることがあります。

コンピュータに別のタブレットが接続されているとき、ポインタが不規則に動いたり、画面上で跳び回ったりする。

別のタブレットを本機に近づけすぎると、ポインタの位置決めができなくなることがあります。この現象が起こったら、本機と別のタブレットを離してください。

ソフトウェアを使用しているとき、ファンクションキーまたはタッチホイールが、コントロールパネルの設定と違う機能で動作する。

特定のソフトウェアに対する設定を使用している場合は、目的のソフトウェアに対して設定の更新を行ったかどうか確認してください。

ファンクションキーやタッチホイールが設定通りに正しく機能しない。

利き手の設定に合わせて機能を設定しているか確認してください。





Windows での問題

本機の設定ファイルが壊れている。または、設定ファイルを標準設定の状態にもどしたい。

「ワコムタブレット設定ファイルユーティリティ」を使用して、ご使用中の設定を削除します。起動中のソフトウェアをすべて閉じます。「スタート」メニューをクリックし「すべてのプログラム」を選択します。次に、「ワコムタブレット」から「ワコムタブレット設定ファイルユーティリティ」を選択します。

- 現在のタブレットの設定を維持したい場合は、最初にタブレット設定のバックアップコピーを取ることをお勧めします。「タブレット設定ファイルユーティリティ」ダイアログボックスで、「バックアップ...」をクリックし、メッセージに従って操作します。
- 次に「タブレット設定ファイルユーティリティ」を使用して、以下の手順で本機の設定を削除します。
- シングルユーザの場合：「ログインユーザーの設定ファイル」の「削除」をクリックして、現在のユーザの設定を削除します。
- マルチユーザの場合：「すべてのユーザーの設定ファイル」から、「削除」をクリックしてすべてのユーザの設定ファイルを削除します。「すべてのユーザーの設定ファイル」の「削除」をクリックしてマルチユーザの設定を削除します。すべてのユーザの設定を削除するには、管理者権限が必要です。

「ログインユーザーの設定ファイル」の「復元...」をクリックして、バックアップしたタブレット設定を復元できます。



Mac での問題

コンピュータの起動時、タブレットドライバがロードできなかった、またはタブレットの設定がまだ作成されていないという内容のダイアログボックスが表示される。

- 起動時に、本機が認識されませんでした。USB 接続ケーブルが、コンピュータの有効な USB ポートに正しく接続されていることを確認してください。また本機のパワーランプが青色に点灯していることを確認してください。問題が解決しない場合は、[トラブルシューティング](#)をご覧ください。
- 「移動」メニューから、「ユーティリティ」フォルダを選択し、「システムプロファイラ」を起動します。「内容」一覧の「ハードウェア」から USB を選択します。ワコム製タブレットが一覧表示されます。表示されない場合、本機の USB 接続を確認するか、本機を別の USB ポートに接続してみてください。
- 問題が解決されない場合は、ワコムサポートセンターにご連絡ください。[テクニカルサポート](#)を参照してください。

本機の設定ファイルが壊れている。または、設定ファイルを標準設定の状態にもどしたい。

「ワコムタブレットユーティリティ」からご使用中の環境設定を削除します。起動中のソフトウェアをすべて閉じ、「アプリケーション」フォルダを開きます。次に、「ワコムタブレット」フォルダを開き、「ワコムタブレットユーティリティ」を実行します。

- 最初にタブレット設定のバックアップコピーを取ることをお勧めします。ワコムタブレットユーティリティでは、「ログインユーザー」または「全てのユーザー」を選択します。次に、「バックアップ...」をクリックし、メッセージに従って操作します。
- 以下の手順でタブレット設定を削除します。

シングルユーザの場合：ユーティリティが起動したら「ログインユーザー」を選択し、「削除」をクリックします。続いてログアウトし、再度ログインします。タブレットドライバがロードされると、インストール直後の標準設定で新しい設定ファイルが作成されます。

マルチユーザの場合：ユーティリティが起動したら「全てのユーザー」を選択し、「削除」をクリックします。続いてログアウトし、再度ログインします。タブレットドライバがロードされると、インストール直後の標準設定で新しい設定ファイルが作成されます。

ユーティリティ内の「復元...」をクリックして、「ログインユーザー」または「全てのユーザー」に対してバックアップしたタブレット設定を復元できます。

補足：「Wacom Tablet.Prefpane」ファイルを「ライブラリ」の「Preferencepanes」フォルダから削除しないでください。このファイルは、タブレットドライバをアンインストールする場合、またワコムタブレットユーティリティを使用する場合にのみ削除します。

再度、ポインタの位置調整をします。[ペン先の位置調整](#)を参照してください。





Ink が、本機で正しく動作しない。

Ink の設定ファイルに問題がある可能性があります。次のようにして、問題のある設定ファイルを削除します。手書き入力認識を有効にすると、設定ファイルは再作成されます。

1. 「システム環境設定」画面を開き、「すべてを表示」を選び、「Ink」を選択します。次に「手書き認識」を「切」にします。
2. 「移動」メニューから、「ホーム」を選択します。「ライブラリ」を開いて、「Preferences」フォルダを開きます。次の設定ファイルを削除します。
 - com.apple.ink.framework.plist
 - com.apple.ink.inkpad.plist
 - com.apple.ink.inkpad.sketch
3. 再度、「システム環境設定」→「Ink」を選択します。「手書き認識」を「入」にします。
4. 本機と電子ペンを使って、Ink 機能をテストします。

この処理で Ink の問題が解決されず、サポートが必要な場合は、アップルコンピュータに連絡してください。Ink 用のソフトウェアに関して、弊社では一切のサポートを行っておりません。





テクニカルサポート

本機に問題がある場合は、初めに本書の[本機のセットアップ](#)をご覧ください、本機が正しくセットアップされていることを確認してください。次に[トラブルシューティング](#)をご覧ください。

本書で解決策が見つからない場合、本機の「Read Me」（お読みください）ファイル（タブレットドライバ CD-ROM にあります）にお客さまの問題に関する最新情報が記載されている場合があります。[FAQ（よくある質問）](#)もチェックしてください。

インターネットに接続されている場合は、ワコムのホームページから最新のタブレットドライバをダウンロードできます。[ドライバのダウンロード](#)を参照してください。

問題が解決されず、本機が正しく動作していないと思われる場合、ワコムサポートセンターにご連絡ください。連絡先については、[Wacom International Offices](#) を参照してください。

お電話によるサポートを受けられる場合、次の情報をご用意の上、コンピュータの近くからお電話ください。

- 本書
- 本機の機種名とシリアル番号（液晶ペンタブレット本体の裏面をご覧ください）
- 本機の保証書
- タブレットドライバのバージョン（タブレットドライバ CD-ROM をご覧ください。あるいはコントロールパネルの「タブレットについて」をクリックしてください。）
- コンピュータの製造元と型式、およびオペレーティングシステムのバージョン
- お使いのグラフィックボードの製造元と型式、および接続のタイプ
- コンピュータに接続された周辺機器のリスト
- 問題が発生したとき、使用していたソフトウェアとバージョン
- 画面に表示された正確なエラーメッセージ
- 問題が発生したとき、具体的に何が起こったか、起こったことをどのように処置したか
- これまでにお試しいただいたこと





ドライバのダウンロード

ワコムは新しい製品との互換性を維持するために、定期的にタブレットドライバを更新します。機能を最適に使用するためにドライバを定期的に更新することをお勧めします。新しいタブレットドライバ（利用可能な場合）は、ワコムのホームページからダウンロードできます。

ワコムのタブレットドライバダウンロードページ：<http://tablet.wacom.co.jp/download>



FAQ（よくある質問）

ここでは本機に関するよく寄せられる質問の中からいくつかを選んでお答えしています。さらに多くのFAQをご覧になりたい場合は、ワコムのホームページ（<http://tablet.wacom.co.jp/support/faq/>）をご覧ください。

- [1. Cintiq はすべてのソフトウェアで使用できますか？](#)
- [2. Cintiq の機能に対応するソフトウェアにはどんなものがありますか？](#)
- [3. Cintiq とマウスをコンピュータに同時に接続することはできますか？](#)
- [4. 旧型のワコム製入力デバイスを Cintiq で使用できるでしょうか？](#)
- [5. Cintiq のタブレットドライバをインストールしている途中、システムにパスワードを要求されました。パスワードとは何でしょうか？](#)
- [6. 電子ペンと画面のポインタが一致しません。](#)
- [7. 設定ファイルを標準の設定に戻したいのですが？](#)
- [8. 一度にすべての設定ファイルを削除できますか？](#)
- [9. 最適なお手入れのしかたを教えてください。](#)
- [10. ペン先の交換のしかたを教えてください。](#)
- [11. 交換用の部品や付属品はどこで入手できますか？](#)
- [12. 製品の型番とシリアル No. はどこにありますか？](#)

1. Cintiq はすべてのソフトウェアで使用できますか？

本機は一般的なマウス入力機能に対応しているため、すべてのソフトウェアを操作することができます。またタブレットドライバがインストールされ正しく動作している場合、多くのグラフィックソフトで「筆圧機能」や「消しゴム機能」をお使いになれます。

2. Cintiq の機能に対応するソフトウェアにはどんなものがありますか？

多くのソフトウェアがワコム製品の「筆圧機能」や「消しゴム機能」に対応しています。ワコムのホームページで、ペンタブレットに対応したソフトウェアのリストをご確認ください。ご使用のソフトウェアがリストにない場合には、本機でそのソフトウェアを使用し、電子ペンで色塗りや描画をしたとき筆圧機能が働くかを確認してください。各ソフトウェアが対応するペン入力機能については、ソフトウェアのメーカーにお問い合わせください。

3. Cintiq とマウスをコンピュータに同時に接続することはできますか？

できます。お使いのコンピュータのマウスと本機を組み合わせで使用することができます。ご使用の際にはどちらか1つを使い、画面のポインタを操作できます。用途に応じて、本機とコンピュータのマウスを使い分けてください。





4. 旧型のワコム製入力デバイスを Cintiq で使用できるでしょうか？

通常電子ペンなどの付属品は、それらが付属している製品でのみ使用できます。このため他の製品では使用できない可能性があります。

5. Cintiq のタブレットドライバをインストールしている途中、システムにパスワードを要求されました。パスワードとは何でしょうか？

ログインのためユーザーパスワード、またはシステム管理者のパスワードです。会社のコンピュータをお使いの場合には、タブレットドライバのインストールにシステム管理者の権限が必要な場合があります。この場合は管理者のアクセス権を持っているか確認のために、OS がパスワードを要求しています。

6. 電子ペンと画面のポインタが一致しません。

「位置調整」を行ってください。タブレットドライバの再インストール、または設定ファイルを削除した際には、再度「位置調整」をする必要があります。[ペン先の位置調整](#)をご覧ください。

7. 設定ファイルを標準の設定に戻したいのですが？

[タブレット設定ファイルの管理](#)をご覧ください。

8. 一度にすべての設定ファイルを削除できますか？

できます。[タブレット設定ファイルの管理](#)をご覧ください。

9. 最適なお手入れのしかたを教えてください。

[本機のお手入れ](#)をご覧ください。

10. ペン先の交換のしかたを教えてください。

[ペン先を交換する](#)をご覧ください。

11. 交換用の部品や付属品はどこで入手できますか？

[オプション品の注文](#)をご覧ください。

12. 製品の型番とシリアル No. はどこにありますか？

本機裏面のラベルにあります。通常型番はバーコードの上、シリアル No. はバーコードの下にあります。型番とシリアル No. はテクニカルサポートを依頼される場合に必要です。



お手入れのしかた

この章では本機のお手入れとメンテナンスについて説明します。

[本機のお手入れ](#)

[ペン先を交換する](#)

本機のお手入れ

液晶画面と電子ペンは清潔にお使いください。ちりや砂ぼこりは、画面の表面を傷つけます。定期的に清掃していただくことで、液晶画面と電子ペンを長い期間ご利用いただくことができます。

本機、スタンド、および電子ペンは清潔に、涼しい場所で、極端な温度変化を避けて保管してください。室温での保存が最適です。

本機、スタンド、および電子ペンは分解可能な製品ではありません。製品を分解すると、保証が無効になります。

重要：本機や電子ペンに液体をこぼさないように注意してください。液晶画面、ファンクションキー、タッチホイール、サイドスイッチ、および電子ペン先には、液体が入ると故障するデリケートな電子部品が入っています。これらを濡らさないように、特に注意してください。

液晶ペンタブレット本体、スタンド、または電子ペンの清掃をするときは、柔らかい湿らせた布で拭いてください。水で薄めた刺激の少ないせっけんで布を湿らせて使うこともできます。アルコール、シンナー、あるいはベンゼンのような揮発性の液体は、本体を傷めますので使用しないでください。（ただし、付属の電子ペンはアルコールに耐性のある樹脂を使用しています。）

液晶画面の清掃には帯電防止布または軽く湿らせた布をご使用ください。液晶画面を軽く押す程度にし、表面を濡らさないようにしてください。液晶画面が故障するおそれがありますので、洗剤は使用しないでください。このような故障はメーカーの保証の対象外となります。



ペン先を交換する

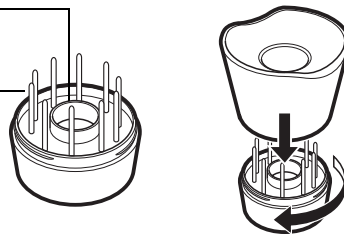
ペン芯は、使っていく間に磨り減っていきます。過度な力を加えると、より早く磨耗します。本機の表面は、磨耗したペン先で傷つく恐れがありますので、ペン先が短くなりすぎたり、平らな先端がとがってきたら、付属の交換用の芯と交換してください。

1. ペンスタンドの底部分を回して外し、芯抜きと替え芯を取り出します。

芯抜き

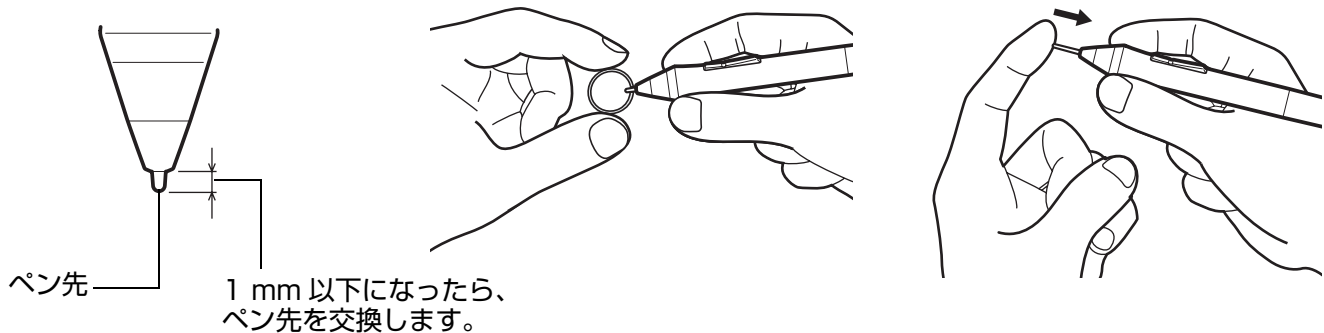
替え芯

- 標準芯 6本
- ハードフェルト芯 3本
- ストローク芯 1本



2. 古いペン先の芯を付属の芯抜き、ピンセット、先の細いペンチなどで挟み、まっすぐに引き抜いてください。

3. 新しいペン芯を電子ペンにまっすぐにはめ込みます。止まるまでしっかりと押し込んでください。



⚠ 警告

お子様が替え芯やサイドスイッチを飲み込まないようにしてください。電子ペンを口の中に入れると、ペン先やサイドスイッチが抜け落ちてしまう可能性があります。

交換部品の注文については、[オプション品の注文](#)をご覧ください。

重要：電子ペンを使用していないときは、専用のペンスタンドに立てるか、あるいは平らな机の上に横に置いてください。オプション品のエアブラシは、机の上に横にして置いてください。ペン先やテールスイッチが接触するような入れ物に入れて保管しないでください。ペン先やテールスイッチを押した状態で電子ペンを収納すると、電子ペンが故障する場合があります。誤った方法で保管すると、ペンが故障する場合があります。





その他のお役立ち情報

この章では、タブレットドライバのアンインストール、設定ファイルの管理方法などの情報について説明します。

[液晶ペンタブレット本体をスタンドから取り外す](#)

[液晶ペンタブレット本体をスタンドに取り付ける](#)

[マウントアームに取り付けて使う](#)

[タブレットドライバのアンインストール](#)

[タブレット設定ファイルの管理](#)

[複数タブレットの設置](#)

[タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う](#)

[上級者向け設定を組み込む](#)

[Windows でのペンおよびデジタルインク機能](#)

[製品情報](#)

[オプション品の注文](#)

[利用可能なオプション品](#)



液晶ペンタブレット本体をスタンドから取り外す

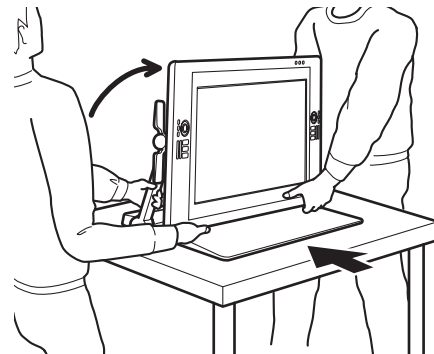
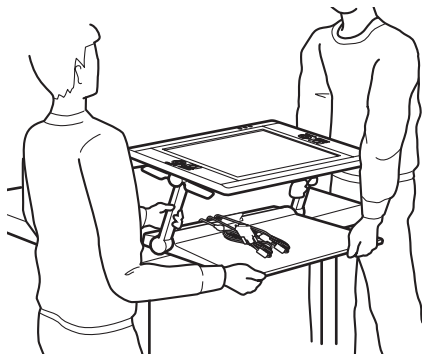
液晶ペンタブレット本体はスタンドに取り付けることを前提に設計されていますが、マウントアームに取り付けてお使いになる場合などは、以下の方法でスタンドから取り外してください。

[マウントアームに取り付けて使う](#)をご覧ください。

重要：必ず2人以上で作業を行ってください。本機は約 29kg あります。本機の取り扱いや移動は、十分注意して行ってください。

液晶ペンタブレット本体をスタンドから取り外す：

1. コンピュータおよび本機の電源をオフにし、本機のスタンドとコンピュータからすべてのケーブルを取り外します。続いて、スタンド取り外し作業をするのに十分なスペースがある場所に、本機を移動させます。



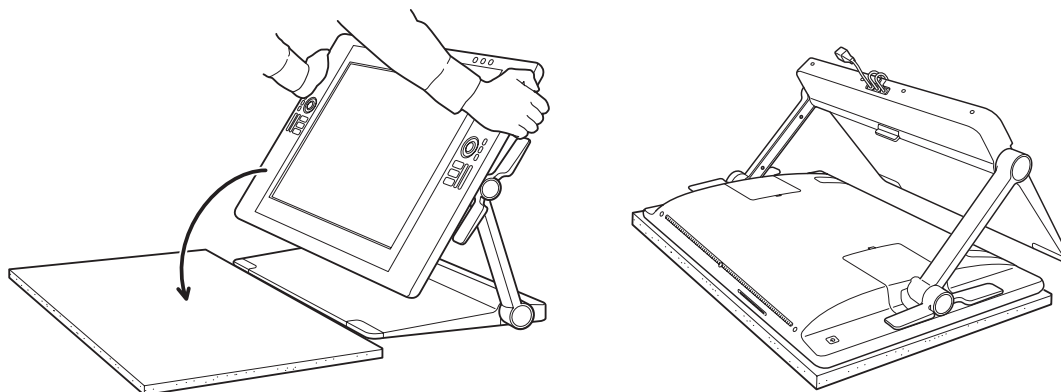
- [高さや角度を調節](#)し、液晶ペンタブレット本体は水平な位置で、スタンドアームは垂直な位置でロックします。ケーブルはスタンドベース（台座）の上に置き、本機から垂れ下がらないようにしてください。垂れ下がったケーブルが足に絡むと、破損やけがなどの原因になります。
- 必ず2人以上で作業を行ってください。スタンドベースを持ちながら、もう一方の手でスタンドアームのスタンドベース付近を持ち、本機を持ち上げ慎重に移動させます。

重要：本機は約 29kg あります。持ち上げるときは、必ず2人以上で行ってください。左右から両手で確実に本機を持つようにしてください。
液晶ペンタブレット本体を持って本機を持ち上げないでください。移動中に液晶画面がたわむと損傷する可能性があります。また液晶ペンタブレット本体からスタンドがぶら下がった状態にすると、破損する可能性があります。2人の動きを合わせて慎重に持ち上げてください。
- 本機は水平で清潔な、また水や油のこぼれていない机や作業台に設置してください。指を挟まないように気をつけながら、まずスタンドベースの後ろ半分を台の上に載せ、傾いたり落下しないように気をつけながらスライドさせ設置場所まで移動させます。
- 設置が完了したら、角度調整レバーを使って液晶ペンタブレット本体を垂直位置に戻してください。



2. 液晶ペンタブレット本体の準備をします。高さや角度を調整し、両側のスタンドアームをスタンドベースに垂直な位置でロックします。液晶ペンタブレット本体の角度はスタンドベースに対し約 45 度になるよう調整します。液晶画面を保護するため柔らかい布を敷き、スタンドごと液晶ペンタブレット本体を画面を下にして置きます。スタンドベース前方の端を軸に、ゆっくりと前に回転させるように倒してください。

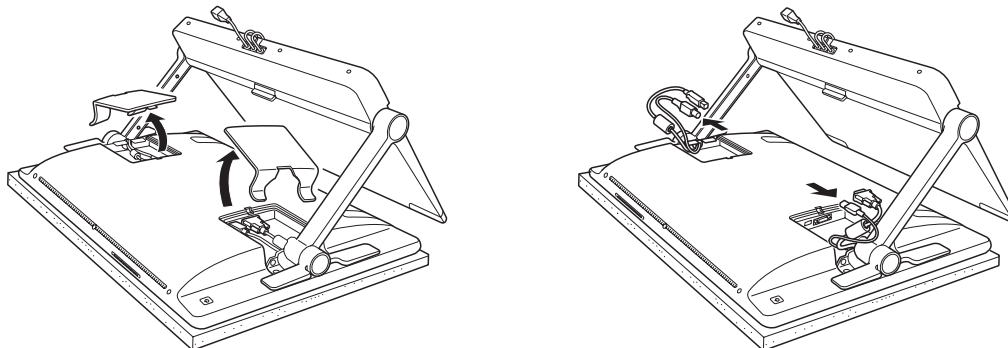
角度調整レバーを使って、画面が水平にぴったりと作業台に乗るように調整します。正しく調整されていると、取り付け用ブラケットの作業がしやすくなります。本機が正しく置かれているときは、スタンドベースが本体の下端付近と位置を揃えて作業台に乗った状態になります。



⚠ 注意

作業台に液晶ペンタブレット本体を落とさないように注意してください。またスタンドの可動部のすき間に指を挟まないように注意してください。

3. スタンドを取り外す準備ができました。本体裏面の端子部のカバーを取り外し、端子からケーブルのコネクタを取り外します。

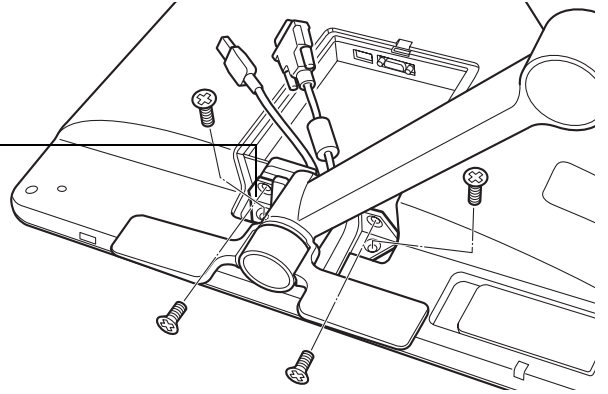


4. 接続ケーブルを別の用途で使用する場合は、正しい方法でスタンドから取り外してください。[ケーブルの交換](#)を参照してください。
5. スタンドアームの取り付け用ブラケットからネジを取り外します（+ネジ、4本）。取り外したネジはなくさないように保管してください。

取り付け用ブラケット

液晶ペンタブレット本体とスタンドを固定します。特殊なスタンド類に取り付けて使う場合以外は、液晶ペンタブレット本体をスタンドから取り外さないでください。

ネジ：平頭ネジ、M3-6、黒



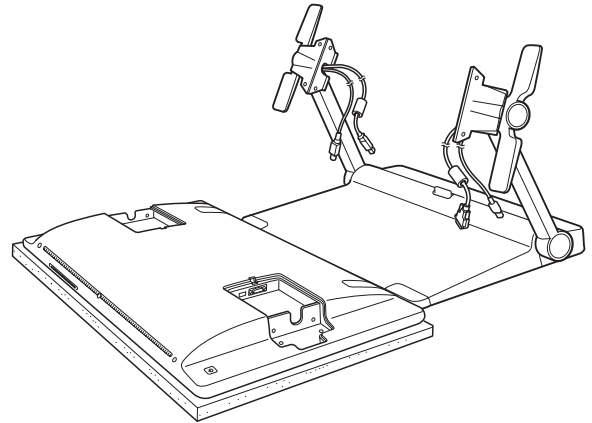
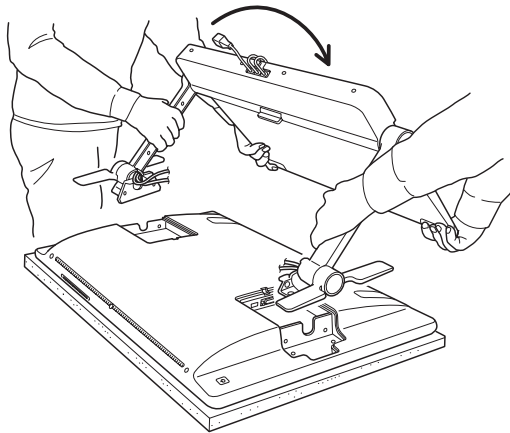
⚠ 注意

取り付け用ブラケットが固定されていない場合は、スタンドアームの位置を調整する以外で角度調整レバーを動かさないでください。

角度調整レバーにはスプリングが組み込まれているため、スタンドアームに本体の重さがかからない状態でロックを解除すると、けがやスタンドの破損の原因となる可能性があります。また誤った操作はけがやスタンドの破損の原因となる可能性があります。

スタンドの可動部のすき間に指を挟まないように注意してください。

6. スタンドを本体から取りはずします。



7. マウントアームに接続して液晶ペンタブレット本体を使用する場合、[マウントアームに取り付けて使う](#)を参照してください。本体裏面の端子部のカバーは、必ず元通りに取り付けてください。

液晶ペンタブレット本体をスタンドに取り付ける

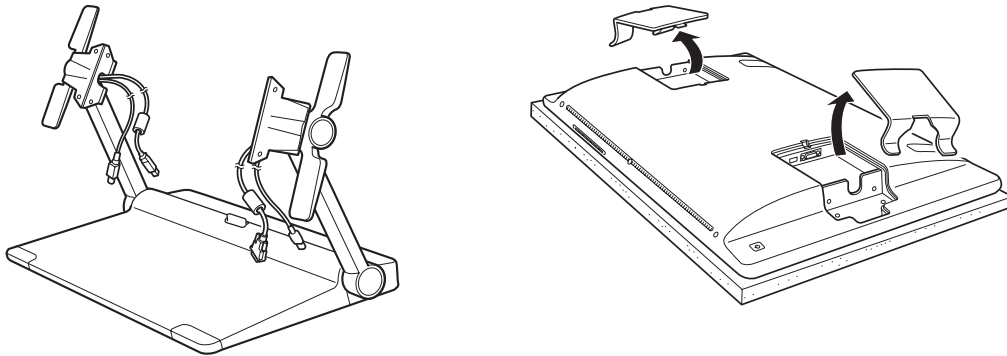
液晶ペンタブレット本体をスタンドに取り付ける手順を説明します。

例えば、市販の VESA (Video Electronics Standard Association) 規格のマウントアームから、再度本機のスタンドに取り付けて使う場合の方法です。

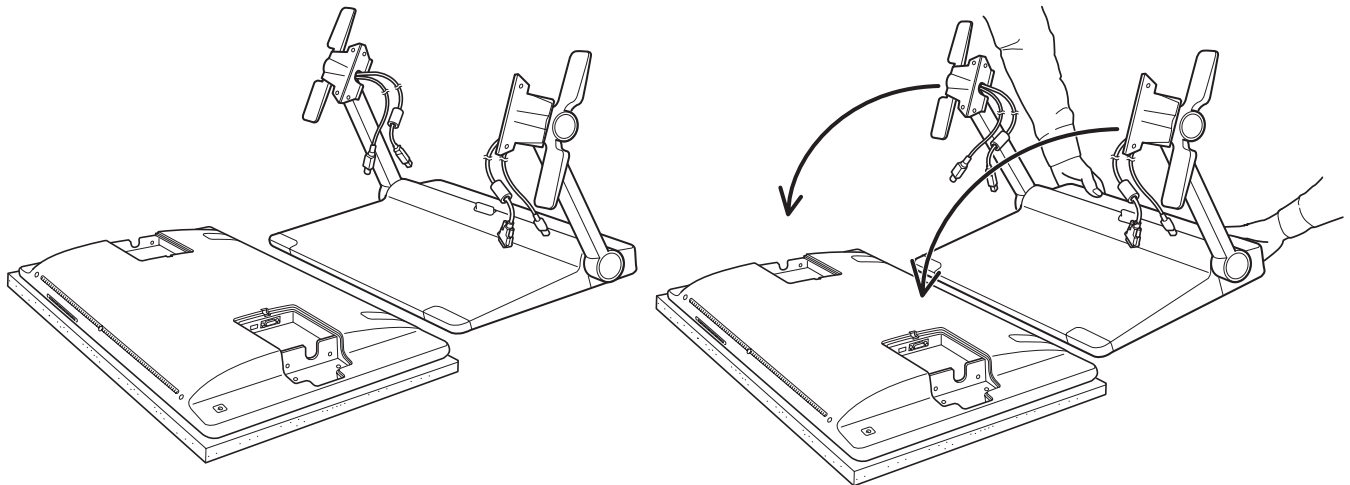
重要：必ず 2 人以上で作業を行ってください。本機は約 29kg あります。本機の取り扱いや移動は、十分注意して行ってください。本機を持ち上げるときは必ず 2 人以上で行い、左右から両手で確実に本機を持ってください。

液晶ペンタブレット本体をスタンドに取り付けるには：

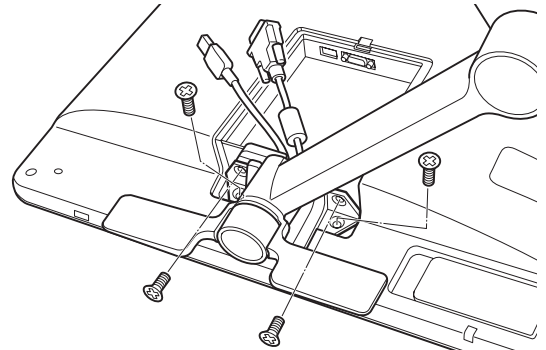
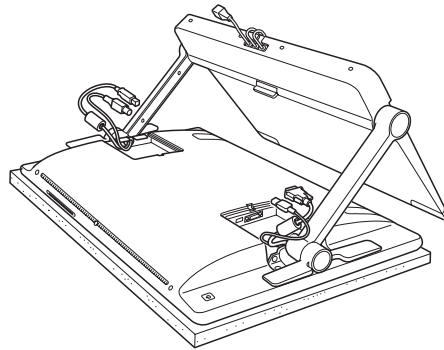
1. スタンドの準備をします。両側のスタンドアームをスタンドベースに垂直な位置でロックします。
2. 液晶ペンタブレット本体の準備をします。液晶画面を保護するため柔らかい布を敷き、スタンドごと液晶ペンタブレット本体を画面を下にして置きます。本体裏面両側の端子部のカバーを取り外した状態にします。



3. スタンドベース前方の端と本体の下端付近の位置を揃えます。
4. スタンドベース前方の端を軸に、前に回転させるように倒します。このとき接続ケーブルのコンネクタとリリースラッチは作業台の面より上にある必要があります。スタンドをさらに回転させて、取り付け用ブラケットを液晶ペンタブレット本体のブラケット接続部にはめ込みます。



5. [角度調整レバー](#)でブラケットの角度を調整し、左右のブラケット接続部に正しく合わせます。取り外し保管しておいたネジ（+ネジ、4本）でブラケットと液晶ペンタブレット本体を固定します。きつく締めすぎてスタンドを損傷したり、ネジ山が潰れないようにご注意ください。



⚠ 注意

取り付け用ブラケット内が固定されていない場合には、スタンドアームの位置を調整する以外で角度調整レバーを操作しないでください。

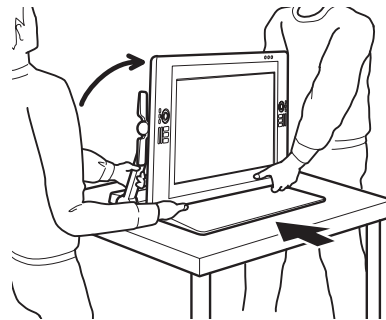
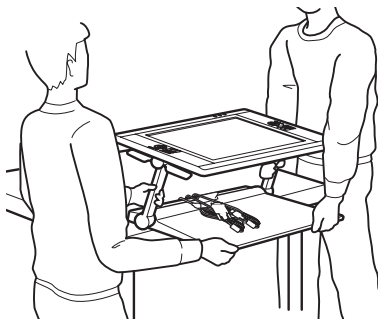
角度調整レバーにはスプリングが組み込まれているため、スタンドアームに本体の重さがかからない状態でロックを解除すると、けがやスタンドの破損の原因となる可能性があります。また誤った操作はけがやスタンドの破損の原因となる可能性があります。

スタンドの可動部のすき間に指を挟まないように注意してください。

6. 組み立てが終わったら、液晶ペンタブレット本体とスタンドを起こし、液晶ペンタブレット本体とスタンドアームが確実に取り付けられているか確認します。液晶ペンタブレット本体とスタンドの可動部分を慎重にすべて動かしてみてください。[液晶ペンタブレット本体の高さと角度を調整する](#)をご覧ください。



7. 本体とスタンドが正しく取り付けられ、スタンドがなめらかに動作することを確認したら、本機をお使いになる場所へ移動させます。



- [高さや角度を調節](#)し、本体は水平な位置で、スタンドアームは垂直な位置でロックします。ケーブルはスタンドベース（台座）の上に置き、本機から垂れ下がらないようにしてください。垂れ下がったケーブルが足に絡むと、破損やけがなどの原因になります。
 - 必ず2人以上で作業を行ってください。スタンドベースを持ちながら、もう一方の手でスタンドアームのスタンドベース付近を持ち、本機を持ち上げ慎重に移動させます。
重要：本機は約 29kg あります。持ち上げるときは、必ず2人以上で行ってください。左右から両手で確実に本機を持つようにしてください。
液晶ペンタブレット本体を持って本機を持ち上げないでください。移動中に液晶画面がたわむと損傷する可能性があります。また液晶ペンタブレット本体からスタンドがぶら下がった状態にすると、破損する可能性があります。2人の動きを合わせて慎重に持ち上げてください。
 - 本機は水平で清潔な、また水や油のこぼれていない机や作業台に設置してください。指を挟まないように気をつけながら、まずスタンドベースの後ろ半分を台の上に載せ、傾いたり落下しないように気をつけながらスライドさせ設置場所まで移動させます。
 - 設置が完了したら、角度調整レバーを使って本体を垂直位置に戻してください。
8. 作業前にスタンドから接続ケーブルを取り外した場合は、再度正しく接続し、端子部のカバーを取り付けてください。詳しくは[ケーブルの交換](#)を参照してください。

マウントアームに取り付けて使う

液晶ペンタブレット本体をマウントアームに取り付けて使いたいときは、本体からスタンドを取り外し、市販の VESA (Video Electronics Standard Association) MIS-E 100/200 (6 screw) 規格のマウントアームに取り付けて使います。

補足：付属のマウントアーム用ネジは幅 4 mm、ピッチ 0.7 mm (M4)、脚部 17 mm です。市販のネジをお使いになるときは、必ず上記の仕様のネジをお使いください。脚部の長さが 17 mm を超えると、本体に取り付けたときに内部の部品を傷つけ故障の原因となることがあります。

本機（液晶ペンタブレットおよびスタンド）の全重量は約 29kg です。本機の重量に耐えられない机の上もしくは作業台には置かないでください。

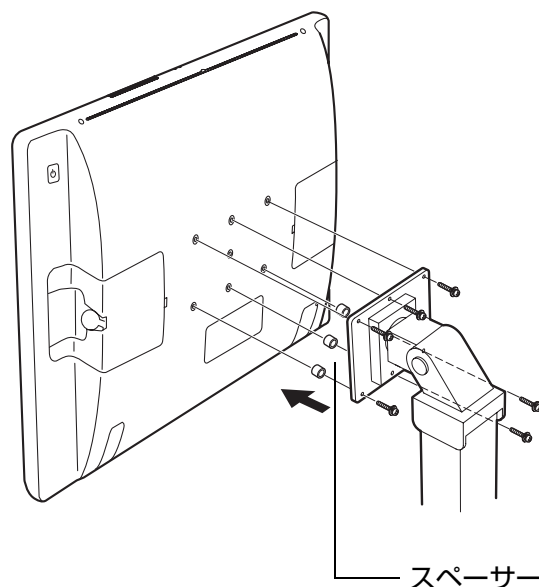
本機の液晶ペンタブレット部の重量は約 16 kg です。液晶ペンタブレットの重量に耐えられないマウントアームは接続しないでください。

本体をスタンドから取り外す

1. コンピュータおよび本機の電源をオフにします。
2. [液晶ペンタブレット本体をスタンドから取り外す](#)をご覧ください。

本体をマウントアームに取り付ける

1. マウントアームに付属の取扱説明書をよくお読みになり、指示に従って作業を行ってください。また注意事項や製品の安全情報は必ずお読みください。
2. 付属のマウントアーム取り付け用スペーサーを、本体裏面の 3 つのネジ穴に合わせます。
3. 付属のマウントアーム用ネジで、液晶ペンタブレット本体をマウントアームにしっかりと取り付けます。
4. 必要に応じて、液晶ペンタブレット本体とコンピュータとのケーブル接続を行います。接続が完了したら、液晶ペンタブレット本体裏面の端子部のカバーを元通り取り付けてください。



VESA マウントアームから本機を取り外すときは、上記の手順と逆に作業を行います。[液晶ペンタブレット本体をスタンドに取り付ける](#)をご覧ください。

⚠ 注意

液晶ペンタブレット本体をマウントアームに取り付ける場合は、必ずマウントアームに付属の取扱説明書の指示に従ってください。誤った取り付けかたをされますと、液晶ペンタブレット本体が倒れてけがや破損の原因となることがあります。取り外したスタンドやネジは、なくさないように保管してください。

タブレットドライバのアンインストール

以下の手順に従って本機とタブレットドライバをシステムから削除することができます。

Windows の場合：

1. Windows の「スタート」ボタンをクリックして「コントロールパネル」を開きます。
2. 「コントロールパネル」から
 - Windows 7 または Vista の場合：「プログラムのアンインストール」をクリックし、ダイアログボックスで「ワコムタブレット」を選択し、「アンインストール」をクリックします。
 - Windows XP の場合：「プログラムの追加と削除」を選択します。「プログラムの追加と削除」ウインドウで「ワコムタブレット」を選択し、「削除」をクリックします。
3. 画面の指示に従って、タブレットドライバを削除します。
4. タブレットドライバが削除されたらシステムを終了し、コンピュータと本機の電源を切ります。

Mac の場合：

1. 「移動」メニューから、「アプリケーション」を選択し、「ワコムタブレット」フォルダを開きます。
2. 「ワコムタブレットユーティリティ」アイコンをダブルクリックします。続いて「タブレットドライバ：削除」をクリックし、管理者のユーザ名とパスワードを入力します。
3. 削除が完了したら、「OK」をクリックします。
4. システムを終了し、コンピュータと本機の電源を切ります。

最新のタブレットドライバのダウンロード（インターネットから入手できる場合）については、[ドライバのダウンロード](#)を参照してください。



タブレット設定ファイルの管理

ワコムタブレット設定ファイルユーティリティを使用すると、シングルユーザまたはマルチユーザのタブレット設定ファイルの管理が行えます。

Windows の場合は、起動中のソフトウェアをすべて終了させてください。次に、「スタート」アイコンをクリックし、「すべてのプログラム」を選択します。「ワコムタブレット」→「ワコムタブレット設定ファイルユーティリティ」を選択します。

- ログインユーザの設定ファイルを削除するには、「ログインユーザーの設定ファイル」から「削除」ボタンをクリックします。
- マルチユーザの設定ファイルを削除するには、「すべてのユーザーの設定ファイル」から「削除」ボタンをクリックします。すべてのユーザの設定ファイルを削除するには、管理者権限が必要です。最後に現在開いているタブレット用ソフトウェアを再起動してください。
- 現在の設定ファイルをバックアップするには、「ログインユーザーの設定ファイル」から「バックアップ ...」をクリックします。
- 以前にバックアップを行った設定ファイルを復元するには、「ログインユーザーの設定ファイル」から「復元 ...」をクリックします。
- 表示されるダイアログの内容を確認してから、実行してください。

Mac の場合は、最初に「アプリケーション」フォルダを開きます。次に「ワコムタブレット」フォルダを開いて、「ワコムタブレットユーティリティ」を実行します。

- 設定ファイルを削除するには、「ログインユーザー」または「全てのユーザー」のいずれかを選択してから、「削除」ボタンをクリックします。ログアウトしてから再度ログインします。タブレットドライバが読み込まれると、新しい設定ファイルが標準設定で作成されます。
- 設定ファイルをバックアップするには、「ログインユーザー」または「全てのユーザー」のいずれかを選択してから、「バックアップ ...」ボタンをクリックします。
- 以前にバックアップを行った設定ファイルを復元するには、「ログインユーザー」または「全てのユーザー」のいずれかを選択してから、「復元 ...」ボタンをクリックします。
- 表示されるダイアログの内容を確認してから、実行してください。



複数タブレットの設置

コントロールパネルの上部に表示される「タブレット」リストには、システムで検出されたすべてのタブレットのアイコンが表示されます。

入力デバイスとソフトウェアの設定をカスタマイズするタブレットのアイコンを選択します。

- コントロールパネルは、サポートしているタブレットがコンピュータに接続されていないときは起動しません。



新しいタブレットを追加する場合は、タブレットをコンピュータに接続します。システムは自動的に新しいタブレットを検出して初期化し、コントロールパネルにそのタブレットのアイコンを表示します。

重要：複数のタブレットを Windows システムに追加する場合、ソフトウェアによっては追加されたタブレットで消しゴム機能が使えない場合があります。最初にコントロールパネルに設置されたタブレットでは使うことができます。

複数のタブレットの中の1つをドライバから削除するには、削除するタブレットのアイコンをコントロールパネルで選択し、「タブレット」リストの隣にある [-] ボタンをクリックします。

- サポートされているタブレットがコンピュータに接続されていないときは、「タブレット」リストから削除することはできません。
- タブレットをドライバに再度追加する前に、コンピュータを再起動する必要があります。ご注意ください。

重要：他のタブレットを本機のすぐ近くに置くと、影響を受けて誤動作することがあります。このような場合は、離してお使いください。



タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う

ソフトウェアによっては、ペンタブレットのファンクションキーまたはタッチホイール機能を直接操作するように設計されているものがあります。この処理を組み込んだソフトウェアで作業を行う場合、ファンクションキーまたはタッチホイールは、コントロールパネルで設定されている機能とは異なる働きをする場合があります。

- ファンクションキーの機能がソフトウェアによって書き換えられた場合、ファンクションキーの設定は自動的に更新され、新しい機能名が付けられるか、あるいは「アプリケーションの設定に従う」と表示されます。ソフトウェアによってはファンクションキーのいくつか、またはすべてがソフトウェアにより書き換えられることがあります。
- タッチホイールの機能がソフトウェアによって置き換えられた場合、すべてのタッチホイール機能はその影響を受けます。ソフトウェアがタッチホイール機能の一部のみを置き換える場合、その他の機能は「スキップ」に設定されます。
- ソフトウェアは実行中または画面の最前面にある場合のみ、ファンクションキーやタッチホイールの機能をコントロールします。そのソフトウェアを終了するか別のソフトウェアのウィンドウを選択すると、コントロールパネルの設定は以前の状態に戻ります。
- 画面の最前面にあるソフトウェアでファンクションキー、タッチホイール、または電子ペンの機能設定を確認するには、ファンクションキーの1つに「設定内容の表示」を設定し必要に応じてそのキーを押します。

通常、このような処理を組み込んだソフトウェアでは、そのソフトウェアで最初にワコム製品を使用する際に、この機能を選択しないか無効にすることを選択できます。機能についての具体的な詳細、およびこの機能をカスタマイズする、または無効にする方法についてはソフトウェアに付属の取扱説明書をご覧ください。

ソフトウェア操作時に表示される説明、またはソフトウェアの取扱説明書に、この機能を無効にする方法が記載されていない場合、コントロールパネルを使って、[特定のソフトウェアに対する設定](#)を作成し、タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアの動作に優先させることができます。

重要：特定のソフトウェアに対する設定をタブレットコントロールできる処理を組み込んだアプリケーションで作成した場合、「アプリケーションの設定に従う」をファンクションキーまたはタッチホイールに設定すると、このアプリケーションによってこれらの機能がコントロールされます。





上級者向け設定を組み込む

XML ファイルで提供される上級者向け設定を、コントロールパネルに組み込むことができる機能です。

- ソフトウェアの開発者によっては、ソフトウェアをワコム製品で使用する際に最適なパフォーマンスが得られるよう特別に設計された「カスタム設定ファイル」を作成する場合があります。
- 各 XML ファイルには、複数のソフトウェアに適用できるカスタマイズ設定が含まれる場合があります。これらの設定は、ファンクションキー、タッチホイール、ラジアルメニュー、またはサイドスイッチと消しゴム機能に適用できる場合があります。

上級者向け設定の組み込みかた：

1. XML ファイルを選択し、ダブルクリックします。
2. 確認ダイアログの指示に従って操作を続けます。
 - 1 つまたは複数のソフトウェアに対応する設定を組み込むことができます。またこれにより、それらのソフトウェアの設定が更新される場合があります。
 - 上級者向け設定を組み込む前に、お使いのコントロールパネルの現在の設定をバックアップしておくことをおすすめします。
 - 設定の組み込みを中止することも、続けることもできます。
3. 設定を組み込むと、XML で記述された設定のみが組み込まれ、対応するすべての設定が更新されます。対応していない設定は更新されません。
4. 設定の組み込みが完了したら、コントロールパネルで新しい設定を確認してください。





Windows でのペンおよびデジタルインク機能

Microsoft Windows 7 および Windows Vista では、ペン入力に対応しています。Windows 7 (Starter および Home Basic を除く) および Windows Vista (Home Basic を除く) が稼働するコンピュータと本機を組み合わせることで、ペン入力機能を最大限に活用することができます。本機と電子ペンによるスピーディで直感的な使いごちをお確かめてください。

- **手書きメモ帳機能** Windows 7 および Windows Vista の「Windows Journal」をタブレットで操作すれば、手書きメモや図形をファイルに直接書き込むことができます。Windows Journal の強力な検索エンジンでは手書きの内容も検索することができます。
- **手書き文字認識機能** タブレットで書いた手書き文字を、素早くテキストに変換する機能です。クセ字を学習する高性能な手書き認識エンジンも搭載され、書いた文字を正確に認識します。
- **ジェスチャー機能** 液晶ペンタブレット上でペンを動かすだけで、コンピュータを操作できます。カスタマイズするときは、「ペンとタッチ」(Windows 7) コントロールパネルまたは「ペンと入力デバイス」(Windows Vista) コントロールパネルから、「フリック」タブを選びます。
- **Office 2007 デジタルインク機能** ソフトウェアの「レビュー」タブには、ペンタブレットを接続して手書き文字や図形を自由に書き込めるデジタルインク機能があります。ご活用ください。

Windows 7 または Vista の入力パネルでは、電子ペンを使って手書きするか、画面上のキーボードでテキストを直接入力するかを設定できます。以下のいずれかの方法で入力パネルを起動できます。

- 画面のポインタがテキスト操作エリアに移動すると表示される入力パネルのアイコンをクリックします。
- 標準設定で表示画面の左端に配置されている入力パネルのタブをクリックします。
- Windows のタスクバーに配置されている「Tablet PC 入力パネル」アイコンをクリックします。アイコンが見えない場合は、タスクバーを右クリックして、「ツールバー」、「Tablet PC 入力パネル」を選択します。

「入力パネル」を無効にするには：

1. 「Tablet PC 入力パネル」を開きます。
2. 「ツール」、次に「オプション」を選択します。
3. 「開き方」タブを選択して以下のボックスのチェックを外します：
 - 「タブレット ペン入力の場合、テキスト ボックスの横にアイコンを表示する」
 - 「入力パネル タブを使用する」
4. 「OK」をクリックします。





製品情報

筆圧、傾き、消しゴムなどの本機の機能をサポートするソフトウェアについては、ワコムのホームページをご覧ください。

<http://wacom.jp/>





オプション品の注文

本機の機能を最大限に使いこなすためにオプション品をご用意しております。

オプション品の情報はワコムホームページにも掲載しております。





<http://wacom.jp/>

オプション品は、オンラインショッピングサイト「ワコムストア」でお買い求めいただくことができます。

<http://store.wacom.jp/>

利用可能なオプション品

オプション品のご案内

名称と説明	型番
<p>Intuos4 グリップペン：消しゴム機能付き筆圧ペン。筆圧と傾きを検出します。電池レスでコードレス、メンテナンスフリーで幅広い用途を持つグリップペンです。マウス操作はもちろんのこと描画作業や細かい作業に最適な本機の標準的なデバイスです。テールスイッチや2つのサイドスイッチにはショートカットやキーの割り当てが可能です。エルゴノミクスデザインで握りやすいグリップ部が自然な描画を実現します。以下の付属品が同梱されています。ペンスタンド、標準芯（5本）、ストローク芯（1本）、ハードフェルト芯（3本）、エラストマー芯（1本）</p>	 KP-501E-01
<p>Intuos4 エアブラシ：Intuos4 エアブラシは筆圧検出、消しゴム機能だけでなくホイール機能を搭載した電子ペンです。アナログのエアブラシの感覚をそのままに作業できます。また、カスタマイズ可能なボタンが搭載されています。以下の付属品が同梱されています。ペンスタンド、標準芯（5本）、ストローク芯（1本）、ハードフェルト芯（3本）、エラストマー芯（1本）</p>	 KP-400E-01
<p>Intuos4 アートペン：Intuos4 アートペンは筆圧、傾き検出と回転機能に対応した電子ペンです。ペン軸の回転を検出することによりカリグラフィブラシやアナログのマーカーのような描写を実現します。幅広いニブを装備したペン先の書き味はアナログのマーカーそのものです。以下の付属品が同梱されています。ペンスタンド、彫刻刀型ポリアセタールニブ（2本）、彫刻刀型フェルトニブ（2本）、ポリアセタール芯（3本）、ハードフェルト芯（3本）</p>	 KP-701E-01
<p>Intuos4 クラシックペン：Intuos4 グリップペンと同じ機能を持つペン軸の細い電子ペンです。以下の付属品が同梱されています。ペンスタンド、標準芯（5本）、ストローク芯（1本）、ハードフェルト芯（3本）、エラストマー芯（1本）</p>	 KP-300E-01
<p>Intuos4 グリップペン、Intuos4 エアブラシ、Intuos4 クラシックペン用替え芯</p> <p>標準芯：滑らかな書き味と耐久性を兼ね備えた芯、材質ポリアセタール、5本入り</p> <p>ストローク芯：組み込まれたスプリングによって芯先が約1mm上下する芯、材質ポリアセタール、5本入り</p> <p>ハードフェルト芯：高摩擦係数でありながら耐久性も備えた芯、材質フェルト、5本入り</p>	ACK-20001 ACK-20002 ACK-20003
<p>Intuos4 アートペン用芯セット（ポリアセタール芯3本、ハードフェルト芯3本、彫刻刀型ポリアセタールニブ2本、彫刻刀型フェルトニブ2本）</p>	ACK-20006
<p>ラバーグリップ KP-501 用 / 標準径 / サイドスイッチ用穴有り / 2本入り</p>	ACK-30001
<p>ラバーグリップ KP-501 用 / 標準径 / サイドスイッチ用穴無し / 2本入り</p>	ACK-30003
<p>ラバーグリップ KP-501 用 / 太径 / サイドスイッチ用穴無し / 2本入り</p>	ACK-30002



用語

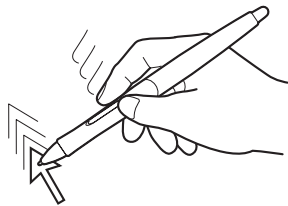
傾き検出：入力デバイスが傾く角度を読み取るペン先とテールスイッチ（消しゴム）の特性。これは、傾き対応のソフトウェアで、ペン、ブラシ、消しゴムの自然な感じのストロークを作成するのに役立ちます。

画面のポインタ：表示画面のポインタ。ポインタは、起動しているソフトウェアにより、I型ポインタ、矢印、あるいはボックスなど様々な形に変わります。

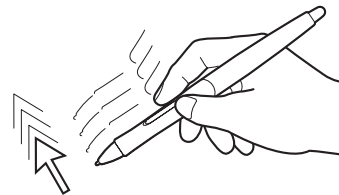
クリック圧：クリックする時、ペン先にかかる力の大きさ。

消しゴム対応ソフトウェア：電子ペンの消しゴム機能をサポートしているソフトウェア。ソフトウェアによっては、テールスイッチ（消しゴム）を別の機能に使うことができます。

視差：ガラスあるいはその他の媒体を通して対象を見る場合の角度のずれのことです。視差を補正するには、液晶ペンタブレットの位置調整を行い、画面上のポインタが電子ペンのペン先の位置と一致させる必要があります。



視差がない場合。ペン先と画面上のポインタの位置が合っています。



液晶ディスプレイのガラスによって生じる視差。ペン先と画面のポインタの位置のずれ方を確認してください。

修飾キー：Windows では [Shift]、[Alt]、[Ctrl] キー、Mac では、[shift]、[control]、[command]、[option] キーの修飾キーがあります。電子ペンは、サイドスイッチまたはファンクションキーに修飾キーを対応するようにカスタマイズできます。

芯：ペン先で交換が可能な部分。

ワンタッチ操作ボタン：本体にある機能ボタン。[ワンタッチ表示ボタンを使う](#)をご覧ください。

操作エリア：入力デバイスが検出されるタブレットの描画領域。

タッチホイール：本体にある、カスタマイズ可能なリング状の装置です。[タッチホイールを使う](#)をご覧ください。

縦横比：タブレット、またはディスプレイ画面の縦と横の比率。

ダブルクリックアシスト：ダブルクリック距離の大きさを設定することにより、ダブルクリックを簡単にする機能。

ダブルクリック距離：ペン先でダブルクリックするときに、2回目のクリックがずれてもよい距離を画面のドット数で表します。ダブルクリック距離を大きくすると、ペン先でダブルクリックしやすくなりますが、グラフィックソフトウェアによっては、線の引きはじめにポインタがダブルクリック距離の外へ出るまで線が現れないことがあります。

特定のソフトウェアに対する設定：ソフトウェアごとに入力デバイスとタブレットの設定をカスタマイズします。コントロールパネルを使って、目的のソフトウェアで特別に機能するようにカスタマイズします。[特定のソフトウェアに対する設定](#)は、設定したソフトウェアを使用すると必ず実行されます。

ピクセル：ディスプレイ画面上の最小の測定単位。





筆圧対応：筆圧の荷重を読み取るペン先と消しゴムの特性。これは、筆圧対応のソフトウェアで、ペン、ブラシ、消しゴムの自然な感じのストロークを作成するのに使用されます。

筆圧対応のソフトウェア：筆圧をサポートするソフトウェア。

ファンクションキー：本体にあるカスタマイズ可能なキーです。[ファンクションキーを使う](#)をご覧ください。

ペンモード：ポインタの位置決めの方法。入力デバイスをタブレット上に置くと、画面のポインタが画面上の対応点にジャンプします。これは絶対的位置決めと言われ、すべてのペンの標準設定です。ペンモードでは、先に画面上でポインタを確認してデスクトップ上で動かさなくても、ポインタの位置を決められます。[マウスモード](#)もご覧ください。

ホイール：オプション品のエアブラシのコントロールホイール。

マウスの加速：ペンがマウスモードのとき、ポインタの加速を調節できます。

マウスモード：ポインタの位置決めの方法。入力デバイスをタブレット上に置くと、ポインタは、従来のマウスと同様に動いた方向と距離に応じて移動します。

これは相対的な位置決めです。[ペンモード](#)もご覧ください。

マウス速度：ペンがマウスモードのとき、ポインタのスピードを調節できます。

読取可能高さ：入力デバイスが検出されるタブレットの[操作エリア](#)からの高さ。

ラジアルメニュー：円型の階層メニュー。各階層のメニューは 8 つの項目から構成され、オプション機能を設定できます。メニューを表示するために、サイドスイッチに機能を割り当てる必要があります。

LED：発光ダイオード。

Tablet PC 入力パネル：Microsoft Windows Tablet PC 入力パネルで、電子ペンを使って手書きメモを作成したり、画面上のキーボードを使って文字入力を行うことができます。手書き文字が、入力パネルでテキストに変換されます。Tablet PC 入力パネルから入力した文字を文書や表計算、イラストに挿入できます。

USB：Universal Serial Bus。コンピュータの周辺装置を接続するためのハードウェアインタフェース規格。USB ポートはホットプラグをサポートし、これにより、コンピュータの電源を切らなくても USB デバイスの取り外しができます。

Windows Journal：紙のメモ帳の電子版だが、デジタルノートだけの特長も備えた Microsoft Windows ソフトウェア。たとえば、簡単に描画や手書きのメモを作成して、テキストに変換した後、デジタルデータとしてほかの人たちに送ることができます。Windows Journal には、電子ペンの消しゴムで動作する消しゴム機能が備えられています。Windows Journal では、手書きのコンテンツも検索できます。

Wintab：タブレットの情報を受け取る Windows ソフトウェアによって使用されるインタフェース規格。タブレットは、Windows 環境で Wintab と互換性のあるソフトウェアをすべてサポートします。





索引

数字		画面を調整する	42
1:1	44	カラー設定	44
D		き	
DisplayPort ケーブル	20	機能	
DisplayPort コネクタ	12	コントロールパネル	47
DVI-DVI ケーブル	20	タブレット	15
DVI-RGB ケーブル	9	く	
DVI コネクタ	12	クリック	34
E		け	
EXIT	44	ケーブルの交換	27
F		消しゴム	18
FAQ	87	消しゴムのカスタマイズ	52
M		こ	
Mac Mini DisplayPort	11	コントラスト	44
O		コントロールパネル	46
OSD メニュー言語設定	44	梱包箱から取り出す	6
OSD メニュー表示設定	44	さ	
U		サイドスイッチ	18
USB 接続ケーブル	20	サイドスイッチのカスタマイズ	53
W		し	
Windows Tablet PC 入力パネル	108	視差	49
あ		省電力機能	45
明るさ	44	芯の交換	90
アナログ RGB 接続の問題	77	す	
い		垂直位置	44
色温度	44	水平位置	44
お		スタンド	19
オートアジャスト	44	スタンドアーム	20
か		スタンドアームラッチ	20
角度調整レバー	20	スタンドから本体を取り外す	92
角度を調整する	23	スタンドに本体を取り付ける	95
カスタマイズ		スタンドの設置	21
消しゴムの感触	52	スタンドベース	20
サイドスイッチ	53	ステータスランプ	16
タッチホイール	56	せ	
ダブルクリック	51	製品に関する重要なお知らせ	9
電子ペン	50	セキュリティロック・スロット	17
ファンクションキー	55	設定	
ペン先の感触	51	コントロールパネル	46
ラジアルメニュー	64	特定のソフトウェア	66
画像設定	44		
傾き	36		
画面調整ボタン	43		





セットアップ		は	
タブレットドライバ	14	バックライト輝度	44
ハードウェア	11	パワーランプ	16
全画面	44	ひ	
た		筆圧	35
ダイレクト	44	筆圧を使って書く	35
タッチホイール	40	ピッチ	44
縦横比	44	表示サイズ設定	44
縦横比を保持	65	表示設定	44
ダブルクリック	34	ふ	
ダブルクリックのカスタマイズ	51	ファンクションキー	39
タブレット		フェーズ	44
お手入れ・保管	89	へ	
各部の名称		ペン	
本体裏面	17	カスタマイズ	50
本体正面	16	クリック	34
機能	15	消しゴムを使う	36
テスト	71	サイドスイッチを使う	35
タブレット設定ファイルの管理	100	ダブルクリック	34
タブレットドライバ		ドラッグ	35
アンインストール	99	筆圧を使って描画する	35
インストール	14	ペン先	
ダウンロード	86	交換	90
て		ペン紛失防止ケーブル取り付け穴	17
テールスイッチ	18	ほ	
テクニカルサポート	85	ポインタの位置決め	34
デジタルインク機能	104	ボタン機能	57
テスト		本書について	5
タッチホイール	73	ま	
タブレット	71	マウントアーム	98
電子ペン	74	マッピング画面	65
ファンクションキー	73	マッピング画面切り替え	65
ワンタッチ表示ボタン	72	マルチディスプレイ	41
電子ペン	18	ゆ	
と		ユーザー設定	44
透明度	44	よ	
特定のソフトウェア	66	読み取り高さ	74
ドライバのダウンロード	86	ら	
ドラッグ	35	ラジアルメニュー	64
トラブルシューティング		り	
タブレット		リセット	44
Mac での問題	83	わ	
Windows での問題	82	ワンタッチ表示ボタン	38
一般的な問題	78		
ディスプレイ			
アナログ RGB の問題	77		
ディスプレイの一般的な問題	75		



このページを印刷してご利用ください（「お問い合わせ」または「修理依頼」に○をつけてください）。太枠内を記入してください。

お問い合わせ

FAX 送付先 : 03-5309-1514

修理依頼

受付 No. _____

発信 _____ 年 _____ 月 _____ 日

お客さま	フリガナ		会社名	
	氏名		(学校名) ・所属部署	
	使用場所	会社(学校)・自宅	連絡先	会社(学校)・自宅
	住所	〒 _____ ※修理のご依頼の場合は、修理完了品の返送先をご記入ください。		
	E-mail :	_____		
TEL	()	FAX	()	

タブレット	型式	DTK-2400	シリアル番号	
	タブレットドライバ	バージョン :		
	購入年月日	年	月	日

使用環境	使用 コンピューター	メーカー :	機種名 :		
		モデム内蔵 Yes・No	使用 OS	(バージョン :)	
	使用ソフトウェア	(バージョン :)			
	周辺機器など	種類	メーカー	機種名	接続ポート
		他の USB 機器			
		USB ハブ			
		ディスプレイ			
		グラフィックボード			
その他					

内容	現象発生日	年	月	日
	現象発生頻度	常時・ときどき (システム起動時・使用中・その他 :)		

ここに記入されたお客さまの個人情報は、お客さまへのサポート、および修理品の返却のみに利用し、それ以外に利用することはありません。



Wacom International Offices

株式会社ワコム TABLET SALES DIVISION

〒 164-0012
東京都中野区本町 1-32-2 ハーモニータワー 18 階
<http://wacom.jp/>
ワコムサポートセンター
電話 : 0570-05-6000
受付時間 平日 9:00 ~ 20:00
土曜 10:00 ~ 17:00
(日曜、祝日、および年末年始など
弊社指定休日を除く)

Wacom Technology Corporation

1311 SE Cardinal Court
Vancouver, WA 98683
U.S.A.
Telephone
General: +1.360.896.9833
Fax: +1.360.896.9724

Wacom China Corporation

Unit 2807, 28th Floor, SK Tower,
No 6 Jia, Jianguomenwai Avenue,
Beijing, China 100022
<http://www.wacom.com.cn>

Wacom Australia Pty. Ltd.

Unit 8, Stage 1
Cumberland Green
2-8 South Street, Rydalmere
NSW 2116 Australia
Telephone
General: +61.2.9422.6700
Fax: +61.2.9420.2272

Wacom Taiwan Information Co., Ltd.

Suite 605, 6th floor, No. 205 Tun-Hwa North Road
Taipei, 105 Taiwan
Telephone: +886.2.2712.2675
Fax: +886.2.2712.9789

Wacom Co., Ltd. ASIA PACIFIC DIVISION

Asia Pacific Office
Harmony Tower 21F, 1-32-2 Hon Cho,
Nakano-Ku, Tokyo 164-0012
Japan
Telephone
General: +81.3.5309.1513
Fax: +81.3.5309.1514

Wacom Europe GmbH

Europark Fichtenhain A9,
47807 Krefeld,
Germany
Telephone
General: +49.(0)2151.3614.0
Fax: +49.(0)2151.3614.111

Wacom Korea Co., Ltd.

#1211, 12F, KGIT Sangam Center, 1601
Sangam-dong, Mapo-gu, Seoul 121-913, Korea
Telephone: +82.2.557.3894
Fax: +82.2.557.3895

Wacom Singapore Pte. Ltd. (Singapore)

3 Bishan Place,
CPF Bishan Building #06-08
Singapore 579838
Telephone
General: +65.6258.8640
Fax: +65.6258.8697

Wacom Hong Kong Limited

Room 2105, C C Wu Building
302-308 Hennessy Road
Wanchai, Hong Kong
Telephone: +852.25739322
Fax: +852.25739500

